Social Action 2022-2023 Report

ソーシャルアクション報告書2022-2023

FREE THE CHILDREN

CHANGE MAKERS FES 2023

認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン2023年7月1日発行

Table of Contents（もくじ）

はじめに 3

アクション　インパクト
Action Impact 4
数字で見るみんなのアクション

アクション　レポート
Action Report 5
ソーシャルアクションレポートを提出してくれたみんなのアクション！

1. ボランティア　7
2. 資金調達　29
3. 啓発活動　43
4. 政策提言　90
5. 物資調達　94
6. 自己行動変革　104
7. ソーシャルビジネス　131

エントリーアクション
Entry Action 134
チェンジメーカー・フェスに参加したみんなの全アクション

1. エシカル消費　135
2. プラスチック削減　136
3. リサイクル　139
4. ごみ拾い　142
5. 募金・寄付　146
6. オリジナルアクション　150
7. チェンジメーカー・フェス認定アクション（関連イベント）156

アクション　キット
Action Kit 165
次のアクションの計画に使える無料冊子

はじめに

2020年から始まった新型コロナウイルスの世界中での感染拡大から4年目を迎え、徐々に移動の制限やマスク着用が緩和されたりしていますが、それでもまだ人との接触のある活動には注意が必要であった2023年3月までに、「人や地球のことを考えた何らかのアクション」を起こしてくれた若きチェンジメーカーの皆さん、ソーシャルアクションレポートへの活動報告をお送りくださりありがとうございました!

2022年はロシアがウクライナへの侵攻を開始したことから始まり、その影響で、穀物、植物油脂、エネルギーなどの価格が世界的に上昇しました。世界中で貧富の格差は広がり、戦争や温暖化などで先の見えない不安な情勢が続きましたが、そんな中、より良い世界に向けて皆さんが起こしてくれたアクションには、本当に励まされました。

今回、6千人以上のチェンジメーカーが、アクションを起こしたことがわかる、今年も大変ユニークな活動報告が届きました。取り組まれた課題も様々で、戦争や紛争、平和構築に向けての活動、気候変動や環境汚染問題に取り組んだ活動、貧困問題、教育の問題に声を上げた活動、差別をなくし寛容な社会を創るための活動、人権やウェルビーイングの実現に向けた活動など、飢餓やフードロスといった食糧問題に取り組んだ事例など、多岐にわたる様々な活動が見受けられ、皆さんの活動から学ぶことが多くあります。

2022年は戦争や大地震といったショッキングな出来事が世界ではおきましたが、日本社会では、子どもの権利を総合的に守る日本初の法律「こども基本法」が成立し、子どもの声を聴くことの仕組みづくりがされました。この動きと連動して、アクションレポートでは、子どもの参加の権利を保障するための活動についても多数報告があり、より良い社会に向けての一筋の希望を感じさえしました。

2023年3月28日には、皆さんからの活動報告を受け、そのアクションを称え更に応援するための「チェンジメーカー・フェス」を初めて東京ドームシティホールの会場で開催することができました。会場には、1000人以上の若きチェンジメーカーの皆さんが集い、お互いにアクションを称えあいました。

このムーブメントを今後も社会に広げていくために、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、引き続き皆さんの「人や地球のことを考えたアクション」を応援します。ともに、より良い世界をこれからも作っていきましょう。

Together, we can change the world!

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

代表　中島早苗

アクションの成果

Action Impact

数字で見るアクション2022-2023

ひとりひとりのアクションは小さいけれど、みんなの力が集まれば
社会は、地球は、大きく変わっていくはず。
全国にいる6010人の仲間といっしょにこれからもアクションを続けよう！

※数値データはソーシャルアクションレポートに自己申告された数値の合計です

ボランティア時間　1,022時間

影響を与えた人数　6,917人

お金の寄付　1,243,817円

集めたゴミの数　161袋

集めたものの数　246個（古着、本、マスク、おもちゃ等）

集めた食品の重さ　429kg

※FTCJのハロウィンフードドライブキャンペーン含む

▼寄付やボランティア、活動への参加などアクションのインパクトを受けた団体

（順不同・自治体は省略）

認定NPO法人外国人の子どものための勉強会、会津学鳳高校、UNICEF、アルペ難民センター、ウクライナ、WOMEN' SEMPOWERMENT CENTER、ケニア、ミラクルラボ、日本赤十字社、三井純友信託銀行コンサルプラザ調布、ミャンマー、ファミリーマート、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）世界食糧計画（WFP）、Red Cross Australia、JIM-NET

アクション報告

Action Report

Take Action!

さぁ、アクションを起こそう！

だれかが困っている社会の問題を解決するために、何かがしたい！
そう思って立ち上がったチェンジメーカー.

アクションのための方程式

“ Gift（才能） ＋ Issue（解決したい問題） ＝ Change（変化）”

--好きなこと・得意なことを活かして、自分にできるアクションを考える--
を駆使して取り組んできた1年間の記録です。

社会問題への6つのアクション

1．ボランティア

自分の時間を解決したい問題のために使う方法。
地域の困っている人の手助けをしたり、違う国のコミュニティーのために活動したり、
できること・可能性は無限大！

2．資金調達

個人、企業などから、募金を集める方法。
貯金をする、自分で作ったものなどを販売する、街頭募金活動を行うなど、
お金の集める方はいろいろ！

3．啓発活動

他の人に、自分の解決したい問題について知ってもらうために活動する方法。
身近な相手から、不特定多数の人まで、知ってもらう相手も知ってもらう方法も様々！

4．政策提言

地域・日本・世界で起きている不公正な問題に対して、
それを政策として変化を起こすために、
署名をしたり、議員に直接伝えたり、政治機関に対して働きかける方法。

5．物資調達

ある“ モノ“ を必要としている人に、その”モノ“ を届ける活動方法。
フードバンクへ食料を寄付する、学校で集めた文具を開発途上国に送るなど。

6．自己行動変革

自分自身の問題に対する理解を深めたり、自分の良くないと思う癖や習慣を、
良いものに変えていくなど、自分の行動・生活に変化を起こす方法。

1
Volunteering
ボランティア

報告者
35

名前/グループ名/グループメンバー

HINA

人数	活動地	区分
1 人	静岡県	小学生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/1～12

支援先

取り組んだアクション

海の生きもののために、ちきゅうのために海のゴミひろいをしている。海のことを知る前は、ゴミが道におちていてもむしをしていたけど、海の生きものがマイクロプラスチックやプラスチックせい品、ビニルぶくろを食べておなかをこわしたりしんでしまうことを知ってから自分も何かしなきゃ!!と思って今までむししてきたゴミを学校の帰り道でひろったり月に1回　ビーチクリーンをしている。チラシを作って学校の友だちやようち園の友だちにくばったり、図書かんにおいてもらった。　あつまった人や友だちといっしょにビーチクリーンをやっている。たくさんの人が来てくれたら、海のゴミも早く　回しゅうできるし、海の生きものもよろこんでくれると思ったから、「海をまもろう。」という名前のグループを作った。

工夫したことや達成したこと

・チラシを作って人につたえた。
・みんなが楽しめるようにヒーローシールを作ったり、おみやげを作った。おみやげは、海でひろったプラスチックで作ったキーホルダーやプラスチックの入っていないハミガキコを手作りして、みんなにあげた
・地球のじょうたいや楽しくサスティナブルなことをつたえるために、ビーチクリーンに参加してくれた人に海をまもろうレターを配っている。
・8回のビーチクリーンで113袋と、たくさんの粗大ゴミを集められた。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
10時間	140人

◆その他

困難だったこと/次回に活かすこと

・砂のおくふかくにうまっていたビニールぶくろをとること。
・マイクロプラスチックをひろうこと。
・砂のふかくにうまっているビニールぶくろをとるとき　シャベルがわりのものをさがす。
・あみとかで「ガバー』」とすくってマイクロプラスチックだけのこす。

これからアクションを起こす人へメッセージ

学校やさんぱのかえり道に、ゴミがおちている時ひろって、　家でしょぶんしたり家の人とそうだんしてできることさがしてやってみよう。　学校のぎょうじにさんかしてぼきんやふくをおくってみよう。アクションをおこすことは、楽しいことだからすすんでやってみよう。

報告者
18

名前/グループ名/グループメンバー

ありま こはる

人数	活動地	区分
1 人	鹿児島県	中学生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/3/20、7/30、10/30 11/5～6、12/10、18

支援先

取り組んだアクション

3月20日及び10月30日鹿児島市新入外国人の歓迎交流会で日本語がわからない外国人と外国語がわからない日本人の参加者が交流するのを手助けした。7月30日unicefの研修会に参加し、発展途上国や避難所でも子どもへの教育の大切さを学んだ。11月5日～6日鹿児島大学国際交流プログラムホームステイ受け入れ　韓国人留学生が我が家にホームステイして韓国語と英語で交流した。12月10日赤い羽根共同募金街頭募金活動に参加した。12月18日フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのオンライン・スタディ・ツアー　Philippines Tripに参加しフィリピンの貧困地区の事態を体感した。

工夫したことや達成したこと

3月20日及び10月30日鹿児島市新入外国人の歓迎交流会／歓迎の気持ちが伝わるように笑顔で接した。7月30日　unicefの研修会／発展途上国や避難所でも子どもへの教育の大切さを学んだ。11月5～6日ホームステイ受け入れ／英語だけでなく韓国語の勉強もしておいたので喜んでもらえた。12月10日赤い羽根共同募金街頭募金活動／声をかけるのは緊張したけど募金をしてもらったらすごく嬉しかった。12月18日フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのオンライン・スタディ・ツアー　Philippines　Trip／フィリピンの貧困地区の事態を体感した。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

困難だったこと /次回に活かすこと

3月20日及び10月30日鹿児島市新入外国人の歓迎交流会／継続的に関わりを持つ活動に繋げたい。7月30日　unicefの研修会／実際の現場に行って活動を見てみたい。11月5～6日ホームステイ受け入れ／韓国語のさらなる勉強と他の国からの受け入れもしたい。12月10日赤い羽根共同募金街頭募金活動／他の募金活動を見かけたら積極的に募金したい。12月18日　フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのオンライン・スタディ・ツアー　Philippines　Trip／現地に行って実際の活動を見てみたい

これからアクションを起こす人へメッセー

アクションを起こすと、自分が思っている以上に大変なことが多いですが、諦めずに挑戦してみると必ず得られるものがあります！だから、積極的に活動をしてみて下さい。そして、後から「挑戦しておけばよかったな」という後悔がないように、掴めるチャンスは全て掴んでみて下さい！

報告者
26

名前/グループ名/グループメンバー

のふあ

人数	活動地	区分
2 人	神奈川県	中学生

アクションの種類 ボランティア

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
3.5時間	35人

◆その他

取り組んだアクション

私は「free　the　children」のサマーキャンプに参加しました。その目標としては世界中にある社会問題を他の子供達と話し合い、わかりあうことだったり、解決方法を見つけることだったり。たくさんなことを多くの子どもたちと学べました。他に私は行ったアクションとしては食品をゲットするのに困っている人たちが来る場所のボランティアだったりもしました。食品を置いたり、並べたり。来た人に説明を説明したり、日本語があまりまだわからない外国の方達には英語で説明したり。たくさんな人たちに出会えることができた経験ができました。

報告者
1

名前/グループ名/グループメンバー

ダラン 優那

人数	活動地	区分
1 人	千葉県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/7/25-30, 8/16

支援先 認定NPO法人外国人の子どものための勉強会

取り組んだアクション

夏のボランティア講座Let's体験！！2022のプログラムの一つで外国にルーツをもつ子どもたちの夏休みの宿題をお手伝いした(後日に協会に寄附)

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
2,000円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
14時間	44,854人

◆その他

工夫したことや達成したこと

私も外国にルーツをもっているせいか、差別感を一切感じることなく楽しく教室で子どもと一緒に勉強した。特に博物館見学は受験生である私にとっても実際に展示を見て勉強になった。子どもたちの日本語のレベルに合わせて宿題のお手伝いをし、必要なときは英語で訳した。漢字も読み方を教えたが、ボランティア初日に漢字そのものの意味を教えてなかったことが指摘された笑

困難だったこと/次回に活かすこと

事前準備が不足していたので、当日の予期せぬ事態に対応できなかったこと。また時間や心に余裕がなく、参加者やファシリテーターなど自分以外の立場に立てなかった。故にファシリテーターに資料を共有し忘れたり、参加者やファシリテーターに言うべき内容を漏らしてしまったり、文字数の多いスライドになってしまった。また参加者が退出してしまい、1名になってしまった場合の対応もできなかった。次に活かすことは、早い段階で大まかなスケジュールを作成し、定期的にMTGやDMなどでタスク管理（見える化と分担）を行いながら、短期的でより具体的なスケジュールを立てていくことだ。そうすれば、余裕を持って事前の細かい想定と対応を決めておくことができる。

これからアクションを起こす人へメッセー

日本語を母語としない人々とコミュニケーションをとることは難しいけれど、楽しいこともたくさんあります。でも海外の人々とつながるとても貴重な機会だから、海外の人々と関わるようなボランティアに参加することは本当にオススメ！

報告者
31

名前/グループ名/グループメンバー

Jennie

人数	活動地	区分
4 人	東京都	高校生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/11/1

支援先

取り組んだアクション

1.学校近くのコンビニエンスストアのオーナーの方に、食品ロスについてアンケートをしました。SDGsの好きなトピックを選び研究したレポートを提出するコンテストがあり、私たち4人のグループは12つくる責任つかう責任をテーマに研究しました。日本のコンビニエンスストアの食品ロスはとても深刻な課題となっており、身近な方に直接お話を聞けたことはとても良い経験になりました。食品ロスは止めたくても止められない、あまり知られていない本当の原因があるのです。問題の本質を知ることで課題解決に近づくことを学ぶことができました。そして私たちはこのインタビューを世間に広めて私たち独自の解決策などを作りまとめて、提出しましたが残念ながらコンテスト入賞はしませんでした。例えば、食品ロスの大部分を占める"家庭からのゴミ"に焦点を当てた私たちの解決策:普段捨ててしまう部分を使うレシピの提案です。ブロッコリーの芯やスイカの皮を使ったレシピを考案しました。このような私たちの研究を、世間に広めることはできませんでしたが、自ら私たちが考えて行動することが環境問題などの解決に近づく一歩なのだと感じることができました。2.　11/1学校に行く前に早朝から友達と渋谷でゴミ拾いボランティアに参加しました。前日が渋谷ハロウィンだったためゴミがたくさん出てしまうと予想し、あらかじめ応募しておいたボランティアに参加しました。元々私1人で参加しようとしていたのですが、女の子1人だと危ないし沢山いた方が心強いため友達を誘いました。私たちが始めたころにはすでに道路が綺麗でとても驚きましたが、細かいところをよく見てみると意外とゴミがたくさんあったのを覚えています。同じボランティアに参加した大人の方々ともコミュニケーションができて良い経験になりました。ソーシャルアクションとは一人一人の心がけが沢山集まることによって実現し、強い力を発揮するのだと私は思います。

これからアクションを起こす人へメッセージ

買い物に行くときにエコバックを持参したり、食べ残しをやめたり、ユニセフに募金したり、この世の中には間接的でも必ず社会問題の解決につながる選択肢が沢山あります。このような一人一人の意識と行動が世界を変えるのです。約80億人の力が集まれば、SDGｓを達成することは決して夢なんかではありません。このことを忘れずに一人でも多くの人が社会問題に向き合って、沢山のアクションを起こしてくれることを期待しています。そして、私たちZ世代には世界を大きく動かす力があります。これからの地球とこれからの世代が今までの私たちと同じように、幸せで平和な生活できる社会を維持することを目標に、皆さんで頑張っていきましょう。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
5時間	50人

◆その他

工夫したことや達成したこと

1で工夫したことは、今までにない解決策を生み出すことと、できるだけ生の声を聞き取り入れたことです。達成したことは、インタビューしたコンビニエンスストアのオーナーさんが「これからも食品ロスをなくすための努力をしようと改めて考えさせられました。」と言ってもらえたことです。
2で工夫したことはどういうところにどんなごみが落ちているかを考えながらゴミ拾いしたことです。達成したことは、渋谷新聞の方の取材を受け、私たち女子学生がどのような思いでゴミ拾いに参加したのかを世間に発信できたことです。

困難だったこと/次回に活かすこと

食品ロスの色んな原因にスポットを当てた、それぞれの解決策を見つけることがとても難しかったです。なぜなら、良いと思った解決策でも実行が難しいと思われる難点などが必ず出てくるからです。これからは多方面から見てよさそうな解決策を生み出せるように、もっと多くの人の意見を聞いたり、色んな情報を取り入れられるようにリサーチをしたり、直接的だけではなく、間接的に解決策を導き出したいと思っています。ゴミ拾いでは、ごみを捨てた人に邪魔されたことが大変でした。しかし、自分が行っていることは間違っていないんだと自分に言い聞かせて続けられたことは、次回にも生かしたいと思います。

報告者
96

名前/グループ名/グループメンバー

I・T、T・Y、N・S、Y・Y

人数	活動地	区分
4 人	兵庫県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	ボランティア	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

教育格差をテーマに探究活動を行った。学校の先生にアンケートを行い、どのような問題・課題が存在するのかをまとめた。その中でも、経済力によってこどもの夢が閉ざされてしまうという課題に対して、アクションを起こすことに決めた。具体的には、児童館で小学校低学年クラスの学習活動の支援ボランティアをさせていただいた。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

初め小学校の先生１人にインタビューを行ったが、より多くの教育関係者の意見を聞くことが必要と考えて、本校の先生にアンケートをしていただくことにした。これで複数の先生方の意見を反映した課題を設定することができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

活動時間が制限されている中、記述式のアンケートに答えていただくのに十分な時間を確保できるよう計画を立てることに気を配った。また、児童館で学習支援をする際に、１人１台タブレットを持っており、その使い方の支援に戸惑った。

これからアクションを起こす人へメッセージ

あるアクションを起こしたら、他の場所でもアクションをどんどん起こしていってほしいです。

報告者
101

名前/グループ名/グループメンバー

A・D、N・A、H・K、
H・Y、F・K

人数	活動地	区分
5 人	兵庫県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	ボランティア	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

「グローバル的な問題」をテーマに、ウクライナ避難民について探究学習をした。ウクライナ避難民についての資料などの分析、支援もされているCODE海外災害援助市民センターの代表の方にインタビューをした。その中で、現場に足を運ぶことの大切さを学んだ。アクションとしては、CODEさんが実践されているMOTTAINAI野菜便ボランティア（避難民の方に野菜を届け、日々の困りごとを伺う）への参加と、この活動を広めるためのポスターを作成した。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

野菜を届けることが目的なだけではなく、その後、色々な話を聞くことができた。その中でも文化の違いや不便だと感じていることなどの困り事を伺えた。

困難だったこと/次回に活かすこと

言語の壁に困った。ウクライナの方は日本語を話せない人がほとんどで、実際に訪問した際は、翻訳機能を利用した。

これからアクションを起こす人へメッセージ

グローバルな課題について、まずみんなに知ってもらうことが大切です。そこから国を超えた支援が始まると思います。

報告者
102

名前/グループ名/グループメンバー

I・H、T・M、H・N、
M・T、Y・R

人数	活動地	区分
5 人	兵庫県	高校生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

取り組んだアクション

防災をテーマに、神戸ルミナリエについて探究学習を実践した。神戸ルミナリエは、1995年1月17日に起こった阪神・淡路大震災の記憶を次の世代に語り継ぐ、神戸のまちと市民の夢と希望を象徴する行事だ。しかし、その存在は知っていても、その起源について知る人は少なくなってきている。実際に神戸ルミナリエ実行委員の方のインタビューも行い、児童館で神戸ルミナリエとその起源について話し、防災に関する絵本の読み聞かせを行なった。

工夫したことや達成したこと

まずは何をしたらいいのかについて、どんどん意見を出してブレインストーミングをした。その中で、意見の違いが出たときには、一人ずつ納得するように話を進めていった。

困難だったこと/次回に活かすこと

まずは防災をテーマとして何を探求するのか決めるまでが大変だった。その後のインタビュー内容、児童館へのアポ、アクションの内容も全て自分たちで行なった。

これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションの時間を十分に確保するために、スケジュール計画を立てることは重要です。

報告者
103

名前/グループ名/グループメンバー

I・K、T・H、N・M、Y・Y

人数	活動地	区分
4 人	兵庫県	高校生/高専生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

取り組んだアクション

体を動かすアクションがしたいというところから始まり、海岸清掃を定期的に行なっている「神戸海さくら」さんの海岸清掃活動に参加させていただいた。

工夫したことや達成したこと

タバコの吸殻が一番多かったが、瓶や注射器などの危険なものもあったので、海岸清掃は年中必要だと分かった。ゴミ袋を使用済みの朝袋にするなど、細かな工夫をされていることを知れてよかった。

困難だったこと/次回に活かすこと

コミュニケーションが大切であることはわかっていたが、運営の方とお話をするなどがスムーズにできなかった。まずは挨拶から始めて、自分たちから話しやすい環境を作っていきたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

仲間とアクションを起こす時に、基本となるのはコミュニケーションです。まずは自分から挨拶をして、互いがコミュニケーションを取りやすい環境を作っていきましょう。

報告者
104

名前/グループ名/グループメンバー

A・T、T・H、Y・Y

人数	活動地	区分
4 人	兵庫県	高校生/高専生

関連するSDGs

アクションの種類	ボランティア	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

「はっぴーの家@ろっけん」について探究学習をした。ここは、高齢者、子育てママと赤ちゃん、学校帰りの子どもたち、外国人、ノマドの若者、アーティストなど、いろんな人が集まり、時間を過ごす介護付きシェアハウスだ。こちらを訪問させていただき、広報の方にインタビューをさせていただいたり、入居者の方々と話をさせていただいた。その話の中で、卓球台はあるけどラケットがないという話を聞いたので、牛乳パックなどを利用して手作りのラケットを作成した。人との触れ合いを楽しむこと自体もアクションである、ということを提言した。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

ラケットについては、寄付を募ったが得られず、自分たちで作ることにした。卓球を楽しんでもらえたら本当にありがたい。アクションやボランティアというと、力仕事などのイメージがあったが、その場の人々が穏やかに過ごせるような場作りをすることもアクションになると思った。

困難だったこと/次回に活かすこと

はっぴーの家を訪問した後、自分たちに何ができるのかについて考えて、決定をすることがとても難しかった。

これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションや学びを継続していきましょう。

報告者
105

名前/グループ名/グループメンバー

U・R、S・E、B・Y、M・R

人数	活動地	区分
4 人	兵庫県	高校生/高専生

関連するSDGs

アクションの種類	ボランティア	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

「グローバルな問題」をテーマに、ウクライナ避難民について探究学習をした。ウクライナ避難民についての資料などの分析をし、支援もされているCODE海外災害援助市民センターの代表の方にインタビューをした。これらのことを踏まえて、CODEさんが実践されているMOTTAINAI野菜便ボランティア（避難民の方に野菜を届け、日々の困りごとを伺う）へ参加し、これを機に様々なボランティアに参加する意識を高めるべきだという提言を行った。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

避難民の方々とお話をする時、確かに言語の壁はあったが、ジェスチャーや翻訳機能などを使って、交流することができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

「グローバルな問題」というテーマから、どんなことを探求していくかを決めていくことが難しかった。だからこそアイディアを出し合うことの大切さに気づけた。

これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションは１回だけでなく継続的に行っていきましょう。続けるからこそ本当の状況がわかったり、本音を話してくれるのだと思います。

報告者
109

名前/グループ名/グループメンバー

国際ボランティアワークキャンプ in ASO実行委員会（ボラキャン）

人数	活動地	区分
100 人	熊本県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	ボランティア	実施期間	2022/8/12～14

支援先　高校生自らへ投資

取り組んだアクション

100人の高校生・留学生が高校・大学の枠を超えて、阿蘇青少年交流の家に集い、社会課題についてどんなことができるか、社会に対しどんな存在であるべきかを徹底的に話し合いました。特に、「国際」と「ボランティア」をキーワードに、失敗を重ねながらも、小さな成功を積み重ね、お互いに必要としあえることで、大切な「行くる力」を育むことができました。第18回となる今年度（2022年度）のボラキャンは、新型コロナの影響で規模縮小、急遽中止となった過去2年間から3年ぶりの阿蘇での２泊3日の対面での活動となりました。Shareシエア　知（シ）る＋得（エ）る＝ア（ア）クションをテーマに、「多文化共生」「国際協力」「地球温暖化」「多様性」「食品ロス」「子どもの権利」の6つの分科会に分かれて活動しました。この貴重な経験を、今後、世界の自由の実現につなげていきたいと思います。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
72時間	100人

◆その他

工夫したことや達成したこと

高校生実行委員が高校の枠を超えて集い、企画会議を半年以上重ねて、8月に本大会を開催しました。　一般参加の高校生も積極的に活動に参加して、それぞれの活動につなげていくことができました。

困難だったこと/次回に活かすこと

新型コロナの影響がありました。　次回18回の高校生実行委員が集まり、4月にはさらに新1年生を加え、発展させていきます。

これからアクションを起こす人へメッセージ

時間の関係で、上記は途中までの入力となっています。追加入力、訂正ができますか？

報告者
111

名前/グループ名/グループメンバー

劉亦芳菲

人数	活動地	区分
30 人	千葉県	高校生

アクションの種類　ボランティア

実施期間　2022/1/15～

支援先　ウクライナ、ミャンマー

関連するSDGs

取り組んだアクション

NPO　iplegeコアスタッフとして活動しています。年間約30　本、2,000　人のボランティアとともに、FUJI　ROCK FESTIVAL　などの野外音楽フェスティバル、フードフェス、夏の海水浴場など、イベントにおける環境対策を行っています。誰かが捨てたごみをボランティアがうのでは　なく、イベントに参加する全ての人々が、自分たちの手でごみや資源を分別できるしくみをつくることで、クリーン　でピースフルなイベントを創り上げています。来場者へのごみ資源分別ナビゲート、飲食エリアへのリユース食器の　導入・運営などの活動を通じて、「ごみ」を切り口として、来場者・主催者とともに、より「参加型のフェスティバ　ル」を創ることを目指しています。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
104,588円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
3時間	500人

◆その他

工夫したことや達成したこと

私たちが考えるSDGsについてたくさんの人に発信することができてるし、発信することの大切を学ぶことができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

募金活動について声をかけてもなかなかみんなに入れてもらえなくて募金活動の大変さを学んだ。

これからアクションを起こす人へメッセージ

自分の力ではできないと思ったりしてはいけない。誰もが何かしらできることがある。自分を信じて思い立ったらすぐに動き出すことが大切。

報告者
115

名前/グループ名/グループメンバー

にいな

人数	活動地	区分
5 人	東京都	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 個

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/5/1～2023/2/28

支援先

取り組んだアクション

千葉県の海岸清掃活動に参加。プラスチックゴミの問題を深刻に感じて、買い物の時の選択やマイボトルなどエシカル行動を実践。また次世代の応援として子供社会体験参加への支援も実践

工夫したことや達成したこと

できる限り資源を無駄にしない生活や消費を実践、はじめは不便に感じることも多かったが、日常の当たり前になった

困難だったこと/次回に活かすこと

自分の活動だけだと取組やすいが他の人やより広く社会に影響を広がる事は容易ではない。地道に継続していくことが重要だと思う感じる価値観の違いを受け入れて接していく事を学んだ。

これからアクションを起こす人へメッセージ

ちっとした意識の変化が行動を変える。その想いが良い未来に繋がるので一緒に頑張りましょう！

報告者
116

名前/グループ名/グループメンバー

リベラルアーツ同好会
チームあさぼらけ

人数	活動地	区分
15 人	東京都	高校生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/5/1～2023/2/28

支援先

取り組んだアクション

新型コロナが社会問題として叫ばれているころに、県内のフードバンクの利用者が多いことを知るとともに、自分たちの住む世界で起きている格差に少なからず衝撃を受けた。そのため、自分たちでも何か力になれることはないかと考え、活動を始めた。グループでの主な活動は校内で初となるフードバンクを実施し、フードバンク県北への支援を行った。そのつながりから、県北の他校の高校生とフードバンクに関してオンラインで意見交換したり、地域の人たちとボランティアに参加することが増えた。また、新しい試みとして、2月14日にバレンタイン大作戦と称して、フェアトレード商品の校内販売や、校内にポスター展示としてビッグイシューに関することをとりあげるなど、高校生ならではのアイデアでアクションを起こした。グループ発足当時は6名であったが、現在は15名まで増え、継続的な活動を行っている。

工夫したことや達成したこと

校内で実施するにあたって、どのようなポスターを掲示すればより興味を持ってもらえるのかを考え、いくつかのポスターを作成し宣伝することにした。その結果、バレンタイン大作戦はフリー・ザ・チルドレン様から購入した商品はすべて売り切ることができた。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

困難だったこと/次回に活かすこと

バレンタイン大作戦を実施するにあたって、どのくらい商品を用意すればよいかの見通しがあまり立てることができなかった。そのため、フェアトレードに興味関心を持って購入を希望してくれた生徒が多くいたが、売り切れてしまったために遠慮していただくことになった。そのため、事前に購入に関するアンケートを実施するなどで今後対応していきたい。また、バレンタイン企画としてだけではなく、様々な企画を考案し、社会に貢献したい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

はじめの一歩を踏み出せば、何かが変わる。まずは自分たちでできる小さなことから。そして色々な仲間とつながることで、大きな力となるよう一緒に取り組んできいきましょう。

報告者
117

名前/グループ名/グループメンバー

圓谷日和

人数	活動地	区分
5 人	神奈川県	高校生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/3/1～2023/2/28

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
76時間	人

◆その他

取り組んだアクション

子どもが自分たちで考えて遊ぶ団体で指導員として活動した。

工夫したことや達成したこと

子どもを集めるためにイベントを開催

困難だったこと/次回に活かすこと

コロナの関係で子どもの人数が減ってしまい、人数を増やすことが難しかった。

これからアクションを起こす人へメッセージ

誰かのために、何かのために、自分から行動するのは大切だと思います。

報告者
121

名前/グループ名/グループメンバー

Project One Education、45名

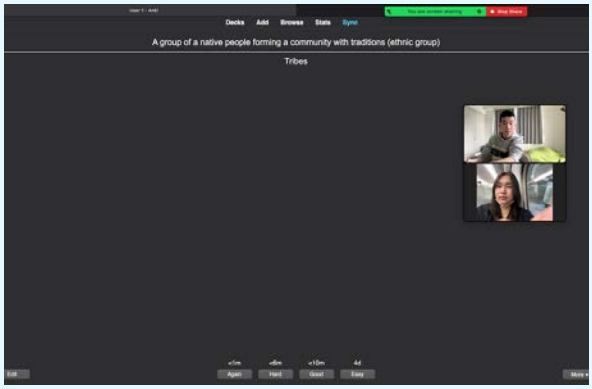
人数	活動地	区分
45 人	東京都	高校生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/7/15～9/15

支援先 会津学鳳高校

関連するSDGs



取り組んだアクション

Project One Educationでは無料で質の高い教育を世界に提供するアクションを起こしている。教育格差のエシカルギャップを減らすために無料で、教育を恵まれていない生徒や、希望する方々に実施している。生徒主導のもとの活動であり、さまざまなコースを提供。オンラインを活用してアメリカとアジアで活動をしている。アメリカではワークショップやドネーションなどを積極的に行いコミュニティーの学習状況を改善に尽力している。日本などでは現地校と提携し、英語教育を実施している。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

P1Eの支部などではどのようにして日本で活動を行うのかを工夫し、現在の現地校の英語ディベート部との連携活動などを行なっている。英語ディベート部は現在六年間連続で全国英語ディベート大会に出場をしており、そのサポートをしており、去年もまた全国大会へ出場することができた。その他に個別指導を希望する日本人生徒とともに英語力を高めるために記事の読み方の工夫などを行なっている。

困難だったこと/次回に活かすこと

困難な点としては、生徒とのコミュニケーションが最初苦労した。オンラインでの指導でもちろん良い点などがたくさんあるが、同時に相手と意思疎通するのに苦労があった。実際生徒が理解できているのかなどももちろん、次回はいつ英語指導をするのかなど日程調整などに困難した。このような経験から次回はチューターも受け身だけではなく自主的に生徒とコミュニケーションなどをとり、Project One Education の目標やミッションへとつなげるように活動することを意識がけて活動を行なった。

これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションを起こすのに躊躇せずに自分がやってみたいと思った活動になるべくできるように頑張ろう。もちろん現実味を持った目標設定も必要だが無理に自分のやりたいことが遠ざかる必要もない。さらにもし他方の団体と連携を取る際は必ず相手の日程や報告や連絡を欠かさずなるべく早く行うことなどを推奨する。やはりタイムマネジメントが重要。さらに自分が何を行いたいのかをはっきりさせること。曖昧になったりしたら自らがやりたいアクションでは無くなってしまうので気をつけること。最後にアクションを取る経験を楽しむこと。楽しむことで面倒なことも少しは楽にこなせるようになって、だんだんとほとんどのことは楽しく活動できる。

報告者
129

名前/グループ名/グループメンバー

nic。

人数	活動地	区分
33 人	東京都	高校生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/5/10～

支援先

関連するSDGs

取り組んだアクション

SDGs１１「住み続けられるまちづくりを」の実現を目指し、主に学校周辺の公園や公道を中心に清掃する活動を行っている。地域清掃は月一回のペースで4つのコースで行い、ゴミ拾いに利用する回収袋には同輩が啓発するバイオマスプラスチック（ライスレジン）を使用するなど環境にも配慮している。また、地域清掃中に危険だと感じた場所や災害時の現在地把握のために役立つ電柱の番号、学校周辺の魅力を伝える名所や建造物についてまとめたオリジナルマップを制作している。さらに落ち葉に着目し、自然あふれる調布市の発展を目指し、集めた落ち葉を腐葉土に再生する活動を行った。約半年かけて作った腐葉土は、学校の花壇などに散布している。これらの活動を啓発することを目的に、Change Makers Fes 2023でのポスター展示も行った。

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 個

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

工夫したことや達成したこと

日々の地域清掃から、ゴミを集めるのに使用しているビニール袋が環境に悪いのではないかという気づきがあった。よって、校内で活動をしていたライスレジン啓発活動とコラボして、米からできた袋をビニール袋の代わりに使用した。また、地域清掃を通して学校周辺の防災マップを新中一向けに制作することになった。制作にあたってのミーティングでは、防災マップに載っているものが危険なものへの警告だけでなく、学校周辺の魅力を見つけて掲載したい等の意見が出た。学年を超えて、中学生から高校生までがそれぞれの立場から話し合うということを何度も行えたことがより良いものを作る鍵となったと考える。

困難だったこと/次回に活かすこと

新型コロナウイルス感染症の影響で、時間と清掃場所が大幅に制限されたため、思うような活動ができなかった時期がある。また、中学生と高校生の合同活動のため、メンバーの予定を合わせることが難しかった。今後はミーティングで決まったことを迅速に共有し、今まで以上に活動を活発化させたい。また、限られた時間で充実した活動を行えるように、タイムスケジュールや目的意識を明確にして活動したい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

近年、国際目標であるSDGsが注目されています。世界に目を向けるだけでなく、自分たちの身近な問題を見つめ直すことも重要です。私達nic。では誰かが行動するのを待つのではなく、積極的に動ける人を増やし、自分からワンアクションを起こすという素晴らしさを伝えるために活動をしてきました。こんなささやかな行動で環境が変わるのだろうかと疑問に思ってしまうこともあるかもしれません。しかし必ず近所の人、学校の人など誰かのために役立ちます。またはその活動が広がり世界のためにもなることも可能です。皆さんも「住み続けられるまちづくりを」を達成するために何ができるのか、一緒に考えて行動しましょう！

報告者
134

名前/グループ名/グループメンバー

齊藤羽亜

人数	活動地	区分
60 人	沖縄県	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
5時間	人

◆その他

アクションの種類	ボランティア	実施期間	2022/3/12

支援先

取り組んだアクション

地域の方々と一緒に、地域の清掃を行った。また、ゴミ箱の前では分別の誘導も行った。

工夫したことや達成したこと

このゴミが何ゴミなのか、いつも私たちが適当に行ってしまっていることを見直しながら活動した。

困難だったこと/次回に活かすこと

意外と、何ゴミなのかが分からないことが多かった。

これからアクションを起こす人へメッセージ

私だけが動いても、、ではなく、みんなそれぞれ一人一人が動くことが大切だと思う。

報告者
24

名前/グループ名/グループメンバー

はやりこ

人数	活動地	区分
100 人	千葉県	高校生/高専生

関連するSDGs

アクションの種類 ボランティア

実施期間

支援先

取り組んだアクション

学校の活動で、ロシア兵墓地の清掃奉仕活動を行いました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
1時間	100人

◆その他

報告者
30

名前/グループ名/グループメンバー

芳野 実羽

人数	活動地	区分
1 人	埼玉県	大学生

関連するSDGs

アクションの種類 ボランティア

実施期間

支援先

取り組んだアクション

サンタランへの参加

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

報告者
44

名前/グループ名/グループメンバー

石川 咲彩

人数	活動地	区分
20 人	茨城県	専門学生

アクションの種類 ボランティア

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付
円

◆物の寄付
個

◆ボランティア時間
2時間

◆インパクトを与えた人数
30人

◆その他
プラスチックゴミ　3

取り組んだアクション

ボランティアで地域のゴミ拾いをした。

2
Fundraising
資金調達

報告者
107

名前/グループ名/グループメンバー

こゆ

人数	活動地	区分
1 人	神奈川県	小学生

関連するSDGs

アクションの種類	資金調達	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17
支援先	ユニセフ		

取り組んだアクション

得意のアイロンビーズで、コースターやキーホルダーを作って、母が所属する演奏会のロビーで販売しました。その売り上げの一部を、トルコ地震のために寄付をしました。寄付をしようと思ったきっかけは、自分より小さい子が、妹をがれきの中で守り切ったニュースを見たからです。私にも弟がいます。自分なら弟を守れるかな、と思いました。トルコの人たちの役に少しでも立てば嬉しいです。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
1000円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

一つ作るのにけっこう時間がかかるので、コスパを考えて作りました。セットで安くしたり、キーホルダーにして、小さくても買ってもらえるようにしたりして、工夫しました。

困難だったこと/次回に活かすこと

今回は少し売れ残ってしまったので、次はもっと流行りやアイロンビーズの配色を勉強したいです。たくさん売って、また寄付したいです。

これからアクションを起こす人へメッセージ

一緒にがんばりましょう。

報告者
80

名前/グループ名/グループメンバー

フリー ザ チルドレン: あんな

人数	活動地	区分
1 人	千葉県	中学生

アクションの種類　資金調達

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　お米

◆ボランティア時間　48時間

◆インパクトを与えた人数　860人

◆その他

取り組んだアクション

シングルマザー向けのフードバンクに寄付。子どもの声を届けるシンポジウムへ参加。子どもを守る企業の広告に協力しました。

工夫したことや達成したこと

お米の寄付、リクルートさんのインタビュー、子供の権利についてのフォーラムなど。

困難だったこと/次回に活かすこと

イギリスのオンラインスクールに在学中なので、なかなか夜からのウェブ参加ができませんでした。（授業の時間と重なっていたので）また、週末は習い事や試合と重なっており、このようなことからタイミングが合わずに、参加できないイベントがあり、とても残念でした。今後は、イベントが複数に分かれていたら参加しやすいかもしれません。引き続きイベントチェックをし、参加出来そうなものがあれば、積極的に参加をしていきたいと思っています。

これからアクションを起こす人へメッセージ

受験や塾など忙しい時期だと思いますが、参加できるイベントがあれば、ぜひ積極的に参加していただきたいです。私たちにできる小さなアクションが大きなアクションにつながります。わたしも引き続き応援しております。みんなでより良いアクションをつなげましょう！

報告者
118

名前/グループ名/グループメンバー

東京家政学院中学校２年生

人数	活動地	区分
21 人	東京都	中学生

関連するSDGs

アクションの種類　資金調達

実施期間　2022/3/1～2023/2/28

支援先

取り組んだアクション

フィリピンで困っている子どもたちのために、フェアトレード・チョコレートを校内で販売し、寄付を行いました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
3548円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
1.6時間	40人

◆その他

工夫したことや達成したこと

販売しているラウンジに昼食を買いにきた生徒や先生にチョコを買ってもらえるような呼びかけをした。割引について説明したり、このお金がフィリピンで困っている子どもたちのために寄付されることを説明するなどの工夫をしました。そのおかげで２５個販売することができました。校内のたくさんの生徒にこういうプロジェクトがあるということを知ってもらえました。

困難だったこと/次回に活かすこと

思っていたより売り上げが伸び、自分たちは販売する経験ができなかったので次回は今回の経験を活かし販売する数をよく決めたいです。

これからアクションを起こす人へメッセージ

社会をより良くするために頑張ってください！

報告者
132

名前/グループ名/グループメンバー

ボーイスカウト東京北第一団

人数	活動地	区分
20 人	東京都	中学生

アクションの種類	資金調達	実施期間	2022/3/12

支援先

取り組んだアクション

赤羽駅前でのトルコ・シリア地震災害義援金募金活動

工夫したことや達成したこと

皆さんに声が届くように大きな声で呼びかけました。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
950,501円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
3.5時間	300人

◆その他

困難だったこと/次回に活かすこと

もっと垂れ幕など目立つようにしたり、事前告知もしておきたいです。

これからアクションを起こす人へメッセージ

小さなことから始められます。

報告者
48

名前/グループ名/グループメンバー

レインボーガールズ

人数	活動地	区分
6 人	埼玉県	中学生

アクションの種類　資金調達

実施期間

支援先　アルペ難民センター

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
8,016円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
10時間	30人

◆その他

取り組んだアクション

難民の方のためにマーケットでHeal　the　worldを歌い、たくさんの方に募金していただき静岡のアルペ難民センターに8016円寄付しました！

報告者
60

名前/グループ名/グループメンバー

ハリネズミ

人数	活動地	区分
1 人	東京都	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円	◆物の寄付 着
◆ボランティア時間 時間	◆インパクトを与えた人数 人
◆その他	

アクションの種類	資金調達
実施期間	2022/5/5-5/7
支援先	ウクライナ

取り組んだアクション

ロシアウクライナ問題のために、家族や自分が使わなくなった古着を集めて売った後、コンビニなどにあるウクライナ支援募金に稼いだお金を募金する。

困難だったこと/次回に活かすこと

以前に、服だけではなく使わなくなった文房具用品も発展途上国に寄付ができるというのを聞いたので、それをしてみたい。

なぜこのアクションに取り組んだのか

ロシアウクライナ問題に興味があり、私に今すぐできることは募金だと考えたから。

アクションを起こしての感想

いざ古着を探してみるとたくさんあって、何年間も使っているのを捨てるのは少し寂しい気がした。しかし、クローゼットの中がきれいになったのと、少しでもウクライナの人にお金が素早く回ると思ったので、一石二鳥だと思った。

工夫したことや達成したこと

自分の部屋の中で完結でき、技術もいらないから取り組みやすい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

報告者
78

名前/グループ名/グループメンバー

フリーザ・チルドレンジャパン
FURAHA
刈屋彩乃

人数	活動地	区分
9 人	東京都	高校生

アクションの種類	資金調達	実施期間	2022/3/16

支援先　WOMEN’ SEMPOWERMENTCENTRE

関連するSDGs

取り組んだアクション

FTCJ子どもメンバーで応募を募りフェアトレードの販売を行った。その中でも私が実際に参加したのは3月に行われたプレナスなでしこリーグＡＧＦフィールドの会場での販売であった。フェアトレードチョコをサッカーを観戦しに来た方々に販売し、さらに利益の一部を寄付することで2つの支援をすることができたと思う。チョコレートにしては少し高めの値段設定にしたが、子ども連れの方々など多くの人が購入をしてくれたり、「大学でフェアトレード勉強しました」などと話をして下さる方もいてとても楽しかったと同時に貴重な交流となった。最後の最後で無事目標だったフェアトレードチョコの完売を達成することができてとても嬉しかった。この活動を通して子どもでも世界をよりよくするために行動できるチカラがあると感じるとともに、これからも様々なアクションに挑戦したいと思った。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
154,540円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

工夫したことはグループの中で役割を決めてフェアトレードチョコレートを販売したことです。お金の計算をする人、商品を渡す人、フェアトレードについて興味をもってくれた方に説明する人など役割を分けることによってスムーズに行うことができました。グループの中で絵が得意な友達がいたことで、フェアトレードチョコレートのパッケージをかわいいイラストにしたり、お店にポップを貼り付けて一目見て立ち寄ってみようかなと思える工夫ができたと思います。最終的に完売をすることができてとてもよかったです。

困難だったこと/回に活かすこと

困難だったことは、人数が少なったこともあり事前の役割分担がうまくいかず一定の人の負担が大きくなってしまったことです。また、チャットだとなかなか内容が詰め込めないので、zoomなどを積極的に活用してなるべく短い時間でメンバー全員で活動できる方法を探すことが大切だと思いました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

フェアトレードチョコレートを実際に買う立場、販売する立場、両方を今回の活動を通じて経験することができました。購入していた時はフェアトレードチョコレートは少し高いなという印象が強かったのが事実です。でも、実際に販売し値段設定を決める立場になってみて、この値段に至る過程で様々な人がかかわってそれ以上に価値のある商品になっているということを改めて痛感しました。このように、実際に経験、体験してみないとわからないことがアクションには存在し確かにそれは不安だけれども、それ以上に学べることも多くあるとわかりました。

報告者
79

名前/グループ名/グループメンバー

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
子どもアンバサダー
横澤日菜子

人数	活動地	区分
9 人	東京都	高校生

アクションの種類	資金調達	実施期間	
支援先	ケニア		

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
48時間	人

◆その他

取り組んだアクション

フェアトレードチョコ『FURAHA』の企画運営に携わりました。ケニアのお母さんたちの自立支援に支援をするため、フェアトレードチームを立ち上げ、5ヶ月間に渡り活動しました。デザイン、広報、価格設定、支援先など、全てをチームのみんなと決め、オンライン・対面・店頭で販売しました。

工夫したことや達成したこと

子どもの権利条約は、特別な時のものではなく、主体であるあなたとともに権利は常にあり、権利の侵害も日常の中にあるのだということを周知できるように具体例を記した。又、権利を知ることで嫌なことをNoと言えるのだという、権利を知ることでできることもキュートなハートでメッセージしました。

困難だったこと/次回に活かすこと

固定観念の払拭。子どもは大人に従っていれば良い、子どもは意見を言う必要はない。日本社会に根付いたこれらを払拭して新たな幕開けができるように活かそうと思っています。

これからアクションを起こす人へメッセージ

わたしにも出来たからあなたにも出来る！You are the next change maker！You can do it.

報告者
91

名前/グループ名/グループメンバー

小笠原綾香

人数	活動地	区分
18 人	広島県	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
50000円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
3時間	人

◆その他

アクションの種類	資金調達	実施期間	2022/12/18
支援先	ユニセフ		

取り組んだアクション

ユニセフ募金活動

工夫したことや達成したこと

できるだけ横断歩道の前で呼びかけをすることで、少しでも歩行者の目に行くようにした。

困難だったこと/次回に活かすこと

天候が悪かったり寒さで長時間の募金活動がかなり大変でした。

これからアクションを起こす人へメッセージ

行動してみたら思ったよりもたくさんの方が耳を傾けてくれて、協力してくださるので、何か興味のある活動があるなら迷わずにやってみてください。

報告者
124

名前/グループ名/グループメンバー

かにっクス

人数	活動地	区分
1 人	東京都	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 個

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類	資金調達	実施期間	2022/2/12～17

支援先 **会津学鳳高校**

取り組んだアクション

トルコで起こった大震災による被害者の方々へ、復興のための募金活動を行なった

工夫したことや達成したこと

少しずつで良いからお金を何度も寄付すること。

困難だったこと/次回に活かすこと

自分が使う分の最低限の小銭は残して、残りのお金を寄付することなど計画性のある寄付を心がける。

これからアクションを起こす人へメッセージ

最初の一歩は勇気がいるけど、その勇気があれば周りも自分自身もより良いものへと変化できる。

報告者
57

名前/グループ名/グループメンバー

ゆきみだいふく

人数	活動地	区分
1 人	東京都	大学生

アクションの種類 資金調達

実施期間 2022/5/10-2023/1/10

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 着

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

取り組んだアクション

服を売り、その利益全額を発展途上国などに募金する。

困難だったこと/次回に活かすこと

次回は集めた古本を持って古本市に参加して、売り上げを寄付する予定です。

なぜこのアクションに取り組んだのか

服をリサイクルしたら自分もそれを買った相手も笑顔になるし、その募金して、その国に対してもwin-winになるから

アクションを起こしての感想

自分は着用しない服であっても、まだ着れる洋服を引き渡すことが出来て、捨ててしまうよりも気分良く洋服を手放すことが出来た。身近なところにアクションの機会はあると感じた。

工夫したことや達成したこと

工夫とかもあんまりないですが、この活動が楽しかったです

これからアクションを起こす人へメッセー

どんなアクションも、はじめの一歩からです。応援しています！

報告者
70

名前/グループ名/グループメンバー

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン　メンバー
（小学生～大学生）

人数	活動地	区分
8　人	東京都	大学生

関連するSDGs

アクションの種類	資金調達	実施期間	2022/6/5

支援先

取り組んだアクション

児童労働問題解決のため、ママの収入向上支援のための街頭募金活動を行った。（千歳烏山駅周辺で2時間実施）

なぜこのアクションに取り組んだのか

企画者：児童労働は当事者が同年代だから身近に感じていた。児童労働反対世界デーに合わせてアクションを起こしたく企画をした。
参加者：学校の授業で児童労働を学んでいたが、もっと知りたい、知るだけではなくアクションも起こしてみたかったので、アクションに参加した。世界の問題にちゃんと取り組んでみたかったし、みんなで協力して結果を出したかったから。

工夫したことや達成したこと

■ボードを書くとき、目的がパッと分かるように、色を分けたり、写真を使って現地のイメージを伝えた。■呼びかける時、短く言うだけでなく、具体的な数字を入れた。声が途切れた時は率先して声出しをした。■募金をした人がハッピーになれるように、募金箱にありがとうPOPを作った。■声出しで伝えるだけでなく、パンフレットを渡して見てもらうようにした。■こっちを見てくれる人が入たら、そっちを向いて、説明を言った。■募金をしてくれた方へありがとうを全力で言った。

困難だったこと/次回に活かすこと

■呼びかけの時、言葉に悩んだり、かんでしまったので、何を言うのかをあらかじめ考えて、ちゃんと練習してから行えばよかった。
■呼びかけの言葉がかぶってしまった。かぶりすぎると聞き取りにくいと思うので、どういうタイミングで言うかもう少し考えたらよかった。（長いセリフは順番を決めて、短いのは言いたい時に言えるようにする）
■歩行者天国の時に車道側に向かっても呼びかけていたが、自転車が多かった。歩道側を向いた方が安全で効率的だったと思う。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
13,407	着
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
2時間	人
◆その他	

アクションを起こしての感想

■問題解決のため活動できたし、今までふわっとしか分かっていなかったことも、準備のために深く調べ話し合ったので、問題についてより深く知ることが出来た。■前回の反省点も生かしてできたので達成感がある。■解決するために出来ることを考えると最終的にお金に行きついてしまうが、■お金を集める事の大変さ■有難さも改めて分かった。■募金活動が身近なものになった。短い時間で伝える事の難しさを感じた。■初めてボランティアに参加したが、アクションを起こすことは思ったより簡単だと思った。■寄付をしてくれたり、感謝されたこと、この募金が支援に繋がることが嬉しかった。■これまで1人で問題を考えていたが、みんなで考えて他のアイディアを知ることが出来て良かった。自分だけじゃないことを知れた。

これからアクションを起こす人へメッセージ

■やったことないことに挑戦することで、新しい視点を持つことができる！　いつもの日曜日よりも有意義な日曜日になりました！　年齢とか関係なく、若い子でも気軽に参加できる！　アクションを起こすのは難しい　■大変そうと思ってしまいがちだけど、実際やってみると意外と堅苦しくないし、ハードルもないし、楽しいよ！

報告者
27

名前/グループ名/グループメンバー

SEIYA

人数	活動地	区分
1 人	沖縄県	その他

関連するSDGs

アクションの種類	資金調達	実施期間	
支援先	滞在施設		

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
500円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
	2人

◆その他

取り組んだアクション

病気と闘う子供とその家族のための募金をファストフード店で行っていたので募金させてもらいました。

3
Awareness-Raising
啓発活動

報告者
50

名前/グループ名/グループメンバー

ゆいゆいチーム

人数	活動地	区分
3 人	神奈川県	小学生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 個

◆ボランティア時間 4時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022.12.3
支援先	アフリカ、学校など		

取り組んだアクション

サンタクロースの衣装を着て、楽しく走って、　日本にいる病気と闘う子どもたち＆海外の貧困の中にいる子どもたちを応援するチャリティイベント東京グレートサンタランに参加しました

工夫したことや達成したこと

楽しく走った。

困難だったこと/次回に活かすこと

入院しているこどもたちのことだけでなく、
世界の貧困についても考えていきたい

これからアクションを起こす人へメッセー

できることをやってみればいいと思う

報告者
54

名前/グループ名/グループメンバー

スーパーアースチーム

人数	活動地	区分
2 人	東京都	小学生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/4/20-8/30

支援先

取り組んだアクション

・部屋の暖房を20度に設定した。
・スーパーで、賞味期限がもうすぐできれそうなものを、選んで買った。
・マクドナルドの募金コーナーの募金をした。
・友達と一緒に公園のごみ拾いをした。
・ポイ捨てはダメをテーマにポスターを作った。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

工夫はゴミを拾っても拾っても、ゴミが落ちるからポスターを作り、気をつけさせるようにした。達成出来たことは、スーパーの人に聞いたら、ここ最近賞味期限切れのものが減った、と言った。とても嬉しかったらしい。

困難だったこと/次回に活かすこと

困難だったことは、ゴミ拾いとかすぐにやりたくても、できないことが最初はありました。これからは、もっとステップアップしていき、社会のために役立てることを少しづつでもいいから、仲間と一緒に行っていきたいです。

これからアクションを起こす人へメッセー

少しづつでもいいです。家族、友達、1人でも大丈夫です。最初は難しいかもしれません。私も最初はこんなんとか沢山ありました。でも自分ならできると信じてみると、自信が湧き出ました。あなたなら大丈夫です！私はずっと応援してます！社会のためにも、一緒に頑張っていきましょう！

報告者
10

名前/グループ名/グループメンバー

木村 碩介

人数	活動地	区分
16 人	千葉県	小学生

アクションの種類　啓発活動

実施期間

支援先

取り組んだアクション

SDGsを学んで、自分たちにできることを考えるために、地域の子育てサークルで、お母さんたちと小学生向けの勉強会を開きました。17の目標のうち、それぞれが興味があることに対してできるアクションプランを発表して、経済、環境、社会にどんな影響を与えるか、この3つのバランスを取るために気づいたことや考えたことを話し合いました。僕はお母さんと一緒に、17の目標の紹介を作りました。大好きなパーム油を使ったポテトチップ、カカオを使ったチョコレート、牛肉を使ったハンバーガーを食べると、地球の別の場所に住む子供や動物にどんな影響があるのか、地球に優しい商品をどうやって選んだらいいかを説明して、みんなに理解してもらえました。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
8時間	28人

◆その他

報告者
22

名前/グループ名/グループメンバー

木田 陽花

人数	活動地	区分
1 人	東京都	小学生

アクションの種類　啓発活動

実施期間　2021.9.18-10.9

支援先

取り組んだアクション

30人ぐらいと言う少ない人数にだけど英語で前行った募金活動について紹介し！募金を呼びかけた。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
発表したのは数分	30人

◆その他

報告者
20

名前/グループ名/グループメンバー

笠井 凛心

人数	活動地	区分
1 人	東京都	中学生

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/11/20～12/18

支援先	ミラクルラボ

関連するSDGs

染めもの×フードロス

2本

染めものから視野を広げ、現代社会を俯瞰してみたり…フードロスにも触れます

フォローする

運営しているクリエイター

Rico@社会を旅する中学生

取り組んだアクション

フードロスの中でも、捨てられるはずだったミカンの皮やアボカドの種と、近所の花屋さんでいただいた傷がついていた花を利用して、マスクを染め、食の現状を考えてもらううワークショップを小学生向けに学童で開催しました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
5時間	30人

◆その他

染めものマスク40枚

工夫したことや達成したこと

企画を思いついてから、ボランティアしている子ども食堂と地域の学童・花屋・居酒屋に直接協力をお願いしにいきました。その結果、10人の大人の協力によって、20人の子供たちに食の視点でSDGｓが考えられるワークショップができ、「学校では教えてくれなかったから、お母さんに話すね！」「ぼくも家で気を付ける！」との嬉しい感想をもらいました。小学生にもわかるようにイラストやスライドを「パット見て把握できる」ようできるだけ少ない情報で構成しました。また、フードロスと染めものについて自分の中で考えを深め、noteで発信すると理念に共感してくださったり、活動の支援もいただきました。

困難だったこと/次回に活かすこと

私の日常的な話し方ではなく、かみ砕いて説明する必要がありました。また、正解がわからないテーマなので、参加者を否定せず新しい方法を提案していく、という基準が難しかったです。規模を大きくするにはメンバーも増やす必要がありますが、準備段階でも担当をしっかりと決めて続けていきたいです。

これからアクションを起こす人へメッセー

ソーシャルアクションにおいて「満足」という言葉はないと思っています。直接的に支援していきたいのなら、効率性を高めるべきだし、私がやっているような社会の理解を広げて間接的にアプローチするならば、「無関心な人々」を動かす必要があります。自己満足で「ボランティア」に取り組む前に、自分はどんな社会を創っていきたいのかというビジョンをしっかりさせると結果的にいろいろな出会いやアクションに繋がります。本当にそのアクションをやりたいのか一度考えてみてください。

報告者
63

名前/グループ名/グループメンバー

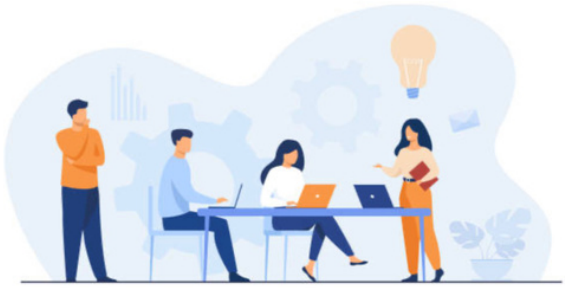
波田野優

人数	活動地	区分
1 人	東京都	中学生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/5/5

支援先



取り組んだアクション

子どもの権利に関する啓発を目的とした動画作成を行なった。啓発を目的としているため、友人やSNS等で動画を発信し、この動画をより多くの人へ見ていただけるようにした。

数値的成果

◆お金の寄付	円
◆物の寄付	着
◆ボランティア時間	時間
◆インパクトを与えた人数	人
◆その他	

なぜこのアクションに取り組んだのか

今日本では、テレビや新聞などのニュースで小さな子どもや私たちと同じ年頃の子どもが暴力などの虐待を受けて亡くなど、悲しい事件が後を立ちません。そして、これらの課題はますます深刻になっている気がします。これからの問題は1人の問題ではなく社会全体の問題であると考えています。そこで多くの人が子どもの尊厳が守られる社会に向けて協力していけるように願い、啓発活動を行いました。

困難だったこと/次回に活かすこと

画像を選ぶことにおいては著作権などの関係から多くの時間をかけてしまった。そのため、次回活動をする際にはフリー素材などと画像をしぼり、時間短縮をしたい。

工夫したことや達成したこと

多くの人の子どもの権利に対する関心を高めたいと考えたため、画像をつけたり英語の字幕をつけるなどの工夫をした。そのようにすることで、啓発の対象を広げられるようにした。

アクションを起こしての感想

アクションを起こした期間が短かったということもあり難しいと感じることもありました。しかし、私のアクションによって誰かが笑顔になることを想像し、最後までアクションを起こすことができました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

自分がアクションを起こしたところで世界が変わるのか、と思われるかもしれません。世界を簡単に変えることはできませんが、あなたの一歩が世界を変える大きな力になると考えています。なぜなら、多くの人の力が集まれば、大きな一歩になると考えているからです。ぜひ、一緒に活動していきましょう！

報告者
68

名前/グループ名/グループメンバー

山口清崇

人数	活動地	区分
1 人	岐阜県	中学生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

子どもに関する社会問題について絵に描きました。たくさんの人たちに子どもの問題を伝えて、少しでも改善の道に進んでいって良くなるといいと思います。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	着
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
2時間	3人

◆その他

なぜこのアクションに取り組んだのか

去年の春のオンラインキャンプのときに「世界中の子どもが幸せになりますように」ということを絵にして描いたので、今ぼくがいっしょうけんめいにやっているこどもの権利について書こうと思いました。

工夫したことや達成したこと

去年の春のオンラインキャンプのときに描いた絵とは違う、「世界中の子どもたちに教育を」ということをテーマに描きました。色を濃くして見やすくしたり、可愛い子どもを何人か描きました。そこを工夫しました。
それで、その絵を描いてから、様々な所（オンラインなど）でこの絵を紹介してきました。そしたら、たくさんの人が「すごいね」などと言って、褒めてくれました。描いた甲斐があったなと思いました。
これからもたくさんの人にこの絵を広めて、子どもの権利条約のことを知ってもらいたいなと思います！

困難だったこと/次回に活かすこと

とくにないです。次回に活かすことは、もっとたくさん社会問題について調べたりして、もっと辞典みたいんにたくさん記入して、たくさんの人たちに見てもらって、もっとすごいと言われたい！

アクションを起こしての感想

アクションに取り組んで、去年はその絵を描いて1年間、いろいろな場面でたくさんの人たちに絵の説明をしたり、「絵がすごいね！」などと褒めてくれたりもしてくれました。なので、今回もこの描いた絵をいろいろと話せる場面で見せたいと思います！

これからアクションを起こす人へメッセージ

自分で社会問題についてアクションを起こすことはとても簡単なので、どんなに小さなことでもやってみて下さい！きっと、君はできる！

報告者
74

名前/グループ名/グループメンバー

波田野優

人数	活動地	区分
1 人	東京都	中学生

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022-2023

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

取り組んだアクション

●ftcjチェンジメーカーフェス登壇
●立憲民主党「子どもの声をきく会」で国会議員と対話
●広げよう！子どもの権利条約キャンペーン主催、こども基本法とこども家庭庁設置法の成立記者会見でコメントを発表
●毎日メディアカフェ「こども家庭庁に関するシンポジウム」登壇
●東京新聞の取材を受け、5月5日号一面「こどものあした」に掲載
●毎日新聞「毎日メディアカフェこどもシンポジウム」に掲載
●毎日新聞「記者の目」に子どもの権利に関する発言が掲載
●佼成新聞の取材を受け、8月8日号「ひと」でインタビュー記事掲載
●OSEC（オンライン性搾取）をなくすための署名と要望書を野田元こども政策担当大臣に提出
●OSECに関する新聞「OSEC　TIMES」を作成、野田元こども政策担当大臣に提出予定
●Knk主催「5つの質問　世界の子どもたち、同じと違い」にて、カンボジアの養護施設の若者とパレスチナの難民キャンプに暮らす若者と対話

工夫したことや達成したこと

子どもの権利が守られる社会を実現するためには、より多くの人の理解と協力が必要不可欠だと考えます。子どもの権利に対する人々の関心を高め、社会で多くの人の理解を得るために「啓発活動」を行ないました。私一人の力では達成できないことも、人と人の繋がりを大切にし、啓発の機会があれば積極的に参加するようにしました。院内集会で国会議員や各省庁の方々やNGOの方々と対話や意見交換をしたり、新聞記者の方に声を届け、紙面で取り上げていただいたことなどは、そのような行動から達成できたことだと思っています。

困難だったこと/次回に活かすこと

子どもの尊厳が守られる社会の実現には、幅広い世代の人々の理解が必要です。しかし、現在の日本社会では、子どもの権利の問題は「自分は大人だから関係がない」、「自分はいじめや虐待を受けていないから考えることがない」など、あまり身近なことと意識されていません。そのような理由から、人々の意識を変え、子どもの権利に対して親近感がわくように伝えるということが難しかった点の一つです。今後は実際にいじめや虐待を受けた子どもたちの声を取り上げ、インパクトを与えて人々の関心を促すと同時に、子どもの権利の正しい理解が子どもや若者のウェルビーイング実現に繋がるということについても声をあげていきたいと思います。

これからアクションを起こす人へメッセージ

今世界には多くの課題があります。みなさんもこれまで社会課題に対し、思いを巡らせたり、頭を悩ませた経験があることでしょう。私たちが大人になるまで多くの課題が放置されたままでは、私たちの子どもたちの未来が希望の持てない世界になることでしょう。私はそれは、あってはならないことだと思います。世界を変えるためには「変化」が必要です。みんなで協力し、行動を起こしてこそ「変化」が起こるのです。まずは小さな一歩からでも大丈夫です。「自分」も大切な1つの存在です。自分には可能性があると信じて、自分が好きなことを活かし、自分らしいクリエイティブなアクションを起こしましょう！自分も人も世界もハッピーになれる世界を一緒に実現しましょう！

報告者
75

名前/グループ名/グループメンバー

子どもアンバサダー　山口清崇

人数	活動地	区分
10　人	岐阜県	中学生

関連するSDGs

アクションの種類　啓発活動

実施期間

支援先

取り組んだアクション

・4月30日に毎日メディアカフェで行われた「子ども家庭庁シンポジウム」に登壇

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

工夫したことは、質問で聞かれる内容を把握して、その質問に対する答えで、何を話そうかと一生懸命考えました。達成したことは、ぼくが話したかったことをみんなの前で話せて、その話を聞いてくれている人たちもそのぼくが話したことに共感してくれたみたいだったので、すごく嬉しかったです！　頑張って、話す原稿を考えた甲斐があったなと思いました。またこういうイベントにたくあん登壇したいなと思いました。

困難だったこと/次回に活かすこと

困難だったことは、特にありませんでした。これからも、こういうイベントにたくさん登壇すると思うので、今回のシンポジウムに登壇した時にがんばったことを活かしたいです。

これからアクションを起こす人へメッセージ

ぼくがみんなに伝えたいことは、2つあります。
1.社会問題を自分ごととして考えてほしい。
2.フリーザチルドレンのミッションは、「子どもには世界を変えられない」という考え方から子どもを自由にすることなので、小さなことでもアクションを起こせば、必ず何か変化が起きるということをぜひ体験してみてください！

報告者
81

名前/グループ名/グループメンバー

匿名

人数	活動地	区分
1 人	東京都	中学生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間

支援先

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

取り組んだアクション

食品ロスについての活動をしている大学のサークル所属の方へ食品ロスについて話をうかがった。
フェアトレードチョコレートを１０個購入し、友人へプレゼントすることでフェアチョコレートについて知ってもらった。

工夫したことや達成したこと

食品ロスに向けての活動について知ることができた。フェアトレードについてチョコレートを通して身近に感じ、友達へこのようなチョコレートがあることについて伝えることができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

食品ロスの授業など直接活動に参加することができなかったことフェアトレードチョコレートの販売の手伝いをすること

これからアクションを起こす人へメッセージ

まずは知らないことをそのままにせず知ることが大切だと思います。小さなことでも身近なことでできることから始めることが大切です。

報告者
86

名前/グループ名/グループメンバー

10代のための
エシカルコスメ推進委員会

人数	活動地	区分
1 人	東京都	中学生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/12/24

支援先

取り組んだアクション

オンラインワークショップ
コスメに潜む問題（動物実験、労働問題、石油の原料など）を知ってもらい、地球環境をはじめ、動物にも人にも優しいコスメを目指すエシカルコスメについて紹介しました。人にも地球にも優しい手作りコスメスクールの増岡晶子氏ご協力いただき、エシカルコスメについてやエシカルコスメを選ぶにはどのような事を気をつければいいのかを学び、リップグロスづくりを参加者に体験してもらうことでコスメが意外に簡単に作れることも知ってもらいました。

数値的成果

◆お金の寄付	円
◆物の寄付	個
◆ボランティア時間	時間
◆インパクトを与えた人数	13人
◆その他	

工夫したことや達成したこと

参加者に全体的に楽しみながら新しい視点を学ぶことができたなどの感想をいただき、ワークショップを開催したことで少しでも気づきや発見、問題意識に繋がるなどの効果を得ることができました。

困難だったこと/次回に活かすこと

「エシカルコスメ」のエシカル（倫理的）という概念を伝えるのが難しかったです。イベント参加者が最初は多く集まりませんでしたが、結果的には小学生から大学生までの１０人以上の参加がありました。更に参加者（小学生）の保護者の方もサポートしていただき共有することができました。次回開催する場合は早い時期から準備をして広報していくのがよいと思いました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

今回のイベントは、主催者としては１人で実施しましたが、講師の方、FTCJスタッフの方、以前にコスメイベントを開催した方、参加者の方々の多くの力に支えられて開催することができました。そして、参加者の方が楽しみながら新たに問題意識を持ってもらうことができました。イベント開催前は不安もありましたが、思い切ってこのような社会的なイベントを開催して本当に良かったと思っています。迷っている方は、小さなことでも社会的な活動に是非チャレンジしてほしいと思います！

報告者
51

名前/グループ名/グループメンバー

木村 和香

人数	活動地	区分
3 人	東京都	中学生

アクションの種類	啓発活動	実施期間	
支援先	アフリカ、学校など		

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
60,000円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
5時間	人

◆その他

取り組んだアクション

SDGsを広めるために学校のお祭りでポスターを書きました。アフリカの学校などを作るためにお金が寄付される商品をたくさん購入しました。

報告者
23

名前/グループ名/グループメンバー

クラーク天王寺校　総合進学コース

人数	活動地	区分
30　人	大阪府	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2021.9.18-10.9

支援先	日本赤十字社

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付	◆その他
3,911円	ペットボトルキャップ 7000個	
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数	
約110時間（5か月間）	約350人	

取り組んだアクション

地域の方々や在校生がSDGsについて知り、考える機会の提供を目的として、10月16日（日）に「SDGsマルシェ」というイベントを開催しました。約半年間の準備期間の中で、イベント当日の準備だけではなく、イベントの告知や自分達の学びを深めるために、下記事項に取り組みました。
ペットボトルキャップやプルタブの回収と寄附。
SDGsに取り組んでいる企業・団体へインタビューをしYouTubeにて発信。
保育園にて環境問題に関するワークを実施。

10月16日（日）イベント当日について14の企業・団体に趣旨にご賛同頂き、ブースを出展いただきました。
海外のSDGs事情を調べて、啓発ポスターを作成。海外のSDGs事情に関するクイズ大会を実施。
「eスポーツ×SDGs」に関する啓発ポスターを作成し、SDGsに関連したゲーム大会を実施。
SDGsに関するオリジナルキャラクターを作成するブースを設置。
本来捨てられてしまうエシカルラップという連携企業の商品の切れ端を活かして、オリジナルポーチ作りをするブースを運営。
売上の一部を医療を受けたくても受けられない子どもたちのために、日本赤十字社に寄附。
社会問題に取り組んでおられる方をお招きし、講演会を実施。
SDGsについての考え方や高校生へのアドバイスをいただきました。

報告者
42

名前/グループ名/グループメンバー

伊東 美海

人数	活動地	区分
1 人	静岡県	高校生/高専生

関連するSDGs

アクションの種類　啓発活動

実施期間　2022/12/20-2023/1/16

支援先

取り組んだアクション

この大人のつくった社会の中で、子どもの命のともしびが消えないように。この大人のつくった社会の中で、子どもがありのままの自分で幸せに生きられるように。この大人のつくった社会の中で、子どもの笑顔がくもらないように。私たち子どもが子どもであっても1人の人間として生きているのだと主体である子どもに知ってもらいたいという思いを込めて全生徒に配布する保健だよりに子どもの権利について記載し、具体例を載せメッセージを発信しました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
48時間	860人

◆その他

工夫したことや達成したこと

子どもの権利条約は、特別な時のものではなく、主体であるあなたとともに権利は常にあり、権利の侵害も日常の中にあるのだということを周知できるように具体例を記した。又、権利を知ることで嫌なことをNoと言えるのだという、権利を知ることでできることもキュートなハートでメッセージしました。

困難だったこと/次回に活かすこと

固定観念の払拭。子どもは大人に従っていれば良い、子どもは意見を言う必要はない。日本社会に根付いたこれらを払拭して新たな幕開けができるように活かそうと思っています。

これからアクションを起こす人へメッセー

わたしにも出来たからあなたにも出来る！
You are the next change maker! You can do it.

報告者
58

名前/グループ名/グループメンバー

はな

人数	活動地	区分
1 人	東京都	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

貧困の連鎖がなぜ起こるかの説明をポスターにした。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	15着
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

なぜこのアクションに取り組んだのか

貧困で困っている人は必ず他の人の支援が必要だから、まず色々な人に知ってもらわないといけないから。

困難だったこと/次回に活かすこと

良いフリー画像を探す事が難しかった。
結局高画質のフリー画像は見つからなかった。

工夫したことや達成したこと

印象に残る見出しをつけた。

アクションを起こしての感想

短時間で何かについて調べてポスターを作ったのが初めてだったのですが、これなら自分1人でもできると思ったので、これから別の社会問題についてのポスターも作りたいと思った。

これからアクションを起こす人へメッセージ

報告者
65

名前/グループ名/グループメンバー

ななみ

人数	活動地	区分
1 人	滋賀県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

パワーポイントを使ってロシアのウクライナ侵攻の経緯や、侵攻後のロシアの対応、それによる日本への影響をまとめました。事前に知識のない人にも伝わるように、NATOなど基本的な単語の説明ページも作りわかりやすくまとめたり、画像を多く用いてイメージがわきやすくなるようにしたりすることを意識しました。また、この侵攻のことを知っていても、自分事としてとらえられていない人も多いと思ったので、日本への影響を画像を用いて説明し、日本人である私たちが自分事としてとらえられるように工夫しました。このパワーポイントを用いて、人に発表したり、SNS上に公開したりして、広めていきたいと思います。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	着
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

なぜこのアクションに取り組んだのか

実際このアクションに取り組んでみると、今まで少し難しく感じてた侵攻の経緯や現状を深く理解し、人に説明することができるようになったのでよかったです。一方、調べれば調べるほど奥が深く、単純に解決できる問題ではないということも知りました。この問題を直接的に解決するのは難しいと思うのですが、私たちには私たちなりに拡散するなど行動ができることを知ったので、今後も自分なりに取り組んでいきたいなと思いました。

困難だったこと/次回に活かすこと

問題自体が難しい問題だったので、わかりやすい言葉にニュアンスをそのまま取り入れることが難しかったです。また、高校生である私にとっては日常的な言葉でも、小学生にとっては難しいかもしれないということを意識して、より簡単な言葉に直すことを意識しました。次回は、より分かりやすく伝える語彙を大切にしたいと思います。

工夫したことや達成したこと

人によって、持っている知識が違うと思います。その中で学生である私だからこそ出来ることは何かと考えたときに、わかりやすく伝えることだと思いました。だからこそ、わかりやすい言葉でイメージしやすく伝えることを意識しました。

アクションを起こしての感想

実際このアクションに取り組んでみると、今まで少し難しく感じてた侵攻の経緯や現状を深く理解し、人に説明することができるようになったのでよかったです。一方、調べれば調べるほど奥が深く、単純に解決できる問題ではないということも知りました。この問題を直接的に解決するのは難しいと思うのですが、私たちには私たちなりに拡散するなど行動ができることを知ったので、今後も自分なりに取り組んでいきたいなと思いました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

自分には大きいことはできないと思うこともあるかと思いますが、自分にできる身近なことから行動することが大切だと思います。身近なことがおおきな支援につながり、結果的に誰かを救うことになるのだと思います。

報告者
66

名前/グループ名/グループメンバー

naruki

人数	活動地	区分
1 人	長野県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

『マイクロプラスチックが人間の体内に取り入れられたら、どんな化学物質が付着しているのかわからず怖い』このようなことを耳にしたことがあるのではないでしょうか。そう言われているのにも関わらず、日常にはたくさんプラスチックが含まれた製品がたくさんあります。それらを体内に取り入れたり、はたまた排水口を通して海に流れたら、海の生物を傷つけます。どんなに袋を有料にしたって、どんなにスプーンの使用面積を小さくしたところで、日々の生活を変えなければ何も変わらない。そのことに気づいてもらいたくて、インスタに海洋プラスチック問題（ちょー身近な）を投稿しました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	着
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	30人

◆その他

なぜこのアクションに取り組んだのか

海の生き物が人間が作って、人間が海に放出したプラスチックで苦しでいる姿に心を痛めていて、何かできることはないかと以前から思っていたから。

困難だったこと/次回に活かすこと

家中の日用品を集めて成分を確認して行ったこと。（どれがプラスチックか全然わからなかった）これからは製品に何が含まれているのか確認してから使いたい。

工夫したことや達成したこと

一人でも意識を変えてくれる人が増えるように、インスタに投稿する際のコメントを、読みやすくて、興味を持ってくれる内容になるように工夫した。

アクションを起こしての感想

自分の意見も固めることができたし、これを見て意識を変えてくれる人が一人でもできれば、海の生物が一匹でも救われたなら、ものすごく嬉しいなと思う。

これからアクションを起こす人へメッセージ

社会問題にアクションを起こしてみたいと思う人、また興味があるけど勇気が起きない人にはぜひこのキャンプに参加してほしいです。私がそうでした。このキャンプに参加したら、日々気になっていた問題について、たくさんの優しい仲間と考えることができます。

報告者
67

名前/グループ名/グループメンバー

K

人数	活動地	区分
1 人	神奈川県	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 着

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類 啓発活動

実施期間 2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

社会問題全般に関する啓発活動、4択クイズ形式のソフト作り。

なぜこのアクションに取り組んだのか

行動を起こすにはまず知ってもらう必要があると思うから。

困難だったこと/次回に活かすこと

工夫したことや達成したこと

制限時間が設けられていた都合上、何を優先して作成するべきかを迷いましたが、古い制作物から引っ張ってきたUIでなんとか大枠は完成したかなと思っています。後は、細かいディテールと、解説を付け足したり、Updater.csを作成しexecutableファイルが存在するpathにアクセスして古いものを消去、latestをダウンロードするというシンプルなプログラムを組むことで、公開後のアップデートを可能にします。

アクションを起こしての感想

問題を日頃作っている方々の労力を思い知らされました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

報告者
71

名前/グループ名/グループメンバー

伊奈高校　JINA部（国際協力）

人数	活動地	区分
1　人	茨城県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/6/4

支援先

取り組んだアクション

学校の文化祭でフェアトレード商品の販売をしました。世界の貧困からくる問題について掲示物をつくり、児童労働や公正な取引について皆に知ってもらいました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	着
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
2時間	人

◆その他

なぜこのアクションに取り組んだのか

英語の授業で、児童労働やフェアトレードについて学びました。私たちと同じ年代の子どもの現状を知りショックを受けました。何か私たちでできることはないかと思い、文化祭でフェアトレード商品を売ろうと思いました。

困難だったこと/次回に活かすこと

英語で商品について聞かれた時に上手く答えられなかったので、今後は英語の勉強もしっかりやりたい。

工夫したことや達成したこと

・商品の説明を詳しく書いた。
・お客様ひとりひとりに丁寧に声かけと説明をした。

アクションを起こしての感想

学生の私たちにでも出来ることはあるのだと実感しました。実際に販売してみて、普段私たちが買っているものはどこから、どのようにしてきているのか気にするようになりました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

報告者
76

名前/グループ名/グループメンバー

子どもアンバサダー なの

人数	活動地	区分
1 人	東京都	高校生

アクションの種類　啓発活動

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　時間

◆インパクトを与えた人数　1,200人

◆その他

取り組んだアクション

こども基本法制定記念シンポジウム「こどもの視点に立った政策とは」に登壇し、コロナ禍で子ども達の意見が聞かれることが無いまま決められてしまった部活動停止、休校について話した。

工夫したことや達成したこと

ほとんどの中高生が経験した大人によって決められてしまったコロナによる制限について、「仕方ない」で片付けられてしまわないように、自分の当時の気持ちや解決策について発言した。

困難だったこと/次回に活かすこと

原稿を見ずに堂々と話せるようになりたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

イベントに登壇、参加など何かアクションを起こそうか迷っている人は、とりあえずやってみて下さい。
アクションを起こしている人と出会うことで自分の世界が広がります。

報告者
77

名前/グループ名/グループメンバー

子どもアンバサダー　山岸永実

人数	活動地	区分
1　人	東京都	高校生

アクションの種類　啓発活動

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　時間

◆インパクトを与えた人数　人

◆その他

取り組んだアクション

新しい学校生活が始まった頃、そんな環境に馴染めなかったり、不安を抱くような人たちのために、自分の思うことをリレーコラムという形で発信した。私自身、高校生になってずっと住んでいた家を引越したり、高校生になり新しい人達と関わっていくということがあったのがきっかけで、たくさんの私のような立場の人に共感して貰えるように自分が思う「自分らしい」のあり方を伝えたかった。

工夫したことや達成したこと

入学してから少しだった5月位という時期を考え、きっと多くの人は新しい環境になったこともあり私のように期待と不安を抱えているのではないかと考え、自分なりに、これからどう人と接していくつもりか、どのように人を受け止めていくかを考えた。だから、自分自身の意見に共感する人が1人でもいればいいと思い、広い視野でコラムを書いて言ったこと。

困難だったこと/次回に活かすこと

この自分の文章を読んで共感してくれる人がいるかもしれないということを考える一方、この文章を読んで傷ついたりさらに不安にさせるなどということはしたくなかったから、この文章の謝った受け取り方はされないか、人を傷つける文章ではないか、慎重に考え書いたこと。

これからアクションを起こす人へメッセージ

私のように小さなアクションでももしかしたら救われた人がいるのかもしれないと思うことが大事だと思う。自分のことで精一杯な時があるのは当たり前だけれど、少し自分自身のことに余裕が出来たら、他の困っている人や、助けを求めている人のことを考えて活動して行けたら、そんなにかっこいい人間はいないと思っている。

報告者
82

名前/グループ名/グループメンバー

並木里乃

人数	活動地	区分
1 人	東京都	高校生

関連するSDGs

アクションの種類　啓発活動

実施期間　2022/12/20-2023/1/16

支援先

取り組んだアクション

民族問題で苦しんでいる海外の方40人以上にインタビューを行い、その問題について深く学んだ。その結果、民族問題の解決には、周辺諸国の連携のほかにも様々な国々との関係構築が重要であることを知った。つまり、日本人である私たちにとって、他国の民族問題の解決を手助けするためには、その課題に対する知見が欠かせないといえる。だからこそ、私は現地の人々の笑顔を取り戻すため、調査の結果をポスターにまとめ発表し100人を超える日本人に現状を伝えた。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
48時間	100人

◆その他

工夫したことや達成したこと

解決策が明確ではないものの、現実的だと思われる解決策を提示できた。また、初めて読んだ人にもその問題の重要性を伝えられるように、内容を選定した。その結果、100人以上の人々の目に触れ、その国に対し興味を持つ人や、問題を自分事のように受け取り課題解決の方法を模索する人が増えた。

困難だったこと/次回に活かすこと

民族問題に詳しくない人々に対し、わかりやすくかつ論理的に説明をすることに苦労した。実際に募金や物資支援をできなかったため、問題を伝えるだけではなく、次のアクションでは現地に赴き民族問題解決に向け行動を起こしたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

行動することももちろん大切ですが、課題について考える事もとても重要です。「自分には無理だ。」「行動なんてできない。」とあきらめるのではなく、一つの問題に少しの時間でも良いので向き合ってみてください！解消できなかったとしても、問題に向き合った時点で、解決のスタートラインに立てていると思います！まずは身近なところから視野を広げ、諦めずに課題と向き合ってみてください。そうすればいつか、自分が本気で向きあいたい問題に出会い、解決を試みることができると思います！

報告者
87

名前/グループ名/グループメンバー

Dear Future、 森垣穂香

人数	活動地	区分
1 人	兵庫県	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022年９月15日 ～2023年1月26日

支援先

取り組んだアクション

11月20日の世界子どもの日に、ティーン向け社会問題メディアDear Future, が『Our Action -みんなでつくろう私たちのガイドブック-』というイベントを行い、計16人の方にご参加いただきました。U25世代でそれぞれが気になる社会問題をテーマに対話を重ねて、私たちだから出来るアクションを考えました。それをもとにガイドブックの作成を行い、ティーンエイジャーが自分の興味関心にそって気軽にアクションを起こすことができるようにアクションを起こすためのガイドブックです。

工夫したことや達成したこと

イベントを行う際もガイドブックの作成を行う際も、ティーンエイジャーに寄り添うということを意識しました。わたしたちがつくるガイドブックというテーマでU25世代限定のイベントにし、これからの未来をつくっていくわたしたちが考えてつくるというところが工夫ポイントです。

困難だったこと/次回に活かすこと

ガイドブックの作成を行うなかで、どうすればアクションへのハードルを高くせずに、多くのティーンエイジャーに響くものになるのかをたくさん悩みながら作りました。実際に小学生から高校生の方に見えもうことで、より多くの人に利用してもらえるものを目指しました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

「私にできるのかな…」そう不安に思う方も多いかと思います。私も日々そう感じることがあります。でも、私たちが何か「おかしい」と思ったことや感じたことを通して、「アクション」をおこしていきたい時に、応援してくれる・サポートしてくれる方はたくさんいらっしゃいます。あとはあなたがちょっと勇気を出して踏み出してみるだけ！！私もちょっとだけ先にアクションをしたセンパイとして応援しています！！

報告者
89

名前/グループ名/グループメンバー

萩原あかり

人数	活動地	区分
1 人	神奈川県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類　啓発活動

実施期間　2022/11/13～12/18

支援先

取り組んだアクション

第5回SDGs提案グランプリにて、羽田未来総合研究所様の募集されていた、「衣料品の循環経済を広げるために、羽田未来総合研究所ができること」に対して「空港の特性を活かした新しい衣服のレンタルサービス」というプレゼンテーションを行った。具体的には、旅行における衣服の新規購入と廃棄を抑制するアイデアとして私は、衣服を空港内でレンタルするサービスを提案した。衣服を空港内でレンタルできるサービスを展開することで、従来のレンタルサービスで課題となっていたCO2排出量を抑えながら、サービスを展開できる。このことにより衣服の循環経済を発展させることができる。という内容のプレゼンテーションを提案し、ファイナリストに残ったため12月18日の本選にてプレゼンテーションを行い、同率優勝することができた。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

工夫したことは、2つある。まず、コンテストである以上、多くの人の共感を得られるようなアイデアにすることである。多くの人が抱えている問題を、テーマの中で探すことにより、共感性が高く、多くの人が感じている課題を解決できるアイデアを提案できるように工夫した。また、SDGｓ貢献度が高く、実現度も高いアイデアにすることで、アイデアを実現に近づけることだ。よいアイデアを出したとしても、実現性がなければ、アイデアを実現することが難しい。このコンテストで優勝することで、アイデアを実現してもらえる可能性があったため実現性もあるアイデアを提案するように工夫した。

困難だったこと/次回に活かすこと

提案先の羽田未来総合研究所様も、過去のコンテストファイナリストも、有名な企業や団体の方だったため、プレゼンテーション資料を分かりやすく、より深い内容まで言及した内容にすることに苦労した。アイデアの内容と、SDGs貢献度、実現可能性のどれをどのくらいアピールするかの割合を決めるのにとても苦労した。アイデアを提案することも大切だが、そのアイデアを実行することで、何かを変えることができると思ったため、実現可能性をアピールした。しかし、コンテスト後に、アイデアを実現することができなかった。次回以降いかに企業側が実現したいと思うアイデアを出せるかも考えていきたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

今後、SDGs提案グランプリに参加される方へアイデアの奇抜性や独自性も大切だが、実現可能性が重要視されている印象を持ったため、実現可能でSDGｓ貢献可能なアイデアを考えるといいと思う。私自身もそうだが、アイデアを考え発表して終わりにしてしまうのではなく、実現に向けて動いていくことが大切だと思う。私も、アイデア実現のためには、誰に協力を仰ぐべきなのか考え、アイデア実現に向けて動いていきたいと思う。

報告者
93

名前/グループ名/グループメンバー

O, K, N

人数	活動地	区分
3 人	兵庫県	高校生

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
1時間	40人

◆その他

取り組んだアクション

「仕事と子育ての両立」をテーマに探究学習を実践した。仕事と子育ての両立に関する資料の分析及びアンケートなどを経て、低い育児休業取得率、制度取得環境の不整、長時間労働、夫婦間での非合理が課題であるとした。そして、これらの課題に対して、様々な制度（子の看護休暇、早出遅出勤務など）があるが、それが知られていないことが問題であると考え、ポスターを作成し、学内やアンケートに協力していただいた会社に配布した。

工夫したことや達成したこと

あまり知られていなかった仕事と子育ての両立に関する制度について知ってもらうきっかけを作った。

困難だったこと/次回に活かすこと

初めは仕事と子育ての両立に関係ある施設へのインタビューを考えていたが、アポイントを取ることができなかったが、アンケートに切り替えて、探究学習を続けたこと。

これからアクションを起こす人へメッセージ

今回はポスター作成だったが、街頭への呼びかけなど、様々な方法で思いを伝えていくことが大切だ。

報告者
94

名前/グループ名/グループメンバー

A・K、A・G、T・A、
N・K、Y・M

人数	活動地	区分
5 人	兵庫県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

市内の消防署を訪問インタビューし、消防士の仕事・働き方について探究学習を行った。消防士の仕事は、救急活動・防災活動・予防活動に分けられる。その中でも、活動期間に増加傾向にある火災の予防活動に焦点を当てて、ポスターを作成して、火の用心の重要性を訴えた。

数値的成果

◆お金の寄付	円
◆物の寄付	個
◆ボランティア時間	3時間
◆インパクトを与えた人数	39人
◆その他	

工夫したことや達成したこと

火災の予防に関するポスターを作成することで、防火意識を高めるきっかけを作ることができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

次のアクションとしては、飲食店などを訪問して、防火意識を高めるきっかけを作っていきたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションを起こす際に、そのアクションに関わる人にインタビューをしたり、現地に足を運んでみることが大切だと思います。

報告者
95

名前/グループ名/グループメンバー

S・N、F・I、M・W、Y・R

人数	活動地	区分
4 人	兵庫県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

コロナ禍の医療問題について探究学習を行い、実際に薬剤師として働いてらっしゃる方へインタビューを行った。その中でも、高齢者と10代の若者の重症化率の違いについて話してくださったことに着目して、マスクの正しい使い方に関するポスターを作成し、感染予防の意識向上に努めた。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
5時間	39人

◆その他

工夫したことや達成したこと

マスクを着用することにどんなメリットがあるかをわかりやすくまとめることで、意識の向上を図った。

困難だったこと/次回に活かすこと

３月中旬からマスクの着用は緩和されていくが、新型コロナウイルスの影響がなくなっているわけではないので、どうすれば感染予防の継続を促すことができるか考えたこと。

これからアクションを起こす人へメッセージ

より良いアクションを達成するために、しっかりと計画を立てておくことが大切です。アクションを起こす直前に焦ってしまうことがないようにしましょう。

報告者
97

名前/グループ名/グループメンバー

I・T、I・M、S・M

人数	活動地	区分
3 人	兵庫県	高校生

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

「若者と居場所」というテーマで探究活動を行った。自殺志願者数とその理由、男女比などについて調べ学習をし、次の課題に焦点を当てた。日本には自殺志願者が多い。若者の世代の自殺率も高い。自殺の原因の多くは学校に関係する問題による。特に不登校が自殺を考える率が高い。これらの課題を踏まえて、本校のスクールカウンセラー（学校園・病院などでカウンセリングを実践）にインタビューを行った。カウンセリングでは、人間関係の相談が最も多く、気持ちの部分でも少しでも前向きな一歩になるように一緒に考えながら自分のいいところに気づいてもらえるようにカウンセリングされている。相談が多い時期としては、新学期を経てゴールデンウィーク明けごろから徐々に増えていく。色々な出会いがある中で心のバランスが崩れていく。アクションとして、まずは本校でも身近に相談場所があることと、誹謗中傷に対して注意を喚起するよう提言を行った。

工夫したことや達成したこと

複数の機関にインタビューを申し込んだが、インタビューを受け付けていただけなかった。その中で、受け付けてくださるまで諦めず、インタビュー先を探し続けた。インタビューの時間が非常に限られていたので、質問内容を厳選した。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
1時間	39人

◆その他

困難だったこと/次回に活かすこと

「若者と居場所」というテーマで探究することを決めたが、テーマが幅広く、インタビュー先をどちらにするかで悩んだ。

これからアクションを起こす人へメッセージ

アクション前に現場の関係者にコンタクトを取るのであれば、いろんな方のお話を伺えると良いと思います。

報告者
98

名前/グループ名/グループメンバー

O・R、K・A、K・Y、H・A

人数	活動地	区分
4 人	兵庫県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

医療現場での新型コロナウイルス対策について探究学習をした。医療現場で働く方々にアンケートを依頼し、医療現場にしかできない対策、医療現場でコロナ禍で困ること・心配なこと、医療現場と日常生活で共通して困ること・心配なこと、学生にしてほしいコロナ対策について、回答いただいた。その回答を踏まえて、こまめに換気をする意識を高めるポスターを作成し、自分たちが率先して教室換気を行うというアクションを実践した。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
5時間	39人

◆その他

工夫したことや達成したこと

３月半ばからマスク着用の規制が緩和されていくけれども、新型コロナウイルスによる影響がなくなったわけではない。こまめに換気するなどの対策が有効であることを伝えることができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

マスク着用の緩和により、一体どんなことが起こるのかを考えてみること。様々な情報が飛び交うなどの混乱があるかもしれない。

これからアクションを起こす人へメッセージ

自分から率先して行動していくことが、いろんなアクションを実践していくきっかけになります。周りに声掛けしながら行動することも大切です。

報告者
99

名前/グループ名/グループメンバー

K・R、T・M、T・S、
N・R、Y・E

人数	活動地	区分
5 人	兵庫県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

災害に強いスマートシティをデザインすることをテーマにして探究学習を行った。様々な資料の分析とともに、防災関連システム・まちづくりに携わる会社とコンタクトをとり、インタビューを行った。その結果、目標11「住み続けられるまちづくりを」・環境問題・AIの活用の３点を柱にしてデザインすることが重要であると提言した。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	39人

◆その他

工夫したことや達成したこと

まちづくりという大きなテーマを話すので、KJ法などを利用し、意見を可視化してまとめていった。

困難だったこと/次回に活かすこと

まちづくりについてよくわかっていなかったこと。だからこそグループの仲間お十分に対話して、スマートシティを構想することができた。

これからアクションを起こす人へメッセージ

行動することで何かが解決するきっかけになる。まずは身近なところから。

報告者
100

名前/グループ名/グループメンバー

O・Y、S・E、T・S、T・H、F・H

人数	活動地	区分
5 人	兵庫県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

取り組んだアクション

児童労働をテーマにして探究活動を行なった。児童労働の定義、行われている産業などを調べた上で、カカオ農園の児童労働の改善を行なっている団体にインタビューを行った。それらをまとめて、フェアトレード商品の認知度を上げる、児童労働の実態を知らせる、ためのアクションを行なった。バレンタインの時期も近いことから、昼休みの校内放送で、児童労働の実態、フェアトレード商品の説明を行った。その後、バレンタインにちなんだコントもして、インパクトあるアクションにした。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	240人

◆その他

工夫したことや達成したこと

フェアトレードや児童労働の実態について知らない生徒が多かったので、まずは知ってもらうことができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

資料とインタビューの内容から、どんなアクションを起こすべきかについて悩んだ。次回は、継続的にできるアクションに取り組みたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

十分アクションができるように、スケジュール管理をすることが大事です。

報告者
106

名前/グループ名/グループメンバー

S・R

人数	活動地	区分
1 人	兵庫県	高校生/高専生

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/10/24 ～2023/2/17

支援先

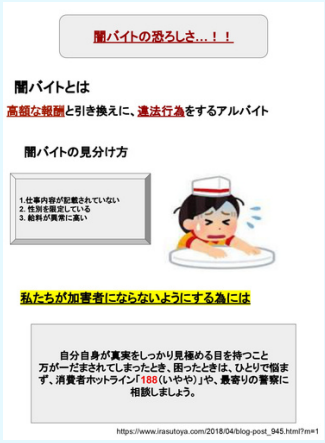
取り組んだアクション

「詐欺と現代社会」というテーマで探究学習をした。最初は災害時の詐欺被害について調べていた。実際に弁護士の方に詐欺についてインタビューをさせていただいた時、災害などの特別な事情の時に詐欺に遭うのではなく、いつでも詐欺に引っ掛かる可能性はあるとわかった。特に若者は、被害に遭うだけではない。いわゆる闇バイトなどを通じて、受け子などの加害者にもなることがわかった。これらを踏まえて、困った時の相談窓口の電話番号や闇バイトを減少させる規制について知らせ、ポスターも作成した。

工夫したことや達成したこと

気になることがあったら徹底的に調べるという自分の強みを活かして、若者が詐欺に遭わないためにはどうしたら良いかということをまとめることができた。

関連するSDGs



数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

困難だったこと/次回に活かすこと

調べた情報が膨大で、まとめるのがむずかしかった。何が必要かを決めて、取捨選択をしていった。

これからアクションを起こす人へメッセージ

満足いくアクションを起こすためには、計画を立てて実践していくことが大切です。

報告者
108

名前/グループ名/グループメンバー

F.A.R.M.
山本賀子、松本深愛、
都筑ほのか、坂田望々花

人数	活動地	区分
4 人	東京都	高校生/高専生

アクションの種類　啓発活動

実施期間　2022/8/1～

支援先

関連するSDGs

取り組んだアクション

私たちF.A.R.M.は、昭和女子大学×新渡戸文化高等学校×城北埼玉高校の3校と幾つかの企業と連携しながら「都市型農業×インテリア」というものを掛け合わせた都市型農業を提案している団体です。アクアポニックスなどといった様々な最新の「農業」の手法に、木枠とアクリルの箱を掛け合わせた栽培boxの「インテリア」としての要素を加え、農業とインテリアを掛け合わせながら生物や植物の育成を行なっています。現在、農業に携わる人が減少していることが問題になっている中、「誰でもどこでも簡単に農業が出来る」ということがこの栽培boxの最大の特徴です。F.A.R.M.の新渡戸メンバーは、新渡戸にあるVIVISTOPという施設で10以上の栽培boxを設置し活動をしています。これまで、2022年10月頃に行われた六本木ミッドタウンでのイベントやその他3つ以上のイベントに参加し私たちの活動を紹介しています。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
20000円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

私たちは六本木でのプロジェクトの展示を達成させました。そのときにボックスのレイアウトを工夫することを意識しました。このプロジェクトで使うボックスはレイアウトを工夫することで野菜を栽培しやすい形になるので色々工夫して栽培に適したレイアウトになるようにしました。

困難だったこと/次回に活かすこと

困難だったことは展示用の魚を元気でいさせるために、魚の水槽の工夫をしたことです。最初は砂利だけをかって、魚の様子を見たのですが、魚のストレスが溜まってしまっていたので魚に水草やお家を買ったところ、ストレスが減りました。ですがこの飼育方法になるまで、魚の水槽の工夫がとても困難でした。次回は魚の水槽がうまくいったのでもっと作業のやりやすいレイアウトにしたみたいです。

これからアクションを起こす人へメッセージ

少しでも気になるなど心の琴線に触れるものがあれば、恐れずチャレンジしてみることが自分が変わる大きなきっかけになると思います。農業に全く興味のなかったメンバーが、楽しんで栽培boxのメンテナンスやイベント出展を行なっていたり、忙しい中でも時間を少しの割いて活動しています。チャレンジすることを恐れず、一度新しい世界に飛び込んでみるとなかなか抜け出せなくなりますよ。

報告者
113

名前/グループ名/グループメンバー

合同会社Actioning
武田光平

人数	活動地	区分
3 人	東京都	高校生

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2023/3/1～

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

取り組んだアクション

発達障害の啓発に関するワークショップ事業を主とした会社の起業

困難だったこと/次回に活かすこと

はやくSWOT分析をすること。

工夫したことや達成したこと

学校や企業にも響くような内容づくり

これからアクションを起こす人へメッセージ

動き出さなければなにも始まらないです！！

報告者
120

名前/グループ名/グループメンバー

布施志悠、羽田野煌乃

人数	活動地	区分
2 人	東京都	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 個

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類 啓発活動

実施期間 2022/7/15～9/15

支援先

取り組んだアクション

テレビのCMで飢餓に苦しむ子ども達を見て、このような子を増やしたくないと思い飢餓に対して興味を持ち、世界や日本で起こっている飢餓の現状について調べ、それに向けた解決策を2人で練り、まとめたものを学校で発表しました

工夫したことや達成したこと

世界で起こっている問題に対してみんなに興味を持って欲しいので、なるべく身近に感じられるようにもし自分たちがその立場に置かれたらこういう生活になってしまうよというような例えを用いながらみんなに訴えかけながら発表しました。その結果、関心を持ってくれた人がいてその人自身もできることを探して募金していました。こうして僕たちの目標であった興味を持ってもらって活動してもらうということを達成できました。

困難だったこと/次回に活かすこと

実際に足を運んで調べることがとても難しく高校生の僕たちには実現不可能だったのが悔しかったです。でも大人になっても興味を抱き続けいつか現地に足を運びたいです。

これからアクションを起こす人へメッセージ

みなさんSDGSと聞いてパッとしないかと思います。でも日本の裏側や日本とはかけ離れた場所では様々な問題が起きています。なのでまずは現状を知って欲しいと思います。すぐに行動に移すのは難しいと思いますのでまずは情報を集めてみてください。きっと今ある生活へのありがたみも感じれますよ！

報告者
126

名前/グループ名/グループメンバー

DAZZLE

人数	活動地	区分
4 人	東京都	高校生

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/12/1～

支援先

関連するSDGs

取り組んだアクション

私たちは、プラスチックを削減し豊かな海を守り、地球環境を維持するために、主に２つの活動を行っている。一つは、ライスレジンの啓発活動である。ライスレジンとは、お米由来のバイオマスプラスチックで食用に適さない古米や、廃棄されてしまうお米を新しくプラスチックへとアップサイクルした素材である。ライスレジンで作られた製品は、焼却時の二酸化炭素を削減することができ、地球温暖化の防止にもつながる。もう一つが、使用済みプラスチックの文具回収である。使わなくなったプラスチック文房具を回収し、リサイクルすることでプラスチックゴミを減らすことを目指している。私たちは、これらの活動を啓発するポスターを制作し、校内外で啓発することで、従来のプラスチックを削減したいと考えている。

数値的成果

◆お金の寄付	円
◆物の寄付	使用済み プラスチック文具　100個
◆ボランティア時間	時間
◆インパクトを与えた人数	人
◆その他	

工夫したことや達成したこと

あまり世間に知られていないものに焦点を当てたことにより、流通している情報も少なく自分たちから発信できる様に企業へのアプローチを積極的に行った。4人という小規模な活動だからこそお互いに意見を出し合うことを意識している。円滑な活動を行うためにはメンバー同士のコミュニケーションも必要不可欠だと考えており、意見共有のためのミーティングを多く行うことを心がけている。また、社会科、理科の先生からアドバイスを頂き様々な視点からの問題解決ができるよう工夫した。

困難だったこと/次回に活かすこと

行っている活動を知ってもらうことも大切であるが、他者に伝えるということを第一に考えて行動することが困難であった。SDGsの理念に「誰一人取り残さない」がある様に、目先の利益のみを考えるのではなく、私たちの行なっている活動が誰のためになっていて何を伝えたいのか常に意識しながら取り組んでいきたい。他の活動にも視野を広げ、プラスチック削減のための新たなアクション方法を探り、より分かりやすく多くの人に伝えられるようにしたい。そして活動を通して学んだことや得た知識を次の活動で伝えられるようにしたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

SDGsは他者のために、困っている人のためにというイメージがあると思いますが、行動を起こすことは自分のためにもなります。難しく考えずにまずは身近なことから問題点や疑問を探し、それを解決するために自分には何ができるだろうと考えてみて下さい。既存の解決法に取り組んでみることも素敵な行動です。そして、挑戦することが一番大切だと思います。私達も挑戦していく中で上手くいかないことばかりですが、失敗から学び成長できたことも沢山あります。一人でも多くの人が行動を起こすきっかけになれば嬉しいです。皆さんも私達と一緒に行動してみませんか。

報告者
127

名前/グループ名/グループメンバー

KOKA×SuMi

人数	活動地	区分
32 人	東京都	高校生

アクションの種類　啓発活動

実施期間　2022/12/1～

支援先

関連するSDGs

取り組んだアクション

SDGsの啓発を目的に、三井住友信託銀行コンサルプラザ調布と連携し、女性をテーマにした双六の自主制作、校内のSDGs活動を紹介するパンフレット・動画・ポスターの制作・展示を行っている。またChange Makers Fes 2023でもポスター展示を行った。特に2022年度から新しく始めた双六制作では、女性の人生の可能性を幅広い世代の方々に再認識してもらうこと、お金に関する知識や判断力を身に付け、自らの人生や社会の動きを自分ごととして捉える力を養うことを目指している。また、女子高生ならではの視点からアプローチすることで、よりジェンダー格差の問題や今若い世代が気になる社会問題を取り込むことができると考えている。今後は完成した双六を使って、オープンスクールや文化祭でワークショップを行う予定である。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

どの活動も多くの人が触れるものである為、人に影響を与えるというのはどういう事なのかを気にかけていました。双六は人生100年というテーマである事から、全てが調子良く進むだけでなく、病気を患ったり、社会問題の当事者になったりする事もマスに含め、また今日様々な生き方がある中で結婚や出産等を1つのレールに乗せたりもしましたが、そうすることで誤解などを招く事がない様に意識しました。動画は初めてに合う縦型を採用し、音声なしでも目に留まる、わかりやすい映像を作る為に何度も推敲を重ねてきました。ポスターはキャッチコピーでどの国の方が見てもメッセージが伝わる様にする事に加え、デザインにも意味を込め、細部までこだわって製作しました。

困難だったこと/次回に活かすこと

今年度は前年度から引き継いだポスター製作や動画製作に加えて、新たに双六制作の活動が始動しました。双六を制作するにあたり、他と被らない全くオリジナルなものを0から作っていく難しさを実感しました。ポスターでは自分達の思いを正確に重ね合わせる為にキャッチコピーを変更することもありました。動画では慣れない縦型で何度も試行錯誤を重ね、サンプルを何度も作り直して1つの動画を作り上げました。これからの活動で、英語ver.の双六や動画を作ったり、実際に体験してもらったりした上で修正をかけながら、多くの人たちにより多くの選択肢を自分達の声を発信できる団体にしていきたいと思います。

これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションを起こすと言うと何だか大きなことの様に、また自分達の声で現状が変わることはそうないと感じるかもしれません。でもきっとその一声がないよりはあったほうが幾分かいいに違いない、そう信じて自信をもって取り組んでみてほしいと思います。　同じ意志で集まった仲間達とお互いの意見を尊重し合いながら、時にはぶつかり合いながら活動するのはなかなか貴重で楽しい時間でした。それを経験した私達もまた、これから先どの様な環境にあったとしても、　少しでもいい方へ、とアクションを起こしていこう思います。みんなが少しずつ変えていけば、大きな変化をうめると信じて！　“ Fly into the Future together!”

報告者
128

名前/グループ名/グループメンバー

SDGs絵本制作プロジェクト

人数	活動地	区分
32 人	東京都	高校生

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/12/1～

支援先

関連するSDGs

取り組んだアクション

SDGsは難しくてあまり理解ができない、という小学校低学年の子どもたちが理解できるように、SDGsに関する絵本を１から手作りし、付属の幼稚園、小学校をはじめとするたくさんの子供たちに届けました。今は4つの目標についての絵本を制作していますが、最終的には17個全ての目標についての絵本制作を目指しています。一人でも多くの方々に私たちの作品を読んでもらい、SDGs達成について少しだけでも考えていただけたら嬉しいです。また、それと同時並行で、小学校や幼稚園で私たちが作ったSDGs絵本の読み聞かせをしたり、ワークショップを開いたり、日本語で書いた絵本を英語に翻訳したりすることを予定しています。私たちが日本語で作ったSDGs絵本を英語に翻訳することによって、より多くの子どもたちにSDGsについて深く考えてもらえるのではないかと考えています。

工夫したことや達成したこと

SDGsを全く知らない子供たちに、SDGsを達成することによって環境問題や、今様々な問題を抱えている人々をどのくらい救うことができるのかを知ってもらうために、文章は短く、分かりやすくするなどを工夫しました。また、挿絵は子どもたちが気に入りそうな、優しくかわいいタッチの絵にするように心掛けました。2022年度の文化祭では、絵本制作に関するポスターを展示したり、実際に作成した絵本を展示したことによって、私たちの活動を他の生徒やご両親、受験生の皆さんにお伝えすることが出来ました。そして、3月中旬に絵本が無事完成し、先生方や小学生、幼稚園生にお渡しすることが出来ました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

困難だったこと/次回に活かすこと

絵本制作は想像以上に大変でした。絵のタッチの関係で、絵を担当する人が１グループにつき一人、二人しかおらず、その人の負担がとても大きくなってしまいました。また、ストーリー案は完成しているものの、絵を完成させる度に様々な修正が入るため、絵本が完成するまで想像以上に時間がかかりました。絵本制作は大変なことが多くありましたが、実際に絵本が完成して製本されたものが私たちの手に渡った時の達成感は、計り知れないものでした。次の作品を作り始めるときまでに、どのようにしたら絵を描く人の負担が減らせるか、など試行錯誤し、次回は今回の作品よりも良い作品が作れるように努力していきたいと思います。

これからアクションを起こす人へメッセージ

自分の思い通りに物事を進めるのはとても大変です。しかし、たとえ自分の思うように進まなくても決して諦めなければ、いつかは必ず成功します。時間をかけて成功した時の達成感は計り知れないものです。とはいえ、私はその後の行動が最も大切だと思います。アクションを起こし始めた当初想像していた姿になっても、また更なる課題が浮かび上がってきます。そして、その課題を解決させるために次のアクションを起こす。これらを繰り返すことによってより良いアクションに繋がるのではないでしょうか。私たち絵本制作プロジェクトは、より良い作品を作り出せるようにこれからも絵本制作を続けていきます。

報告者
131

名前/グループ名/グループメンバー

菊一 真比6回

人数	活動地	区分
1 人	東京都	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
500円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
10時間	5人

◆その他

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2023/3/3～3/27

支援先

取り組んだアクション

ジェンダーギャップについてのレポートを書いて発表した。

工夫したことや達成したこと

ジェンダーギャップについてのでもっとみんなに知ってもらえるように身近な人たちにも話を聞いた。

困難だったこと/次回に活かすこと

もっと前もって計画する。

これからアクションを起こす人へメッセージ

小さな事でもスタートになる。

報告者 14

名前/グループ名/グループメンバー

なの

人数	活動地	区分
7 人	東京都	高校生

関連するSDGs

アクションの種類　啓発活動

実施期間

支援先

取り組んだアクション

オンラインゴミ拾いイベントを開催し、ゴミ問題について学んだ後、それぞれの街のゴミ拾いをした。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
2時間	7人

◆その他

報告者 29

名前/グループ名/グループメンバー

金城 妃香

人数	活動地	区分
5 人	沖縄県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類　啓発活動

実施期間

支援先

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	23人

◆その他

取り組んだアクション

周りの人々に外国人との共生について理解してもらうために地域調査を行い、グループで考えをまとめて発表をした。

報告者
25

名前/グループ名/グループメンバー

プラごみ減らし隊

人数	活動地	区分
10 人	東京都	大学生

アクションの種類 ボランティア

実施期間 2022/4/1～12/31

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
20時間	30-40人

◆その他

取り組んだアクション

プラスチックごみの現状を知ってもらうこと、それに関して自分事としてアクションを起こす誘発をするために、大学でプラスチックごみに関する映画鑑賞会を開催、ディスカッションを行った。また、インスタグラム・Twitterで日頃からプラスチックごみに関する情報を発信している。プラスチックごみの1つとして挙げられるコンタクトレンズケースにフォーカスし、大学内でコンタクトレンズケースを回収し、コンタクトのeyecityさんへ定期的に届けている。届けたコンタクトケースはボールペンなどの形へ生まれ変わっている。それだけでなく、月に一度大学周辺のごみ拾い活動を行っている。

工夫したことや達成したこと

他人事で終わらず、自分事に落とし込めるように、ディスカッションの時間を多く設けたり、実際にアクションを起こしている方にお越しいただいて、学生から出る疑問などについて答えていただきました。コンタクトケース回収に関しては、普段から使用しているコンタクトのケースに次の使い道があると知らない人も多く、多くの人が気づくきっかけになったとともに、このアクションが今後も続いていくようもっと工夫をしていく予定です。

困難だったこと/次回に活かすこと

イベントの集客がなかなかうまくいかなかったこと。私たち自身が面白いと思う視点でイベントを企画・開催していましたが、こういった社会問題にもともと興味のない人も巻き込んでいく必要のなるこの社会で、私達だけの視点ではどうしても突っ走りすぎてしまう部分がある。今後は、他の団体が開催したイベントを調べて、自分たちに合っていそうなコンセプトのものも参考にしながらプランニングしていきたい。

これからアクションを起こす人へメッセー

1人で行動を起こすのはなかなかハードルが高いですが、同じように考えている人は周りに必ずいます。少しでいいので、声を大きくしたら絶対に気付いてくれる人がいるはずです。1人でも仲間を見つければもう行動に移すのみ！全部1人でやろうとするのではなく、2人、100人で進んでいけば小さな1歩も大きな1歩へと変わっていきます。みんなでより良い社会を作っていこう！

報告者
73

名前/グループ名/グループメンバー

こらん、あやな

人数	活動地	区分
2 人	東京都	大学生

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/8/18

支援先

取り組んだアクション

私たちは、インターンプログラムの一環でWTSのオンラインイベントを開催しました。このイベントを通して、参加者の方々に畜産が環境に大きな影響を及ぼしているという事実を知ってもらい、食の未来について考えていただきたかったためベジタリアンをトークテーマとしてイベントを行いました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	4人

◆その他

工夫したことや達成したこと

工夫したことは、イベントへの準備段階で、特定の曜日に定期のミーティングを行うことを決め、進めたこと。また、お互いの他活動に支障が及ばないようにそれぞれの苦手な分野を共有し、業務の分担をすることで効率的かつ、精神的にも楽に集中して取り組むことができました。私達は畜産が環境に悪影響を与えるが、いきなり肉食をやめなくても私達に出来ることはあるということを知ってもらいたいと思い、ベジタリアンというテーマを選びました。当日は、参加者の方々から「すぐにお肉を食べないのは難しいけど、ミートフリーマンデーを取り入れてみたい」という意見を聞くことができ、このテーマを選んだ目的が達成されたと思います。

困難だったこと/次回に活かすこと

困難だったことは、イベント当日の細かな段取りに対してすこし準備不足な部分があり、その結果イベント最中にごちゃごちゃとした瞬間ができてしまったことです。また、実際にイベントに参加していただけた人数は予想されていた人数よりも少なくなってしまいました。そのため、次回からはこの経験を活かし、前日に参加者の方にリマインドメールを送るなどの対策を取りたいと思います。イベントを自分たちで開催したというこの経験は次のイベント開催に限らず、日常生活においても応用できる貴重なものになるだろうと感じています。

これからアクションを起こす人へメッセージ

自分で企画してイベントを開催するのは難しいと感じる人もいるかもしれません。確かに、初めての企画はわからないこともあり、大変なこともたくさんありました。しかし、それ以上に得られた経験もたくさんあります。このインターンを通して広報物の作成や広報の方法、ファシリテーションのやり方などを学ぶことができました。また、イベントを無事にやり遂げられたことは、自分への自信にも繋がりました。特に、イベントを通して自分達の伝えたかったことが参加者の方々に届けられたのは本当に嬉しかったです。不安に思うこともあるかもしれませんが、少しでも興味を持った人にはぜひ挑戦して欲しいです！きっとここでしかできない貴重な経験があるはずです！

報告者
135

名前/グループ名/グループメンバー

F.U.N. Project

人数	活動地	区分
20 人	神奈川県	大学生

アクションの種類 啓発活動

実施期間 2022/3/1～2023/2/28

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

取り組んだアクション

私たちのプロジェクトはF.U.N.言い換えればFeel　United　Nationsというプロジェクト名を元に、「国際問題をより身近に」という理念で活動を行っています。学生団体という立場からできるだけ噛み砕き情報を発信し、同じ世代の若者に国際問題を遠くのものとしてではなく、身近なものとして感じて欲しいと思い、日々活動しています。
具体的には、Instagramで「SDGsリポート」という企画を行い、17つのゴールの現状説明、大学生でもできる課題提示を行いました。また、子ども食堂と提携しており、定期的にそこでボランティア活動もしています。更にジャパン・プラット・フォームやと提携しており、「中東・アフリカ食糧危機支援勉強会」という共催イベントを開き、学生に国際問題を身近に感じてもらうためのきっかけを提供しました。

工夫したことや達成したこと

先ほど3つアクションを紹介したので、それぞれの工夫点を提示していきます。
Instagramでの発信活動は、デザインや文章のレイアウトにとても気を配っていることです。デザインや文章の構造によってInstagramは見たいと思うか否かが決まります。多くの人に届けたいので、見栄えにもとてもこだわっています。
子ども食堂での活動では、「支援している側」という概念を置き、その場にいる子どもたちと対等な目線に立ってコミュニケーションをしています。
共催イベントでは、オンライン、対面を併用するハイブリット方式にしたことでコンディションによって参加できないことを防ぎ、より多くの人に参加していただけました。

困難だったこと/次回に活かすこと

先ほど3つアクションを紹介したので、それぞれの困難だったこと、次回に生かすことを提示していきます。
Instagramでの発信活動はより多くの人に見てもらうために、ハッシュタグを付けたり、ストーリーを投稿する頻度を上げていきたいと考えております！
子ども食堂は授業がある期間は中々日程が合わず、参加メンバーが少なかったこともありました。日程調整を早めにすることでより貢献できるメンバーを増やしていきたいです。
共催イベントでは、団体外からの生徒を集めることにとても苦戦しました。次回は校内ポスターや大学の大きなSNSアカウントで宣伝をすることでより多くの人に来てもらえるようにしたいです。

これからアクションを起こす人へメッセージ

私たちは、このような環境があったからこそ、アクションできていると思います。何か行動に移したいけど、何をできるかわからない、自分一人じゃどうにもならないという人は少なからずいるかもしれません。そんな時は、周りの友達に「こんなこと興味ない？」と誘ってみて、ぜひ仲間と一緒に行動にうつしてみてください！

報告者
136

名前/グループ名/グループメンバー

人数	活動地	区分
2 人	神奈川県	大学生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人
◆その他	

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2021/10/1～
支援先			

取り組んだアクション

コンビニや自動販売機などで買えるペットボトル。しかし、その多くはサーマルリサイクルに出されたり海に流れ着いてしまったりと環境にとても悪影響を及ぼしている。そこで、私達はペットボトルを使わずに水筒（マイボトル）を持参する、マイボトル自動販売機の開発に向けて取り組んでいる。日本では当たり前のようにある自動販売機と水筒を組み合わせたアイディアである。ターゲットはこれからの地球の未来を担う高校生だ。このアイディアを過去に様々なコンテストで発表してきた。また、昨年の夏休みに全国の高校生100人に向けてアンケートを行った。このアンケートでは2.5人に1人の割合で環境問題について身近に取り組めていないことがわかった。晴れた日には、ゴミ拾い活動を行ってその様子をSNSに発信し、小さなことから取り組める様子を知ってもらえるようにしている。

工夫したことや達成したこと

SNSの発信を通じてたくさんの高校生に活動を知ってもらうのと同時にペットボトルが起こす海洋汚染についても知ってもらうことができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

ターゲットである高校生と市場がどんなものを必要としているかと環境に配慮しながらアイディアを練るのが困難だった。

これからアクションを起こす人へメッセージ

これからの地球の未来を担うのは私達、若者！！！だから、みんなで協力して少しずつアクションを起こしていこう！！

報告者
46

名前/グループ名/グループメンバー

C-right

人数	活動地	区分
3 人	埼玉県	大学生

アクションの種類　啓発活動

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　3時間

◆インパクトを与えた人数　10人

◆その他

取り組んだアクション

私が行った「ソーシャルアクション」は、私が参加しているC-Right（NPO法人国際子ども権利センター）の世界の子ども人権かるたを使い、大人と子どもたち、すべての人に、子どもの権利を知ってもらうことを行った。具体的には、沖縄の子どもの権利条約フォーラムに参加しました。

報告者
72

名前/グループ名/グループメンバー

・チームウェルビーイング

さつえ、きょうこ

人数	活動地	区分
6 人	広島県	教員 教育関係者

関連するSDGs

アクションの種類	啓発活動	実施期間	2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

we talk socialの大学生企画でウェルビーイング、思いやりのあるコミュニケーション(NVC)について企画し、小学生から社会人の方を対象にオンラインイベントを行いました。NVCという方法を用いて自分の心の声に耳を傾けてみることで、自分の気持ちを大切にする、されることを体感する、その中でもっと自分の気持ちを出していい、と感じられるきっかけになれば、という願いを持って企画しました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	15着
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

一日で洋服の整理（回収）と寄付まで出来たこと。

アクションを起こしての感想

自分は着用しない服であっても、まだ着れる洋服を引き渡すことが出来て、捨ててしまうよりも気分良く洋服を手放すことが出来た。身近なところにアクションの機会はあると感じた。

これからアクションを起こす人へメッセージ

どんなアクションも、はじめの一歩からです。応援しています！

報告者
53

名前/グループ名/グループメンバー

いけ

人数	活動地	区分
1 人	東京都	会社員

アクションの種類　啓発活動

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
0.5時間	1人

◆その他

取り組んだアクション

男女平等な社会を実現しようと、友達に「差別」と「区別」の違いを説明した。親世代は、男性がなんでも優位の時代かつ、男性が外へ働きに、女性は家事や子育てという時代であった。しかし、現代になり、男性と女性の地位は同じということの捉え方を間違えている人がいた。それが、友達であった。たしかに、地位的なものを同じにするということは、私も賛成するが、全く同じように扱えば良いかと言われたら、そうではないと思う。なぜなら、人間の体の仕組みが異なるから。女性の方が筋肉が付きづらかったり、出産などがある。その点を踏まえた上で男女共に平等な社会を築いていきたいと思い、友達へ説明をした。

4
Advocacy
政策提言

報告者
84

名前/グループ名/グループメンバー

さいたま市立大谷場中学校
有志メンバー
伊藤菜穂　今川つかさ　林小桜

人数	活動地	区分
3　人	埼玉県	中学生

関連するSDGs

アクションの種類　政策提言

実施期間

支援先

取り組んだアクション

さいたま市立中学校の生徒手帳に子どもの権利条約を掲載してほしいとの提言を、さいたま市教育委員会細田眞由美教育長に行なった。また、来年度から通っている学校の生徒手帳に子どもの権利条約が掲載されるように生徒総会で話し合い、可決された。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

「教育長に提言をする」という大きなアクションでしたが、仲間が一緒にアクションを起こしてくれたので達成できました。いきなり教育長にコンタクトを取るのではなく、市議会議員の方々を通してコンタクトを取り何度かミーティングを重ねた後に提言に行ったため、段階的にやるべきことをクリアしていけたのが良かったと思います。また、学校の生徒総会の前には全校生徒に子どもの権利条約の説明を行なったので、理解を深めてもらえました。

困難だったこと/次回に活かすこと

学校での生徒総会の前に全校生徒に説明を行なった後、何名かの生徒から「子どもの権利条約って意味分かんないし、生徒手帳に載せなくてもよくない？」と言われ、やはり全員に納得してもらうのは大変だと感じました。その後、子どもの権利条約の重要さを分かってもらえるように日が暮れるまでプレゼンの準備をして、何度も全校生徒に説明しました。なかなか上手くいかず悔しい想いもたくさんしましたが、そこで諦めないで続けられたので成功できたのだと思います。

これからアクションを起こす人へメッセージ

まずはこの場をお借りして、自分の時間を削って一緒にアクションを起こしてくれた仲間に感謝したいです。私が諦めそうになった時や上手くいかずに悔しかった時に励ましてくれてありがとう。みんなの熱い想いには本当に助けられました。辛いことも数えきれないほどあったけど、生徒総会で子どもの権利条約が来年度の生徒手帳に載ることが決まったときに抱き合って涙を流しながら喜んだことは一生忘れません。成功できたのはみんなのおかげです。この記事を読んで下さっているみなさんには、仲間への感謝を忘れずに活動してもらいたいです。そして、辛いときはそこで終わりにしないでください。その忍耐が言葉で言い表せないほどの喜びをもたらしてくれます。

報告者
110

名前/グループ名/グループメンバー

田辺奈々葉

人数	活動地	区分
30 人	熊本県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類　政策提言

実施期間　2022/6/1～2023/2/28

支援先　ウクライナ、ミャンマー

取り組んだアクション

・活動を行なって104,588円の募金を集めたり自分も500円分募金した。
・慶應大学湘南藤沢キャンパス主催のSDGsの鎌倉の未来構想プログラムのワークショプに参加して鎌倉市のゴミ問題について話し合ったり、海外のゴミ問題について調べてスライドを作ったりそのようなものを参考にして鎌倉の20年後について考え実際に鎌倉のゴミ問題解決のための方法などについてスライドを作成して鎌倉市長や北海道大学の教授をはじめとする沢山の人々に発信した。（10人の神奈川県出身の高校生たちが50人以上の方達にプレゼンした）
・神奈川県からの依頼で神奈川憲章について話し合った。障害のある方たちへの差別についてなど話し合って神奈川憲章のポスターにどんなことを書いたら憲章について知らない人たちに興味を持ってもらえるかなど話し合った。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
104,588円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
3時間	500人

◆その他

工夫したことや達成したこと

私たちが考えるSDGsについてたくさんの人に発信することができてるし、発信することの大切を学ぶことができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

募金活動について声をかけてもなかなかみんなに入れてもらえなくて募金活動の大変さを学んだ。

これからアクションを起こす人へメッセージ

自分の力ではできないと思ったりしてはいけない。誰もが何かしらできることがある。自分を信じて思い立ったらすぐに動き出すことが大切。

報告者
38

名前/グループ名/グループメンバー

Yusuke

人数	活動地	区分
1 人	東京都	大学生

関連するSDGs

アクションの種類	政策提言	実施期間	2022/7/20-30

支援先

取り組んだアクション

子ども基本法設立と子ども家庭庁設立に関して、自分の経験を元にインクルーシブ教育の実現を訴えるスピーチをしました。これから修学する子供、学生のために、自身のような、障害児が、平等に教育を受けられる社会になるように訴えました。このスピーチのことを、なるべく知ってもらうように、snsで紹介しました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
2時間	20人

◆その他

工夫したことや達成したこと

短い時間でしたが、改革して欲しいところを切り取ってなんとか強く訴えられたと思います。

困難だったこと/次回に活かすこと

さらにわかりやすくスピーチできるようになりたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションを起こすと人のためにも自分のためにもなります。

5
Material Support
物資調達

報告者
61

名前/グループ名/グループメンバー

kiharu

人数	活動地	区分
1 人	東京都	大学生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 15着

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類	物資調達	実施期間	2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

着なくなった、またはサイズが合わなくなった服を、衣服が足りない地域に寄付するために集めた

困難だったこと/次回に活かすこと

なぜこのアクションに取り組んだのか

衣服に困っている人たちがいるので、着なくなった服を寄付すれば、無駄にならず困る人も減ると思ったから

アクションを起こしての感想

どのような服を集めればいいのか分からないこともあったけれど、結果上手く集められて困っている人の役に立てればいいと思った。

工夫したことや達成したこと

これからアクションを起こす人へメッセージ

報告者
83

名前/グループ名/グループメンバー

Trash or treat！　KASANE

人数	活動地	区分
1　人	静岡県	小学生

アクションの種類	物資支援	実施期間	2022/10

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	47kg
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	5人

◆その他

取り組んだアクション

僕はフードロス活動をしました。買い込んでしまいこみ、賞味期限が2か月以上のものを集める活動です。ポスターを自作し、飲食店を回りましたが、飲食店というのは管理がしっかりしており、フードロス商品はありませんでした。そこで考えたのが、老人ホームです。お年寄りの世代は僕の祖母をみてもそうですが、買い込む傾向があるので、きっと食べきれないものがあると思いました。電話で支配人にアポイントをとり、会社のような雰囲気の部屋に入った時はドキドキしました。そして活動の趣旨を話し、引き受けてもらえた時は本当にうれしかったです。ポスターを貼れる場所を探しているうちにわかったことがありました。それは皆さん「預かっておく場所がない」ということでした。それからは、持っていき先を子ども食堂にして。食堂の人にも了承を得ました。まちづくりセンターで検印をもらい、掲示板に僕のポスターが貼られたのです！

工夫したことや達成したこと

工夫は、老人ホームにターゲットを見つけたことです。若い人はあまり買いだめしないこともよく分かりました。達成したことは、商品を自宅に持ち帰る作業を全部、1人で親の手を借りずに自転車で何往復もしてことです。

困難だったこと/次回に活かすこと

次回に繋げることとしては、役所を通すと、時間と手間がかかる割に反響がないので、「手前どりストップ」のカードを馴染みのコンビニなどにポップにしてかざりたいです。買いだめしたものを集めるより、必要な分だけ買うのは効率的であると感じます。

これからアクションを起こす人へメッセージ

僕は最初は自分のポスターが掲示板に貼られたらいいなという思いだけで、母が「この団体に所属すれば活動のよポスターをかけるよ」と言われてやっただけなのに、いろんな人が僕を応援してくれて、本当に嬉しかったし、今度はお友達とも協働したいです。

報告者 3

名前/グループ名/グループメンバー

柴田 瑛瑠子

人数	活動地	区分
3 人	東京都	小学生

アクションの種類 物資調達

実施期間

支援先 ファミリーマート

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	缶詰やカップ麺30個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
5時間	5人

◆その他

取り組んだアクション

フードバンクに自宅や親戚の家にある食料を集めて、
缶詰やカップラーメンを寄付しました。

報告者 17

名前/グループ名/グループメンバー

みはな

人数	活動地	区分
8 人	東京都	高校生

アクションの種類 物資調達

実施期間

支援先 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、
国際連合世界食糧計画

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	給食　1,152食
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
60時間	400人

◆その他

取り組んだアクション

フリーザチルドレンジャパンの３日間のワークショップに参加をした。子ども家庭庁に意見を提案した。WFPを通じて貧困に苦しむ人に向けて学校を巻き込んで給食を１１５２食分届けた。学校の中でよびかけをした。レッドカップや、コーヒーを売ってお金を募金した。学校内のコンビニの自動販売機の中身をフードロスにならないように入れ替えをお願いし、実現させた。

報告者
64

名前/グループ名/グループメンバー

Y

人数	活動地	区分
1 人	東京都	中学生

関連するSDGs

アクションの種類	物資調達	実施期間	2022/5/5

支援先

数値的成果

◆お金の寄付

◆物の寄付

◆ボランティア時間 円

◆インパクトを与えた人数 着

◆その他 時間 人

取り組んだアクション

食品を、区のフードバンクに送りました。

なぜこのアクションに取り組んだのか

コロナの時に区から送られてきた食品が食べきれなくて、家にずっとあったので寄付しようと思いました。

困難だったこと/次回に活かすこと

工夫したことや達成したこと

アクションを起こしての感想

取り組んだことがちょっとでも誰かのためになったらいいなと思います。

これからアクションを起こす人へメッセージ

報告者
12

名前/グループ名/グループメンバー

Juri

人数	活動地	区分
2 人	兵庫県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	物資調達	実施期間	2022/11/7-12/8

支援先	国連難民高等弁務官事務所

取り組んだアクション

ウクライナの子供達に寄付をするためにファンドレイジングを行い38000円の寄付。
クリスマスに向けて食糧不足な家庭にフードバンクを10キロずつ18家庭に支給。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
38,000円	食品　200個以上
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
18時間	18人以上

◆その他

工夫したことや達成したこと

広告活動に力を入れて多くの人に知ってもらえるようにSNSをうまく活用しました。また、フードバンク先の方に笑顔で受け取ってもらえて微力ながらも誰かをひと時でも幸せにできてよかったです。

困難だったこと/次回に活かすこと

カナダ留学をしていて英語でのコミュニケーションになるのでうまく話せなかったことが悔しいのでもっと語彙力を上げることと今度はもう少し大きな規模でやりたいです。

これからアクションを起こす人へメッセー

小さなことでも積み重ねると大きくなる！ってこととサポートしてくれる人は周りにたくさんいるから迷うなら一歩踏み出そう！

報告者
56

名前/グループ名/グループメンバー

？

人数	活動地	区分
1 人	福岡県	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 着

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類	物資調達	実施期間	2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

リサイクルできるものを集めて団体にもっていきました。

困難だったこと/次回に活かすこと

なぜこのアクションに取り組んだのか

環境問題に興味があり、解決するためには、３Rが重要ではないかと思ったからです。

アクションを起こしての感想

自分にできる小さなことを積み重ねたら問題への解決につながるということに気づいた。

工夫したことや達成したこと

これからアクションを起こす人へメッセー

報告者
17

名前/グループ名/グループメンバー

みはな

人数	活動地	区分
8 人	東京都	高校生

アクションの種類　物資調達

実施期間

支援先　フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、国際連合世界食糧計画

取り組んだアクション

フリーザチルドレンジャパンの３日間のワークショップに参加をした。子ども家庭庁に意見を提案した。WFPを通じて貧困に苦しむ人に向けて学校を巻き込んで給食を１１５２食分届けた。学校の中でよびかけをした。レッドカップや、コーヒーを売ってお金を募金した。学校内のコンビニの自動販売機の中身をフードロスにならないように入れ替えをお願いし、実現させた。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	給食　1,152食
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
60時間	400人

◆その他

報告者
40

名前/グループ名/グループメンバー

でで

人数	活動地	区分
1 人	岐阜県	高校生/高専生

アクションの種類　物資調達

実施期間

支援先

取り組んだアクション

コンビニにある廃棄になる食品を必要としている人の元へと届ける取り組みに参加した

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

報告者
55

名前/グループ名/グループメンバー

しおりん

人数	活動地	区分
1 人	オーストラリア	大学生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	15着
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

アクションの種類	物資調達	実施期間	2022/5/5

支援先　Red Cross Australia

取り組んだアクション

自分の古着を15着、赤十字社に寄付した。

困難だったこと/次回に活かすこと

次回は集めた古本を持って古本市に参加して、売り上げを寄付する予定です。

なぜこのアクションに取り組んだのか

生産と消費の過程において、自分が使ったものに対して最後まで責任を持ちたいと思ったから。ファッションに関連した、持続可能な選択を体現するため。

アクションを起こしての感想

自分は着用しない服であっても、まだ着れる洋服を引き渡すことが出来て、捨ててしまうよりも気分良く洋服を手放すことが出来た。身近なところにアクションの機会はあると感じた。

工夫したことや達成したこと

一日で洋服の整理（回収）と寄付まで出来たこと。

これからアクションを起こす人へメッセー

どんなアクションも、はじめの一歩からです。応援しています！

報告者
34

名前/グループ名/グループメンバー

クローバー

人数	活動地	区分
9 人	神奈川県	大学生

アクションの種類　物資調達

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　時間

◆インパクトを与えた人数　人

◆その他

取り組んだアクション

着なくなった、要らなくなった服を寄付していただき、古着屋として一部収益化したものを児童養護施設に寄付した。

6
Behavioral Change
自己行動変革

報告者
11

名前/グループ名/グループメンバー

kero's

人数	活動地	区分
1 人	神奈川県	小学生未満

関連するSDGs

アクションの種類	自己行動変革	実施期間	2022/1/1～12/15

支援先

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
15時間	40人

◆その他

取り組んだアクション

紙のマスクは資源がもったいないので布マスクを洗って数枚回して使うようにした。

工夫したことや達成したこと

ディスポタイプのマスクではなく布のマスクを使用してゴミの量を減らした。

困難だったこと/次回に活かすこと

デザインとサイズ感とフィット感の調整が難しかった。もう型が見つかったので作るのはそんなに大変ではない。

これからアクションを起こす人へメッセー

これからマスクをつける機会は減ってくるかもしれないけれど、みんなで減らせるゴミは減らして環境に役立てていけたらと思う。

報告者
114

名前/グループ名/グループメンバー

みみちゃん

人数	活動地	区分
2 人	埼玉県	小学生未満

アクションの種類　自己行動変革

実施期間　2023/3/1～

支援先

取り組んだアクション

「まちをきれいにしたい！」を合言葉に習いごとへ向かう道中、ゴミ拾いを実施しました。改めて活動をすると、タバコの吸い殻の多さに驚きました。ゴミ拾いをすることで「街が喜んでる」と感じました。また「ありがとう」と声をかけてくれる方がいて嬉しかったです。

工夫したことや達成したこと

習いごとに行くいつもの道を、楽しく歩きながら活動しました。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

困難だったこと/次回に活かすこと

ゴミ袋のサイズが大きいものが必要でした。(用意がなく大きいゴミは拾えなかった)タバコの吸い殻は袋い入れても匂いがキツく、何重にもする必要があると感じました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

2歳でも出来ることがありました！楽しみながら活動出来たら、これ1番！

報告者
7

名前/グループ名/グループメンバー

つむぎ

人数	活動地	区分
4 人	神奈川県	小学生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 個

◆ボランティア時間 4時間

◆インパクトを与えた人数 約5人

◆その他

アクションの種類 自己行動変革

実施期間 2022/7/21

支援先

取り組んだアクション

友達と近くの川の土手でゴミ拾いをし、ペットボトル60本以上集め、分別をした。

工夫したことや達成したこと

工夫した事
ペットボトルのラベルを全て剥がして分別をした

達成した事
川の近くにあるゴミ、全部を集め、ちゃんと分別をしたこと

困難だったこと/次回に活かすこと

困難だったこと
全部集めるのにとても時間がかかったからもう少し友達をもっと呼んだ方が良かった

次回に活かしたいこと
もっとやる日にちを増やして、もっと友達を呼んでみんなに川の現状を伝えた方が良かった。

これからアクションを起こす人へメッセー

アクションを起こす事は勇気がいるけど、お友達だったりとやったらとっても楽しくすることができるから最初は気楽にちょっとでもいいから世界に役立つことをしてみてください！

報告者
69

名前/グループ名/グループメンバー

はるか

人数	活動地	区分
1 人	東京都	小学生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 着

◆ボランティア時間 1時間

◆インパクトを与えた人数 1人

◆その他

アクションの種類 自己行動変革

実施期間 2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

健康と福祉、気候変動、海の環境、陸の環境
環境にいい洗剤作り重曹やクエン酸などを使って作りました。

なぜこのアクションに取り組んだのか

実際に環境にいい洗剤を作っている人を見たことがあって、やってみたいと思っていたから。

困難だったこと/次回に活かすこと

工夫したことや達成したこと

香りもつけて自分オリジナルのものを作り、楽しみながらやったこと。

アクションを起こしての感想

自分が今まで取り組んでみたいと思っていたアクションに取り組めてよかった。これからも環境にいいものを作って利用したいと思う。

これからアクションを起こす人へメッセージ

今回私が作った洗剤はとても簡単に作れるので、ぜひ作って使ってみてください。

報告者 2

名前/グループ名/グループメンバー

チェンジゆあワールドチーム

人数	活動地	区分
10 人	埼玉県	小学生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先

取り組んだアクション

自分の住んでいる町や学校が綺麗になるようにゴミ拾いをした。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
3時間	200人

◆その他

報告者 15

名前/グループ名/グループメンバー

ナツメグ

人数	活動地	区分
3 人	東京都	小学生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
3時間	20人

◆その他

取り組んだアクション

●自分の母校で行われたゴミ拾いに参加した。理由は、プラスチックを含めたゴミが川や風によって海に行き、それによって環境や生物の生態系に悪影響を及ぼすという事を学び、少しでもその問題を解決に導くための行動を起こしたいと思ったから。
●ゴミ拾いのあと、作成したクイズを小学生に出題した。理由は、ゴミを拾うだけでなく、ゴミを減らす(リデュース)が大事であると考え、それを少しでも多くの人に理解して貰いたかったから。

報告者
21

名前/グループ名/グループメンバー

森 ゆい

人数	活動地	区分
1 人	大阪府	小学生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　5時間

◆インパクトを与えた人数　人

◆その他

取り組んだアクション

男女差別やいじる人に注意した。ゴミを分別しスーパーまで持っていった。

報告者
49

名前/グループ名/グループメンバー

黒川 瑛斗

人数	活動地	区分
2 人	岡山県	小学生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　20時間

◆インパクトを与えた人数　20人

◆その他

取り組んだアクション

街がきれいになるように、ゴミ拾いをしている。特に、ゴミが川に落ちて海に流れ、マイクロプラスチックにならないよう、川の周辺のゴミ拾いをすることが多い。

報告者
39

名前/グループ名/グループメンバー

しひろ

人数	活動地	区分
1 人	東京都	中学生

関連するSDGs

アクションの種類	自己行動変革	実施期間	2023/1/18
支援先	JIM-NET		

取り組んだアクション

イラクやシリアの癌の子供たちやシリア難民支援の為にJIM-NET　のチョコ募金でチョコを1セット買った。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
1,400円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
14時間	約65人

◆その他

工夫したことや達成したこと

今までは募金などをしても周りの人に知らせたことはなかったけれど、今回はインスタを使って学校の友達などにactionを起こした事を伝える事が出来た。

困難だったこと/次回に活かすこと

インスタでもっと詳しくチョコ募金について書いたり、写真の撮り方を工夫してフォロワーが見やすい投稿をしたり出来るようにする。

これからアクションを起こす人へメッセージ

まずは家の中で出来るactionを見つけてみるのがいいと思う。小さい事から初めてみて、段々大きいactionを起こしてみよう！

報告者
62

名前/グループ名/グループメンバー

ヒビキ

人数	活動地	区分
1 人	東京都	中学生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 着

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類 自己行動変革

実施期間 2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

ゴミを減らすために、捨てられる野菜のしんとか皮を使って野菜だしを作った

困難だったこと/次回に活かすこと

なぜこのアクションに取り組んだのか

ゴミ問題に興味があったから

アクションを起こしての感想

今回は思いつきだったからあまり材料がない環境でやったけれど、常に野菜のしんとか材料をためておくことが大事だと思いました。

工夫したことや達成したこと

これからアクションを起こす人へメッセージ

報告者
92

名前/グループ名/グループメンバー

y cat wearing socks

人数	活動地	区分
1 人	群馬県	中学生

関連するSDGs

アクションの種類　自己行動変革

実施期間　2023/2/20～28

支援先

MY_CAT_WEARING_SOCKS

取り組んだアクション

保護猫を飼うことで、命の大切さを理解し、飼い主として責任を持って育てることを実践している。また、動物と人間が上手く共生できる工夫について考えていきたい。その様子をInstagramで発信することで、自分の活動を広めていきたい。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

多くの人に活動を知ってもらうために、Instagramを利用した。動物を飼う責任について理解してもらうために、自分の考えを発信した。

困難だったこと/次回に活かすこと

チェンジメーカー・フェスを知ったのが、最近だったので、活動期間が短くなってしまった。今後も活動は続けていきたいと思う。多くの人に知ってもらうために利用したInstagramの開設の時、少し手間取った。投稿頻度を多くし、より多くの人に私の活動を知ってもらいたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

小さな活動でもいいから、自分の思いや考えを伝えることが大切だと思います。

報告者
119

名前/グループ名/グループメンバー

サイエンス

人数	活動地	区分
1 人	神奈川県	中学生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

アクションの種類	実施期間
自己行動変革	2022/10/1～12/31

支援先

取り組んだアクション

陸や海の生物を救うために落ちていたビニール袋などのプラスチックゴミを拾うように心がけました。

個

工夫したことや達成したこと

自分が見える範囲に落ちていたプラスチックなどのゴミを全て拾いました。

困難だったこと/次回に活かすこと

狭い範囲でもかなり大変だったので、次は他の人とも協力してより広範囲に落ちているゴミも拾いたいと思いました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

1人でも多くの人が環境のことを意識して生活することでかなり変わると思います。一緒に頑張りましょう！

報告者
5

名前/グループ名/グループメンバー

Cat

人数	活動地	区分
1 人	東京都	中学生

2021.9.18-10.9

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　時間

◆インパクトを与えた人数　人

◆その他

取り組んだアクション

ケニアのマサイ民族のお母さんたちをエンパワメントするため、FREE　THE　CHILDRENのフェアトレードショップで、手作りアクセサリーを買いました。自分はシングルマザーに育てられているので、お母さん達をエンパワメントすることの大切さがよく分かっています。お母さんがエンパワメントされれば、子供達も良い生活が送れます。

報告者
36

名前/グループ名/グループメンバー

波田野 優

人数	活動地	区分
400 人	東京都	中学生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先　認定NPO法人外国人の子どものための勉強会

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　4時間

◆インパクトを与えた人数　400人

◆その他

取り組んだアクション

気候危機のデモ行進に参加し、街ゆく人々に気候変動への関心を訴えると共にアクションを促した。

報告者
37

名前/グループ名/グループメンバー

ゴミ拾いのT

人数	活動地	区分
2 人	東京都	中学生

アクションの種類　自己行動変革　　実施期間　2022/7/25-30, 8/16

支援先

取り組んだアクション

地域の環境を良くするために、親と二人で、道に落ちていたゴミを拾って、キレイな町にしました。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
1時間	10人

◆その他

報告者
19

名前/グループ名/グループメンバー

國重 咲季

人数	活動地	区分
1 人	東京都	高校生

アクションの種類　自己行動変革　　実施期間

支援先

取り組んだアクション

夏に祖父母の家の近くの海岸のゴミ拾いをしました！
SDGs関連の情報をインスタグラムで発信しました！

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
20時間	80人

◆その他

報告者
4

名前/グループ名/グループメンバー

原田 美彩

人数	活動地	区分
3 人	山形県	高校生

関連するSDGs

アクションの種類　自己行動変革

実施期間　2022/9/10-11

支援先

取り組んだアクション

市内に住む人のためであり、自分たちのために町を綺麗にしようという目的で市内でゴミ拾い清掃をしました。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
3時間	人

◆その他

工夫したことや達成したこと

袋ごとにゴミを分別しながら行った。また、20分ごとに袋をメンバーでchangeしながら行ったことによりゴミの分別への意識が高まった。

困難だったこと/次回に活かすこと

次回は活動をもっと長期的に行えるようにしてみたい

これからアクションを起こす人へメッセー

なにか小さなことでも誰かのためになることならやってみよう！

報告者
44

名前/グループ名/グループメンバー

め?

人数	活動地	区分
1 人	熊本県	高校生/高専生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
5時間	1人

◆その他

アクションの種類	自己行動変革	実施期間	2022/7/29-8/3

支援先

取り組んだアクション

公園で遊ぶ子供たちがより気持ちよく思いっきり遊んでもらうため、公園の前を通る人達が気持ちよく歩けるために毎朝1時間近くの公園とその周りのゴミ拾いを行いました。

工夫したことや達成したこと

朝行うことで子供たちが遊ぶ前に綺麗にできる、邪魔にならずに清掃活動ができるという面を工夫しました。また、5日に渡ってすることで1日にどのくらいゴミが出るのか、天候によって遊ぶ人数も来る人も差が出るのでゴミが出る量は全く違うという事を知ることが出来ました。もちろん1人じゃ初日は1時間だと時間が足りませんでしたが最終的には全部ゴミを拾うことができ、目標外の所までゴミを拾うことが出来ました。

困難だったこと/次回に活かすこと

公園の奥の影の部分だったり木の後ろだったり、あまり人目につかない所のゴミが多く拾うのがとても困難でした。そしてもっと速やかに、より多くの場所のごみ拾いができるように1人ではなく友達や家族を誘ってみんなでごみ拾いが出来たら良かったなと思いました。次回はより人目のつかない所を中心的にごみ拾いをし、より綺麗にしたいと思います。

これからアクションを起こす人へメッセー

SDGsの目標で私たちに出来ること、1番身近なことがゴミ拾いだと思っています。近くの公園やいつもの通学路などよく見てみたら意外とゴミが落ちています。学校の行き帰りなどに少し拾うだけで自分の気持ちも周りの人も温かくなります。そして自分が行った行動により周りの人にも影響を与える事ができ、さらにその人から次の人へまた次の人へと影響をあたえることができます。なので何かアクションを起こしたい時はゴミ拾いなど小さな一歩からはじめてみるといずれ目標達成に繋がると思っています。一緒に頑張りましょう。

報告者
59

名前/グループ名/グループメンバー

Hana

人数	活動地	区分
1 人	神奈川県	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 着

◆ボランティア時間 時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類 自己行動変革

実施期間 2022/5/5

支援先

取り組んだアクション

みんなが住みやすい街づくりとして、自分の家の前を人がたくさん通るので、掃きそうじやゴミ拾いをしました。

なぜこのアクションに取り組んだのか

葉などがたくさん落ちていたり、ゴミが落ちていたりすると気持ち良くないし、嫌だと思うのでみんなが気持ちよくこの街に住めるための一歩として自分の家の周りをそうじしました。

工夫したことや達成したこと

困難だったこと/次回に活かすこと

アクションを起こしての感想

木から落ちた葉だったり、誰かが捨てたごみなどをそうじするのは大変だと思いました。ですが、大変なことだけど誰かがやらなければきれいな街は保たれないので、ひとりひとりが街を汚さないように意識することや、人任せにするのではなくて少し散らかっていたら自分がそうじしようという気持ちも大事だと思いました。

これからアクションを起こす人へメッセージ

報告者
85

名前/グループ名/グループメンバー

Turcks

人数	活動地	区分
3 人	大阪府	高校生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先

取り組んだアクション

中高生世代に向けて、ロビイングトレーニングを実施した。また、教育に関する書籍を購入し、世界と日本の教育制度を比べながら、これからの社会に必要な教育について学習した。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
3時間	1人

◆その他

工夫したことや達成したこと

ロビングトレーニングを通して、政府や政治家の方々へのアプローチ方法を学ぶことができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

活動に参加してくれる方々を集めることがとても困難だった。この経験を今後の活動に活かすために、集客力や集客方法については今後見直そうと考える。SNSを用いて、社会問題に興味がある人を集めることが困難だった。

これからアクションを起こす人へメッセージ

小さなアクションでも、大きなアクションでも積み重なれば、大きなインパクトが生まれると思います。なので、楽しんで継続することが大切だと思います。

報告者
88

名前/グループ名/グループメンバー

Ita

人数	活動地	区分
1 人	栃木県	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
500円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
48時間	860人

◆その他

アクションの種類	自己行動変革	実施期間	2021/10/1～2023/2/28

支援先	国際連合世界食糧計画WFP協会

取り組んだアクション

エコバッグやマイボトル等を持ち歩いた。（資源削減）
コンビニの募金箱へ募金をした。
戦争活動等によって生活困難の人達へ少しでも補助できるかと思ったから。
普段使っている地域のゴミ拾いをした。
ボランティア活動に参加してイベント運営の補助を行った。

工夫したことや達成したこと

普段使っている地域のゴミ拾いをしたことでゴミが減り、綺麗になった。

困難だったこと/次回に活かすこと

身近にできることで誰かのためになることを見つけてみる、今後もっと大きなアクションを実行してみたい。

これからアクションを起こす人へメッセージ

どんなに小さいアクションでもきっと大切なことだと思います。

報告者
90

名前/グループ名/グループメンバー

都立国際高等学校
国際協力ボランティア同好会

人数	活動地	区分
80 人	静岡県	高校生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間　2022/9/10～11

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
12時間	200人

◆その他

取り組んだアクション

高校の文化祭で下の４つを実施しました。
・在校生や先生方、来校した保護者の方々にフリー・ザ・チルドレンなどからのフェアトレード商品を販売。
・目隠しをして点字ブロックを歩く白杖体験。
・ペットボトルのキャップを再利用するために、キャップを細かく切ってアイロンで溶かしアクセサリーの作成。
・心が温かくなるメッセージを書き、知らない人と交換できるメッセージ交換。

工夫したことや達成したこと

活動する人数(部員)が多かったので、１人１人お客さんの質問に答えられるようにフェアトレード商品の背景や使い方を事前に学習しました。販売時には、質問に答えられないことがないようにリーダーを最低１名配置することで、お客さんが何もわからないまま購入することがないようにすることができたと思います。ペットボトルキャップを使ってアクセサリーを作って配ることや製作体験をしてもらうことによって、普段ただのゴミだと思われるものも綺麗なものにして再利用することができるという印象を来てもらった人に与えることができたと思います。

困難だったこと/次回に活かすこと

売り上げの行き先について細かく聞かれた時にちゃんと答えられなかったことがあったので、もう少し事前に勉強したほうがよかったです。

これからアクションを起こす人へメッセージ

よりたくさんの影響を人々に与えるために、アクションを起こす前にしっかり事前学習をすることが大切だと思います。

報告者
123

名前/グループ名/グループメンバー

梨乃

人数	活動地	区分
3 人	東京都	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	約1000人

◆その他

アクションの種類 自己行動変革　**実施期間** 2022/3/1～2023/2/28

支援先 会津学鳳高校

取り組んだアクション

日頃からコンビニなどでビニール袋をもらわずエコバッグを持ち歩きの仕様や毎日近所のゴミ拾いをしております。ペットボトルや缶はリサイクルへ出しております。

工夫したことや達成したこと

ゴミを少しでも毎日拾って日々少しずつ続けること

困難だったこと/次回に活かすこと

天候が悪い日は気分が乗りませんが家の前のゴミ一つでも拾うように毎日続けています

これからアクションを起こす人へメッセージ

毎日コツコツと続ける事が大事だと思います。これからの未来の地球の為にも行動をしていきましょう。

報告者
130

名前/グループ名/グループメンバー

yu

人数	活動地	区分
1 人	東京都	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	自己行動変革	実施期間	2023/3/3～3/27

支援先

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

取り組んだアクション

地域環境を改善するため、ゴミ拾い一袋分を行った。また、CO2を減らすために、マイボトルやマイバックの使用を行った。

工夫したことや達成したこと

排水溝の辺りのくぼみなどにゴミが多いので、車に気を付けながらゴミを拾い切るようにした。行き拾った道を帰り歩いてみると、ゴミがほとんど見受けられずとても気持ちの良い気分になった。

困難だったこと/次回に活かすこと

車道脇などにゴミが多く、拾って安全なものかの判別などが難しかった。

これからアクションを起こす人へメッセージ

小さいことでもアクションを起こすことで、自分が社会の一員であるということを感じられるし、小さなアクションが本当に地球を変えることにつながると思うので、少し勇気があるかもしれませんが、是非！挑戦してみて下さい！

報告者
133

名前/グループ名/グループメンバー

佐久間　りほ

人数	活動地	区分
1　人	沖縄県	高校生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間　2022/3/12

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	100人

◆その他

取り組んだアクション

SDGs↑プラスチックを使わない生活、緑を増やすために植物を育てる

工夫したことや達成したこと

2Lペットボトルを植木鉢に再利用して植物を育てる事

困難だったこと/次回に活かすこと

ペットボトルを再利用できるものをもっと増やして、実行して見たい

これからアクションを起こす人へメッセージ

SDGsを他人事にしないでみんなで取り組む事が大事！！

報告者
28

名前/グループ名/グループメンバー

透瑚

人数	活動地	区分
5 人	山口県	高校生/高専生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　4時間

◆インパクトを与えた人数　25人（生徒会メンバー）

◆その他

タバコの吸殻、ポイ捨てされたゴミ ゴミ袋20

取り組んだアクション

学校の周りにタバコの吸殻などのゴミが沢山落ちていて、小さい子どもや動物などが、ゴミを触って遊んだり、食べようとしていたりしたのをみて、危ないと思い。公道、広島駅周辺ゴミ拾いをしました。

報告者
9

名前/グループ名/グループメンバー

登山 暖

人数	活動地	区分
1 人	群馬県	高校生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付　円

◆物の寄付　個

◆ボランティア時間　1.5時間

◆インパクトを与えた人数　3人

◆その他

取り組んだアクション

地元が綺麗になるよう地域のゴミ拾いをしました。

報告者
32

名前/グループ名/グループメンバー

梅

人数	活動地	区分
1 人	神奈川県	大学生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
500円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

アクションの種類	自己行動変革	実施期間	2022/10/1-2023/1/18

支援先

取り組んだアクション

・「音の出る信号機」を設置するための募金に参加した。
・プラスチックごみ削減のため、シャンプーや洗剤等は大容量の詰め替え用を使用している。また、買い物袋を持参する。
・まずは知ることからと思い、ジェンダーに関する勉強を始めた。

工夫したことや達成したこと

プラスチックごみの削減に関しては、日頃から簡単に取り組めるものでもあったため難なく生活することができた。

困難だったこと/次回に活かすこと

ジェンダーの勉強に関しては、目に見えて結果が分かるものではないので意味になっているか不安もあったが、「知る」というところから始めるのが大事だと思った。

これからアクションを起こす人へメッセー

SDGsと聞くと大きなプロジェクトに聞こえるかもしれませんが、内容をしっかり理解してみると日常の小さなことから取り組めることばかりなので、そのちょっとした行動が、誰かの地球を守ることにつながっていると思います。なによりもまずは、関心を持ち知ることから始めましょう！

報告者
45

名前/グループ名/グループメンバー

大場 彩香

人数	活動地	区分
4 人	東京都	大学生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間　2022/12/20-2023/1/16

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人

◆その他

取り組んだアクション

沖縄大学で開催された子どもの権利条約フォーラムにて、認定NPO法人国際こども権利センター　C-Rightsのボランティアとして参加し、子どもの権利をテーマにしたかるたを用いてワークショップや意見交換を行った。私自身子どもの権利に興味があり、また様々な人の意見を知りたいと考えたため参加した。

報告者
47

名前/グループ名/グループメンバー

でんくしー

人数	活動地	区分
5 人	東京都	専門学生

アクションの種類　自己行動変革

実施期間

支援先　病院や学校

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
20時間	150人

◆その他

取り組んだアクション

重度の入院している子どもたちや障害のある方、親のいない子供たちのために音楽でチャリティーコンサートに参加した。

報告者
41

名前/グループ名/グループメンバー

しゅう

人数	活動地	区分
1 人	埼玉県	会社員

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 個

◆ボランティア時間 15～20時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

アクションの種類 自己行動変革

実施期間 2021/4/1～

支援先

取り組んだアクション

会社に入社当初から普段通勤している道などをゴミ拾いをして綺麗になるようにしています！！！！

工夫したことや達成したこと

通勤中タバコを吸っている人が多かったのでたばこの吸い殻が多かったので木の隙間とかを見るようにしていました。

困難だったこと/次回に活かすこと

缶など少し高いゴミは拾えなかったので休日にでもしてみたいです

これからアクションを起こす人へメッセージ

スキマ時間はいくらでも有効活用できると思います！

報告者 6

名前/グループ名/グループメンバー

ARASHIANS

人数	活動地	区分
1 人	東京都	専門学生

アクションの種類 自己行動変革

実施期間 2022/1/1-10/5

支援先

取り組んだアクション

自ら進んでゴミ拾いを行ったり、プラスチックゴミが減るようにペットボトルではなく、水筒を持ち歩き、友人などにもアウトプットを行いました。

工夫したことや達成したこと

皆がゴミをそこら辺に捨てないように考えました。

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 個

◆ボランティア時間 昨年から今現在まで

◆インパクトを与えた人数 5人

◆その他

困難だったこと/次回に活かすこと

努力不足でした。

これからアクションを起こす人へメッセージ

私達皆で協力をして頑張りましょう！

報告者 52

名前/グループ名/グループメンバー

まいまい

人数	活動地	区分
1 人	岡山県	大学生

アクションの種類 自己行動変革

実施期間

支援先

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付 円

◆物の寄付 個

◆ボランティア時間 12時間

◆インパクトを与えた人数 人

◆その他

取り組んだアクション

地球環境のためにごみ拾いをしました。

7
Social Business
ソーシャルビジネス

報告者
122

名前/グループ名/グループメンバー

Glabel Japan

人数	活動地	区分
8 人	東京都	高校生

関連するSDGs

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	約1000人

◆その他

アクションの種類	ボランティア	実施期間	2022/2/8～継続中

支援先　会津学鳳高校

取り組んだアクション

訪・在日外国人にとって、日本はベジタリアニズムやビーガニズムが生活しずらい環境となっている。
　従って、食品表示をスキャンして、ユーザ設定を元に、食べられる食材を判断する「GlabelJapan」というアプリを開発した。加えて、日本のレストランでテンプレートを用いての注文ができるコミュニケーション機能も導入した。現在に至るまで、Googleエンジニア、Waffleなどのデベロッパー、ALISIAN、ovgo baker、VEGANSTOREなどのビーガンストアと連携し、アプリを評価・改善していただいた。今後は、空港や大使館などと連携しユーザー数を増やす予定である。

工夫したことや達成したこと

私たちが開発したアプリの機能の一つとして食品表示をスキャンし、何が入っているかをユーザーの設定と合わせて判断する機能があります。最初は、シンプルなプログラムで動かしていたのですが、正確性が足りていないという事で私たちはこの現状を解決する為に大量のデータを収集し、判断するための独自のAIを開発しました。しかし、正確性が高いAIを開発するには正しいデータを多く収集する必要があり、最初は様々なスーパーマーケットに通い食品ラベルを集めていたのですが、それでは効率性があまり良くないという事で現在私たちは商品ラベルを作成している企業などとコンタクトをしている状態です。

困難だったこと/次回に活かすこと

困難だったこととしてあげられるのは私たちがこの現状を解決するためにアプリを開発しようと判断した時にプログラミングに使用する言語の知識がほとんどなかったことです。その為、一年以上かけ少しずつ独学で学びこのアプリを作成しました。一回学びアプリ開発におけるプログラミングに自信を持つことができた為、今後はこの知識を生かして、よりユーザーが使用しやすいものを作成して行きたいと思います。

これからアクションを起こす人へメッセージ

私は、アクションを起こす・このアプリを作り始める前までは、「難しい」・「無理なんじゃないか」などと不安な気持ちしかありませんでした。しかし、色々試してみて、実際トライしてみると意外とできるもので、まずはその課題・アクションについて知らなければその現実可能性を見出せないと思います。なので、アクションを起こす前に「これは無理そう」などと思わず、試す・やってみるのが大切など思います。

報告者
125

名前/グループ名/グループメンバー

starter

人数	活動地	区分
5 人	東京都	高校生

関連するSDGs

アクションの種類	ボランティア	実施期間	2022/2/12～17

支援先	会津学鳳高校

取り組んだアクション

私たちは、学校の黒板消しクリーナーに溜まったチョーク粉や短くなったチョークを再生するという活動を行なっています。学校生活でチョーク粉や短くなったチョークが捨てられてしまうことに、「もったいない」という思いを抱いたことがきっかけです。私たちは「チョーク再生」を啓発することを目的に、学校のオープンスクールや「Maker Faire Tokyo 2022」に参加し、ワークショップを開催しました。またHCD-Net フォーラム2022では高校生ゲストとして登壇し、東京都国際教育研究協議会主催の第6回高校生国際理解・国際協力研究発表会では国際教育研究協議会会長賞を受賞しました。さらに三井住友信託銀行コンサルプラザ調布やChange Makers Fes 2023でもポスター展示を行いました。このように、私たちは一人でも多くの方々に私たちの活動を知ってもらい、賛同してもらえるように活動を行っています。

数値的成果

◆お金の寄付	◆物の寄付
円	個
◆ボランティア時間	◆インパクトを与えた人数
時間	人
◆その他	

工夫したことや達成したこと

校内外の発表・ポスター展示を通して、「チョーク再生」という私たちの活動を多くの方々に知ってもらうことができました。また、Maker Faire Tokyo 2022 やオープンスクールでは実際にチョークを作ってもらうワークシ ョップを行い、大人から子供まで多くの人がわたしたちの活動に賛同してくれました。

困難だったこと/次回に活かすこと

困難だった事としては、粉と水の配合を決定するのにおいてかなりの時間を要したことです。 のりの役目を果たせるような材料として片栗粉や小麦粉を混ぜるなど試行錯誤を続けましたが、そのようなチョークだと黒板に書くことができなかったり、綺麗に固まっていなかったりと失敗を繰り返しました。 次回に活かすことは、高校生ながらのアイディアと誰でも身近なことから世界を変えていける という言葉をモットーに啓発活動を続けていくつもりです。

これからアクションを起こす人へメッセージ

SDGs に関する活動がより活発になっている近年、世界の貧困や不平等をなくすためにはどうしたらよいのか、地球温暖化をとめるにはどうしたらよいのかなど、多角的な視点からSDGsに関わる必要がある。しかし、「世界」や「地球」全体の課題をすぐに解決するのは難しい。また私たち高校生が直接関わっていくのは簡単なことではない。そこで私たちは、身近なところから課題を見つけ、解決していこうと考えた。そうすることで SDGs 達成に貢献することができる。気付いていないだけで、身近なところにも課題は沢山あるのだ。私たちのように、皆さんにも身の回りのちょっとした課題から解決策を見つけ、国際的な課題解決のためにぜひ行動に起こしてほしい。

エントリー　アクション
Entry Actions

チェンジメーカー・フェス2023にエントリーしたみなさんのソーシャルアクションを一挙紹介！　ゴミ拾いやリサイクルなど、だれでもすぐに挑戦できる身近なアクションから、社会へ向けた大きなアクションまで、たくさんのアイデアと感想が集まりました。

みんなのアクション

1.エシカル消費
フェアトレードやエコ商品、食品ロスを減らす買い方など、
世界を変える買い物のアイデアがいっぱい！

2.プラスチック削減〜マイバッグ＆マイ水筒
海洋プラスチックをはじめとしたプラスチックの問題をどうにかしたい！と考える仲間がこんなにたくさん！

3.ゴミ拾い
ゴミ拾いイベントをはじめ、日常のちょっとした時間を使って学校や街をきれいにする取り組みがずらり！　絶対参考になる！

4.リサイクル
つかわなくなったもの、廃棄するもの「ただのゴミ」にしないためのアクション！
捨てるものはぜんぶ資源になるという意識で生活したいね。

5.募金・寄付
ものやお金を必要としている人へ。小さな気持ちが集めて大きな力を伝えよう！

6.オリジナル・アクション
みんなが取り組んだ人や社会を良くするアクション。ワクワクする活動がいっぱい集まった！

7.チェンジメーカー・フェス認定アクション（関連イベント）
参加者の感想や声を集めたよ！　次はみんなも参加しよう！

1．エシカル消費

・少しでもフードマイレージを減らせるように椎茸を栽培したり自分の畑をし始めました。

・フェアトレードのチョコレートを購入した。エシカルマークのついた商品を購入した。

・マイ箸を購入して持ち歩いた。

・牛乳が廃棄されないように、消費期限の短い牛乳を選んだ。

・有機JAS認証取得のフェアトレードチョコレートを買った。(100グラムの板チョコ2枚)

・いつも使い捨ての箸を買ったり貰ったりしていたが、マイ箸を購入した。

・化粧品会社と協力して傷がつくことで廃棄されてしまう商品の販売会を行い、
エシカル消費の普及をした。

・植物を育てる。食べ物や日用品はなるべく環境に良いものを選ぶ。

・高齢者の雇用に繋がり、寄付にもなるアクセサリーの購入

・カルディでフェアトレード商品のコーヒーを買った。

・ぬか床を始めました。野菜を漬けておくことで、日持ちして美味しく食べられるだけでなく、
フードロスの削減に貢献。発酵の力で健康にもつながっています！

・毎朝学校に私は早くつき一人で勉強しているのですが、その時に、一人しかいないので、四つあるうちの電気ボタンのうち一つだけを使うというのを毎日継続して行いました。
（2022年9月から現在まで）

・飲食店等に入店した際に食べ物を残さないで食べ切る。

・エシカル消費についてのスピーチを書いた

・空港で小学校を作る募金箱に募金した（五百円）

・100％ヴィーガンを掲げる化粧品(Dear　Dahlia)や、人工化学物質を使わない自然由来のハンドクリーム(The　body　shop)を購入し環境保護に貢献した。これらの商品は友人や家族に紹介し、出来るだけ多くの人に広まる様に努めている。

・リユーザブルカップの使用。

・学校の生徒会活動の中で、9月にあった文化祭の時に、エシカル消費について持続可能な材料を使って商品を作ってらっしゃるブランドに協力いただき、エシカルファッションショーを行いました。
実際にブランドの趣旨やエシカルについての思いを知り、ファッションショーを通して先生や生徒保護者にSDGsやエシカルについて直接伝えました。
(ファッションショーは毎年文化祭で行っています)

・Nordgreenという慈善活動に積極的な企業の時計を購入し、購入金を熱帯雨林保全に寄付した。

2．プラスチック削減
マイバッグ＆マイ水筒

・同好会で海洋プラスチックについて取り組んでいます。その活動の一環として学校で『マイクロプラスチックストーリー』の上映会を予定しているので、その準備をしています。

・プラスチックを効率的に廃棄するためにプラスチックを焼却、その後リサイクルへ持っていくサイクルを作ることが出来ないか研究しました。微生物でプラスチックを分解することが出来ないかどうか実験を行い、プラスチックについて知るよう研究に励みました。その結果プラスチックから発見することの出来るオレフィンという物質を抽出しプラスチックの燃焼、抽出、発電といった永久機関を考察すると共に、プラスチックの無駄遣いを減らすよう呼びかけました。

・15人程度で大学周辺をゴミ拾い。海洋プラスチックに関する映画の上映を大学で行い、それに関するディスカッションをすることで、問題に取り組みやすくするイベントを開催。大学でコンタクトレンズケース回収を行い、コンタクトの会社へ持っていくことで、リサイクルの輪に入れた。

・高校生徒会副会長として、学校に「使い捨てコンタクトレンズの空き容器」の回収ボックスを設置し、空き容器を回収した　(約15kg)　。これは「コンタクトのアイシティ」のリサイクル活動だ。この会社では、リサイクルした収益金を全額、アイバンクの普及、啓発する団体に寄付している。そのため、私たちも間接的に、社会問題を解決する団体へ寄付をしている。コンタクトレンズの空ケースのゴミを減らすために約16,000個回収し、リサイクルしました。

・コンタクトレンズの空きプラスチックを家族分集めてリサイクルに提出。

・文化祭時クラス全員でプラスチックの利用を最大限に減らした。

・マイボトルを利用した。pefcマークのある文房具を利用した。

・必ずマイバッグを持ち歩いているので、ビニール袋をもらうことはほぼない。ペットボトルを消費しないように、炭酸水を自宅で作れるdrinkmateを購入した。

・学生団体mybottlevendingmachineを設立し、海洋プラスチック問題の原因となるペットボトルを廃止するべくマイボトル自動販売機の開発に向けて活動している。インスタグラムには海洋プラスチック問題啓発活動として様々な情報を発信している。

・バリ島でエコホテルについて学び、マイボトルやマイ傘を持ち歩きつつ環境に配慮した食事をとった。（10日間）

・常にマイバックを持参する

・使い捨てプラスチックの利用を減らすため、水筒を使用したり、お店でレジ袋を貰わない。

・授業で海洋プラスチックごみ問題について取り上げ、一緒に考えて、ごみを減らす取り組みを行いました。例えば、マイボトルを使うことを意識したり、プラスチックではなく、紙のつつみの商品を選ぶようにしています。

・飲み物はマイボトルに入れて持ち運ぶ

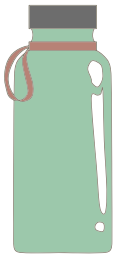
・エコバッグ、マイボトルを常に使っている

・マイバックを常に持ち歩き袋の購入回数を減らした（6月から毎日）

・ペットボトルを使わないように意識する生活を送る

・毎日　水筒を持ち歩く。買い物は必ずエコバッグを使う。

・ペットボトルではなく、水筒を持ち歩いている。



・ペットボトルを買わずに水筒を持ち歩いています。

・エコバッグを使って、ビニール袋をもらわないようにした。

・レジ袋を使用せず、マイバックを持参した。

・マイボトルやマイバックを持ち歩き、プラスティックの削減。

・ペットボトルは買わずにマイボトル持参。

・使い捨てプラスチックの利用を減らすため、マイボトルを使っている。

・マイタンブラーを持ち歩く。

・ペットボトルの飲み物は基本的に買わず、マイボトルでお茶を作ったり、大学に持っていったりしている。

・プラスチックの利用を減らすため、学校や遊びに行くときはマイボトルを持参し使っている。

・使い捨てプラスチック（ペットボトル）の利用を減らすために、マイボトルを使っている。

・ゴミを減らすため、重いけど、毎日学校に水筒を持って行きます。部活の練習でたくさんお茶を飲みますが、無くなったら水道のお水を水筒に入れて飲みます。ペットボトルは買いません。

・マイバック，マイボトルは物心ついた時から利用していますが，友人に，その利点などを話す中で、友人もだんだんとマイバックやマイボトルを利用してくれるようになりました。

・買い物に行く際にはマイバッグの持参をしている。

・使い捨てのプラスチックを減らすため、マイボトルとエコバッグを使用している。

・マイバックを持ち歩き、レジ袋を断っている。

・水筒を使い、中身が少なくなったとき近くに給水所があれば給水所で給水している。（週6日）

・ペットボトルを洗って再利用。（4回分）

・使い捨てプラスチック量を減らすため、学校に行くときや運動の際はマイボトルを持参している。（3～4回/週）

・使い捨てプラスティックの利用を減らす為、マイボトルを使っている。他にも古着を区の回収ボックスに入れて寄付をしたり、バザーで再利用してもらったりしている。

・マイバックや水筒の持参を心がけている。

・普段の買い物でエコバッグを使う。

・家族でマイボトル持参分別活動もしています。

・エコバッグをいつも持ち歩いています。

・プラスチック削減のためにいつも水筒を持ち歩いている。

・プラごみのリサイクル(分別)

・マイボトルを毎日持ち歩いてる。

・使い捨てプラスチックの利用を減らす為、マイボトル、マイバック、マイ箸を使っている。

・マイバックを毎日持ち歩いている。

・ペットボトルを買わずに、マイ水筒を毎日持ち歩いています。

・ペットボトルの利用を減らすためにマイボトルを使っている。

・ペットボトルの商品は買わないようにしている。マイボトルでお茶も自分で作っている。

・ペットボトルもラベルを外して、中を綺麗に洗って、リサイクルに出しています。
（2リットル　週3本　500ml　週5本くらいたまります）

・週1回ペットボトルをリサイクルに持っていっている。

・家で使うビニール袋はバイオマス原料のものを購入している。(２ヶ月に１袋)

・毎日飲む水を家から持って行ってペットボトルを洗って使っている。

・プラスチックトレイを捨てずに、リサイクルボックスに入れる。

・1週間プラスチックを使わない！

・毎日出るコンタクトレンズの容器のゴミを捨てず、貯めてある。(ポリバケツ2杯分)今後これらを材料にして作品を作りたいと思っている。

・家庭内プラスチックゴミ。プラスチック製品を買わない心がけと、安易にゴミ箱へ捨てるのではなく、再生利用可能な状態でプラスチックゴミに出すこと。(2週間に一回のペースでゴミ袋１袋)

・コンタクトレンズのケースをリサイクルした。

・お母さん、お父さんと、ペットボトルのキャップ、プリンターのインクカートリッジなどを集めてリサイクルをしています。

・ペットボトルキャップ回収。

・コンタクト空ケースの回収。（ワンダーコンタクト）

・学校内のエコキャップ回収活動にて回収袋の半分ほどを協力した。またクラス内で呼びかけ回収専用BOXを作った。

３．リサイクル

・校内で、不要な文房具を皆から集めてフリーザチルドレンへ送りました。（８３点）

・シャンティ国際ボランティア会の絵本を届ける運動に参加し絵本を作成しました。（２５冊）

・文化祭で各ボランティア団体への募金活動をしました。（2,000円程度）

・着なくなってしまった洋服を古着回収ボックスに入れました。

・牛乳パックをリサイクルに出した。

・着ない洋服を難民支援のための古着回収袋に入れて寄付した(できるだけたくさん)。

・サイズアウトしたけどまだ着られる服を東南アジアの子どもに送るプロジェクト通して寄付しました（9着）。

・使えるものを使い倒した。

・紙箱などはゴミとして捨てず集め学校へ持っていき、くるりんペーパーとしてトイレットペーパーに変えている。大の紙袋5袋

・使わなくなった衣類を従兄弟に譲った。パジャマ2着、服3着、靴下2足

・着ない洋服をリサイクルのため、区の収集拠点に持参した　(7着)。

・洋服のリサイクル

・ゴミを減らしたり、分別をしっかりしています。生ゴミはゴミ処理器しています。

・小さくなった子どもの服を町の交換場に持って行き他の方に譲り、私も今の大きいサイズの服と交換してもらった

・靴を買いに行き下取りにも出した。

・学校の寮で料理に使用した油で、石鹸を手作りした。その石鹸は、寮の掃除などに日常的に使用している。

・家庭から出た生ゴミを、土を入れた段ボールに埋めて堆肥化しました。この活動これから維持します。
・ゴミとなる廃材を利用しての創作活動。ゴミを拾いリサイクル活動の貢献。

・毎年衣替えの時に気なくなった服を難民の方に向けて寄付している。

・自宅で消費した牛乳パックを捨てる際に、スーパーの店頭にあるリサイクルBOXへ捨てた。(10パック分)

・物の循環（まだ使える物を周りから提供してもらい、必要な人に届ける）チャリティイベントで販売、「ご自由にどうぞコーナー」で提供。

・着なくなった洋服をUNIQLOやGUにおいてある古着回収ボックスに入れて寄付した。（5着）

・毎年衣替えの時期に着なくなった服を難民の方へ届く古着回収に出している。

・ダンボールなどを再利用した。

・廃棄予定の花やウエディングブーケを使い似顔絵やドレスの絵を再現しています。思い出の瞬間を思い出の形で残すお手伝いをしています。現在の実績：7件

・きていない服や使わない参考書を10個以上別の人に譲った。

・祖父からいらない服を段ボール3個分ほど譲り受けて普段着ている。

・洋服を買わずに、人のお下がりを着るようにしています。また、自分の着なくなった洋服は妹や友達に譲っています。

・必要がない服を寄付した。

・サッカーでサイズアウトしたユニフォーム12着、シューズ2足をチームの後輩に寄付した。

・使わなくなった服を児童施設に寄付。

・フードロス削減の取り組みに参加してる。(週3回)

・家族でゴミの分別を徹底して行ったり、服をリサイクルショップへ売りに出したりしました。

・肩の部分が取れてしまい着れなくなった洋服を自分の手でリメイクして再利用をしました。

・落ち葉の腐葉土化（生徒310人）

・ベルギーに留学している際、いらなくなったものを他の人に寄付できるリサイクルボックスを設置した。

・ファストフード店のおもちゃや不要な洋服・靴などを店舗の回収ボックスにいれた。(5点)

・SDGs　のイベントに参加し、様々な取り組みを知り理解を深めた。(22年9月幕張メッセ)

・家で使うビニール袋はバイオマス原料のものを購入している。(２ヶ月に１袋)

・サイズアウトした衣類をリサイクル回収ボックスに持参している

・いらなくなった洋服を家族からもらい、新しい服にリメイクした（2着）

・学校のPTAのリサイクル活動を行っています。年に数回制服を回収し、応募者に年に2回頒布する活動です。ペットボトルの再利用やキャップの回収（随時）、地域の掃除活動（年2回）などを行っています。

・お昼ご飯のプラごみと燃えるゴミを分別した。

・服のリサイクルイベントに参加し、2人合計17着をリサイクルしました。

・要らなくなった服を友達にあげた

・"着れなくなった洋服をリサイクルショップに持っていきました。

・読まなくなった本10冊くらい本屋に持っていきました。"

・サイズアウトした服でペットの服を作った。

・サイズアウトした服をカットして掃除などに使用。

・幼稚園でバザーをしました(生徒120人)。

・サイズアウトした洋服をリサイクルに出しています。

・リサイクルしやすいようにゴミの分別を細かく分けた。

4．ごみ拾い

・江ノ島海岸で周辺のゴミ拾いをした。

・海に行ってマイクロプラスチックなど小さなゴミから大きなゴミまで、自分の手で実際に拾って、きれいにした。

・車道に落ちているゴミは拾うようにしている。

・海岸清掃・ゴミ拾いのSNSでの発信。

・地域のごみ拾いに参加。

・街を綺麗にするために地域の方々と清掃をした。

・川辺のゴミをコンビニ袋一袋文拾いました。

・代々木公園のゴミ拾いをしました。

・習い事で通っている街のゴミ拾いをみんなでしました。

・街がきれいになるようにゴミ拾いをした。

・父、母と家の周りのゴミ拾いをしています。

・道の一角でボランティアとして、学童の仲間と一緒にゴミ拾いをした。

・公園をみんなで軍手とトングとゴミ袋を使ってゴミ拾いをした。(ゴミ袋10袋くらい)。

・公園掃除ゴミ拾い。

・2人の男性が道端にポイ捨てした煙草のゴミを即座に拾って持ち帰って処理した。

・イベントに参加してゴミ拾いしました。

・学校でearth　dayで通学路のゴミ拾いをした(生徒360人)。

・学校の近くのゴミ拾いをした（ゴミ袋一つ分）。

・海岸のゴミ拾いイベントに参加した　一袋。

・学校帰りに落ちているゴミを友達と拾う競争をしました。

・北海道の学校の生徒と私の学校の生徒の有志でコラボして江ノ島のごみ拾いをした。（30人）

・慶應大学湘南藤沢キャンパス主催のSDGsの鎌倉の未来構想プログラムのワークショプに参加して鎌倉市のゴミ問題について話し合ったり、海外のゴミ問題について調べてスライドを作ったりそのようなものを参考にして鎌倉の20年後について考え実際に鎌倉のゴミ問題解決のための方法などについてスライドを作成して鎌倉市長や北海道大学の教授をはじめとする沢山の人々に発信した。（10人の神奈川県出身の高校生たちが50人以上の方達にプレゼンした）。

・通学路のゴミ拾いと地域の問題点を見つけることコンビニ袋2個。

・いつも歩いている時とかゴミを見つけたら拾っている。

・神奈川県で行われたブルーサンタという活動をしました。ブルーサンタとは、海や海岸のゴミ拾いをしたと活かせるゴミでアクセサリーなどを作る活動です。

・渋谷の街がきれいになるように、ゴミ拾いをした。（約20L）

・毎週日曜日にグリーンバードに1時間だけゴミを拾っている。

・地域が綺麗になるようにごみ拾いをした。

・ゴミ拾いをした（コンビニ袋一袋分）。

・公園が綺麗になるようにゴミ拾いをした。(ビニール袋2袋分)。

・ゴミ拾い一袋分、マイボトルの使用。

・海のゴミ拾いをしました。

・多摩川のボランティア清掃に参加しました。3回位

・山手線沿線を歩きながら、地域美化のためゴミ拾いをした（ゴミ袋6袋分程度）。

・海辺の砂浜に沢山落ちていたゴミをコンビニの袋約3袋分拾いました。

・ごみ拾いをした（45Lごみ袋2袋分）「ポケモンごみ拾い」と名づけ、ポケモンGOとごみ拾いをすることもした（小学生と保護者）。

・部活動の一環で学校周辺のゴミ拾いをしている。

・鹿児島県　与論島に軽石を20人で拾いにいった。観光業が盛んな与論島に川の噴火による軽石が大量に漂流した。軽石により観光業が損害負っただけでなく、海水を利用したサトウキビ工場や漁船にまで被害を負った。与論島を救うべき軽石のゴミ拾いに参加した。

・住み地域のゴミ拾いをマンションの皆様で協力して月に一回行っています。

・2/5滝沢さんゴミ拾いイベントに参加しました。また仲間と作ったゴミ拾いチーム"PWK”でも定期的に日本各地で仲間と一緒にそれぞれ活動しています。メンバーは現在30人います。

・高校三年間　NPO法人　グリーンバードにてゴミ拾いボランティアの運営に毎月参加
（毎回約10～20人で5袋以上のゴミ）。

・グリーンバードオリジナルの袋で、可燃ごみの紙袋は水原希子さんがデザインして下さった。

・地元の河川敷にて団体でゴミ拾いを行いました。河川敷ということもあり、ペットボトルや服、靴、そして何故こんなところに？というタイヤのゴミまであり驚きましたが、どれだけ街や川が汚れているのか現状を知れてとても勉強になりました。（約30個以上拾いました）。

・道に落ちているゴミ拾い。

・ゴミ拾いのボランティアに参加し、ゴミ拾いをした。（ゴミ袋1袋分）。

・渋谷のゴミ拾いイベントに参加しました。少しでも街がきれいになりますように。"

・茅ヶ崎の海岸が綺麗になるようにゴミ拾いをした。(コンビニの袋1袋分)。

・学校の外のゴミをゴミ袋一つ分拾った。

・街が綺麗になるようにゴミ拾いをした。(全員でゴミ袋8袋分)。

・ゴミを探しつつ、防災情報を収集した。

・松原がきれいになるようにゴミ拾いをした(ゴミ袋2袋分)。

・アキバスマイルという団体にて、ゴミ拾いを実施した。

・散歩のときに、気づいたゴミを拾う力(手提げごみ袋１つ×１ヶ月)。

・ゴミを分別してリサイクルしている(毎日)。

・子ども食堂に寄付(食材や雑貨)。

・海洋プラスチック問題の解決に貢献するために、マイボトルを使っている。

・近所の公園とその周辺のゴミ拾いをした。（ゴミ袋大を2袋分）

・お台場ビーチクリーン大使として、地域の人・イベント参加者・後援のフジテレビのみなさんとゴミ拾いを行いました。

・麻布商店街で学校の友達と街のゴミ拾いを行いました。（45Lゴミ袋一つ分）

・大阪万博2025清掃ボランティアで世界中の方々Zoomで集まり、各地のごみ拾いを行いました。その経験を活かして挨拶運動や海洋生物保護のボランティア、フィリピンの子供達の支援などをしています。最近ではSocial　Contribution　Awardを受賞しました。

・さまざまな社会問題と向き合っていくために、環境を守るために月に一度の川清掃を行っている。

・公園が綺麗になるようにお菓子の袋を拾いました。(飴の包み紙10個分、その他のお菓子の袋5個分程)

・ゴミをコンビニ袋の4分の1くらいの量拾った。

・駅周辺の空き缶などのゴミを拾った。市のゴミ袋一袋。

・2歳の娘がペットボトル5本のゴミ拾いをし、ラベルを剥がしゴミを分別。本人は日頃、マイボトルにミネラルウォーターを入れて持ち歩いています。

・小中学校の登下校で毎日ごみを拾いながら歩いていた。現在も目立つゴミは拾って捨てるようにしてる。

・2/5滝沢さんゴミ拾いイベントに参加。

・街のゴミ拾い、コンビニ袋大1・ダンボール・AirPodsのケース、これは交番に届けた。

・小学校のクラスメイトと公園のゴミ拾いイベント。

・旅行先の千葉県海岸で家族でゴミ拾い(45リットルゴミ袋いっぱいになるまで。

・ペットボトルのキャップは、ワクチンになるので近所のスーパー回収箱へ。

・魚やお肉のトレー、牛乳パックも近所のスーパーの回収ボックスへ(リサイクル)

・ゴミや海洋プラスチック問題などを知ってもらうために姉妹で環境問題のコンテストに参加！

・街がきれいになるようにゴミ拾いをした（コンビニ袋1袋分）。

・月に一回友達とそれぞれゴミ袋一袋分のゴミを地元で集めています。

・毎日、住んでいるアパートの周りに落ちているタバコを拾っている。(1日に10本)

・海洋汚染問題解決のため、一般社団法人を立ち上げ、ゴミ拾いを開催している。運営は24人の学生メンバーで行い、様々な街やビーチでゴミ拾い活動を行なっている。
（参加者は、日によるが大体20人前後）

・学校の周りのごみ拾い活動を行った。（3回）

・ビーチクリーン

・ゴミ拾いのボランティアに積極的に参加した（3回）。さらに、そこ活動を応援しようとSNSで積極的に共有を行った。

・学校の近くのゴミ拾いをした。（ゴミ袋1袋分）

5．募金・寄付

・子育て支援を行うNPO法人へ毎月募金寄付をしました。

・アフリカの貧困支援の募金に2000円ずつ募金した。

・中学校に入り使わなくなったランドセルや教材を寄付した(ランドセル34個)

・ウクライナの隣国、モルドバの大使館に2000円寄付しました。

・トルコ地震の協力金箱に募金した。

・大学の部活で参加した人全員でクリック募金を行なった(ハーティン)

・本校では「１００円募金」と称して、毎月全校生徒から募金を募り、途上国や自然災害で被災した地域に送金しています。（生徒３２８人）

・コンビニで、募金箱に募金した（300円）

・バースデー募金への寄付。

・ユニセフ募金へ募金した。

・コンビニでシリアの地震の募金をした。

・奨学金の資金として募金活動を行なった。

・コンビニの募金箱へ募金をした。(500円)

・スマホアプリを活用し植林活動への募金を行った。

・ウクライナやトルコの地震へのほんの僅かながらの応援として募金をした。（800円分）

・12月18日、学校の部活動でユニセフ募金をしました。本通りで活動を3時間ほど行った結果、5万円ほど集まりました。

・ユニセフマンスリー募金を始めた。(毎月1,150円)

・養育者支援プログラムを行っている非営利団体に寄付した。(50,000円)

・ホームレスの人たちに洋服や食べ物を寄付した。

・百貨店のトルコ地震への募金箱に小銭を募金した（100円程度）

・小学生のこどもたちと寄付したい団体さんを調べ、イベントにて寄付金を集め合計約3万円を寄付しました。

・環境破壊から森林を守るための募金に参加した。

・学校で行われるユニセフ募金にお金を寄付したり、募金の集金の呼びかけ活動を行った。
(寄付したお金　200円)

・コンビニにある難民支援のための募金箱に500円募金した。

・オーバーサイズで着られなくなった服、好みが変わった事によって着なくなった服を30着ほど古着として寄付した。衣料品を収集し、国内およびパキスタンでリユース販売を行う支援団体に寄付をした。

・コンビニなどで細かいお釣りがきた時にはほぼ毎回募金した。(おそらく800円以上は寄付した)
(地球温暖化防止に対する募金　貧困の子どもに向けた募金など)

・ラジオチャリティーでの募金をした。

・銭湯で、お釣りの中からウクライナ義援金に募金した。また、銭湯を利用するということ自体、地域の文化に対する支援かもしれません。

・貧しい子供たちのための募金。

・トルコ、シリア地震の募金箱に200円寄付した。

・トルコ・シリアでの震災に対し100円募金した。地方自治体の予算に対して、市民が議論して意見を自治体に伝えられる場作りを予定しています。

・平和への願いを手紙や短冊という形で集め、それをモニュメント化する活動も予定しています。

・トルコシリア募金を学校でおこなった。

・トルコ.シリアの地震、ウクライナ支援の募金をした。

・募金箱におつりの50円玉未満を募金した。（417円分）

・子どもの離乳食を使わず、成長してしまったのでフードバンクに提供した。

・街で出会ったダンサーやマジシャンに寄付。

・トルコ地震に募金しました。

・盲導犬の訓練士講座に参加して募金した　お母さんと一緒に200円。

・フードバンクに、自宅のものや知人かの家のものを寄付しました。10回ほど行いました。

・小学校5年生の時から、高齢の一人暮らしの方や路上生活者の方へ、自分が作ったお弁当を配る活動をしています。飲食店などに協賛を募り、フードバンクでコーヒーの提供が実現し、100人以上の方へ提供する事ができました。

・不要な服を寄付したり、交換できるイベントへ行った。

・フードバンクに寄付をした（カップ麺、砂糖、お米）。

・学校のUNICEF募金箱に募金をしました。

・お小遣いから募金（500円）したので多額ではありませんでしたが、人のために何かできるのではないかと思い、行動しました。また、募金をすると気分も明るくなり、1日を通して笑顔が増えた気がしました

・セーブ・ザ・チルドレンを通して国内外の教育や医療を必要とする子どもたちに毎月の寄付を行った。(約半年間毎月1,500円)

・学校で代表してユニセフ募金を行った。1年に2回。

・フェアトレードチョコを販売し、商品価格(450円の)の58パーセントを寄付した。

・NPO法人に未使用のCD1枚や葉書10枚などを寄付した。

・コンビニに置いてある難民支援のための募金箱に500円入れた。

・体の不自由な方の作った作品をこれからの活動に役立ててもらうために購入した。

・コンビニやスーパー等に行った際は必ず募金。(10円)

・ミャンマーの愛護団体に狂犬病のワクチンを打つお金を寄付する為に7日間で3.5万円集まりました。

・学校内でトルコ・シリアへの震災復興のための資金の募金活動を行った。
（4日間、21,820円集まった）

・新宿で、犬を保護している方が募集していたのでみんなで1,000円づつ寄付した。

・野球部での帰り、自由が丘駅でミャンマー人と日本人がミャンマーの生活がひっ迫していると募金を集めていたので、二百円を現地の人のために寄付させていただいた。

・部活動の一環で手芸作品を作り、販売して得た利益を福祉施設に寄付した。(校内で募った物資支援も含めて15万円相当)また、ウクライナへの支援金の募金も募り、校内での呼びかけを行った。
また、クリスマスには得意な声楽を活かして老人ホームでの音楽奉仕活動を行った。

・シリア、トルコへの募金活動を学校で行い、約2万円を集めることができた。

・赤い羽根募金を行った。（90分で7万円以上）

・コンビニに設置されていた募金箱におつりをいれた。

・コンビニで買い物をする度に、盲導犬のための募金箱におつりを募金している。500円くらい。

・ウクライナの子供達に向けての募金。

・ウクライナの戦争問題について募金があったため500円という少しの金額ですが寄付した。

・ウクライナへの募金に財布の小銭を入れるようにした。

・食に困っている人のためにフードドライブへお米、レトルト食品を寄付した。（3キロ）

・チャリティーバザーに参加して、多くのお客さんに来てもらえるように呼び込みをしました。
4歳から毎年参加してます。

・JRC部を通して、バザーを行い、その利益を寄付募金した。

・小学生時代に熊本で地震があった際、当時学級委員だった僕は校長先生にかけあい、全校に呼びかけて募金活動を行った。（人数は推定）

・トルコに日本赤十字社を通して募金活動を行った。エコバッグを毎日持ち歩き、ビニール袋は使わない生活を1ヶ月行った。

・ガールスカウトとして毎年緑の募金や赤い羽根募金への協力を呼びかける活動を地元の駅でしている。

・途上国に栄養食が届くよう毎月寄付をした。(1ヶ月30食分)

・学校としてフードドライブの取り組みを行い、困っている方の支援団体に寄付した。
・トルコ地震義援金などの募金活動。

・学校でホームレスの方への寄付を集めるボランティアに参加し、カイロや生活必需品を集め、自分もカイロを寄付した。（集まった物資はダンボール2～3箱分）

・自分や家族が使わなくなった洋服、かばんなどを難民支援の古着回収ボックスに入れて寄付しました。(15着)

・トルコ地震の募金活動に参加しました。

6.オリジナル・アクション

・学校のクラスメイトとメキシコへボランティアしに行った。サポートが必要だった2つの家族のために家を建てた。

・私たちの選択できる自由が守られてないように感じた校則、校則決定のプロセスに対して先生に意見すること(中学校1年から現在まで4年間)??スラックス選択可になった、靴下や下着の記載が無くなった。

・自分の経験をもとに、性犯罪をなくすための活動、また、被害者の支援をSNSで行っている（4年前から、いいねは数万）。

・学校に生理ボックスを設置し、誰も生理用品に困らないようにした。

・自身の学校の特色を生かして地域の小学生に対する英会話教室を中心メンバーとして企画、実行中。インスタグラムで自身らのプロジェクトのアカウントを作成。また英語に関する投稿をしたことで、フォロワーが現在121人。またそれに伴った地域とのかかわりの中で、地域のお祭りにボランティアとして運営側で参加した。

・動物の命を守る活動。（飼い主としての責任を持つこと）

・動物の命の大切さを伝える。保護猫を責任を持って、飼うことをインスタを通じて発信し、多くの人に動物の命の大切さを理解してもらう。（1週間に1回以上更新)

・植物を植えたり、保護犬施設にお金を寄付したりした。

・貧困親子世帯への食糧や生活物資の配布支援ボランティアへ参加（約２０世帯）

・社会の授業の一環で、1週間節水チャレンジを実施し、クラスごとに合計を出した（児童58名）。

・国際協力について、青年海外協力隊（JICA）の活動事例を見聞きし、自分が現在できる国際協力や、将来してみたい国際協力などを発表しあった。（80人で50分の授業）

・ジェンダーについて知ってもらうために学校で発表をした。（見てもらった人20人）

・パソコン利用の校内ルールについて話し合い、子ども達や保護者にも分かるようにプリント等を配布してもらった（全生徒分）決めつけや偏見ではなく、子どもの話しに耳を傾け、こどもが生き生きと活動できるように校長先生と話し合いをした。

・入浴後のタオルドライをしっかりしてドライヤー時間を短縮。

・近所のひとり暮らしで歩行の不自由なおばあちゃんの様子が気になるので、時々様子を見に行っている。（週1回）

・一人暮らしの高齢のおばあちゃんの様子が気になるので、様子を見に行きました。（1ヶ月に2回）

・10代を対象にエシカルコスメコスメワークショップ（オンライン）を開催した。コスメに潜む問題を紹介すると共にグロスリップづくり体験するプログラム。（小学生から大学生までの13人参加）

・地域のカフェでヤングケアラーの子どもたちに実験を体験できる機会を用意した。
(複数人で活動した)

・近くの畑に行って畑の整備と唐辛子を植えた。

・神奈川県からの依頼で神奈川憲章について話し合った。障害のある方たちへの差別についてなど話し合って神奈川憲章のポスターにどんなことを書いたら憲章について知らない人たちに興味を持ってもらえるかなど話し合った。（学校と神奈川のコラボで学校の方から9人選抜されホームページにも掲載された）

・鹿児島の与論島に軽石を拾いに行った。

・社会の授業でアフガニスタンで活動した中村哲さんのことを調べてクラスで発表しました。(35人)

・SDGsや現在直面している問題に対しての議論を学校(数十人規模)や自身のコミュニティ(数十人規模)で行った。

・家族で,どうすれば色々な問題を解決できるか、これから私達ができることはなにか、などを話し合った。

・有志の高校生５人で集まり、市の図書館で小学生と親子の児童の探究する力を育むワークショップを開催しました。気軽に取り組める探究活動を行うことで、日頃から様々なことについて深く考える意識を持たせることを意識した活動を行いました。（参加者６名）。

・野菜やお米洗いに使った水はジョウロに移して植物へ。リベジで野菜をちょいたし。ウエスをフル活用、フライパン洗いの前に一拭き。揚げ油はコーヒーフィルターで濾して炒めものに利用。シャワーの水がお湯に変わるまでの水は溜めて洗濯機へ移しりょう。0.01パーセントの淡水の循環を意識して生活するようにしています。

・トイレの流す水の大、小を使い分ける。

・節約のためと環境負荷軽減のため、暖房を極力つけないようにし、電気もお昼の間は消すよう意識して行動した。

・私は第11回杉山記一杯のSDGsブースで、杉山記一杯に参加した子ども達にSDGsについて学んでもらう活動のボランティアをしました。間伐材に自分の夢を書いてもらい、それがSDGsの目標とどう繋がっているか考えてもらいました。以下のリンクから、千葉テレビの杉山記一杯に関する放送をYouTubeで見れます。

・<災害に対する備え>自治会の災害訓練、年末夜回りへの積極参加。キャンプ道具をアレンジした自宅防災準備を実施。

・NPO子どもの教育を支援する会に所属し、高額な塾の学習代が払えない孤児や低所得家庭の子どもたちに学習の場を提供する活動をしています。(オンライン自習室の開催)

・3.11の平和スポーツイベントに、ボランティアでイベントスタッフとして参加した。文化祭では、ミスコピー用紙やペットボトルキャップなどをリユースすることで、極力ゴミの量を減らした。
堅苦しい「防災教育」のイメージをつくがえす、防災教育と運動会のマッシュアップイベントの開催。(小学生28名参加)

・学校に行けない、行かない選択をした小中学生のための居場所を平日毎日開設している。1年半運営して来た。それを持続可能な形にするためにプロジェクトを立ち上げた。人がその人らしく生きることが持続可能な幸せな世界につながること願って。

・子ども食堂でボランティアをしました。施設の掃除、子供たちのおもちゃの準備、食べ物や食器の運搬、配膳の手伝い、子供たちの相手、片付けの手伝いなどに取り組みました。月一で活動しています。

・生ゴミを出さないように、ゴミを分けて、ミミズにあげてコンポストにしている。(家族４人)

・スマホやテレビの電気は、ソーラーパネルで充電している。(家族３人)

・#10代のモヤモヤ　キャンペーンに参加した。

・違和感のある校則を見つけ、生徒会ボックスにて指摘した。

・フリー・ザ・チルドレンの存在やキャンペーンをシェアした(5人くらい)　。

・平和のためのアクション(2022.2.24、ロシアによるウクライナの軍事侵攻を知り、ウクライナや世界の平和を祈り行動するアクションを現在まで開始)
参加者人数:127名　そのうち15歳以下の人数:21名　平和資料館ツアー。（小学生）

・地域の子ども食堂にボランティアとして参加し、お菓子を作って届けた
(月に1回、41人に食料配布)。

・LGBTQについて理解を深めるプロジェクトのメンバーとして、LGBTQ当事者の話やLGBTQの知識などとともに、私たちチームが行ってきた活動について、発表会の来場者に説明した。

・食と農に関するイベント寄付集め。(4万円)

・ウェルビーイング及びセルフケアに関するイベント。

・社会変革と市民性に関するイベント。

・東アジアにおける相互理解と平和に関するイベント、現地調査。

・海洋プラスチックに関する研修。

・新宿のホームレスの人達に声をかけながらスープを配布した（4人）。

・知的障害のあるアスリートとチアをした。

・フェアトレードチョコの販売を校内で行いました。

・無料塾にボランティアで参加している。（週1回）

・電車に乗ってる時に、お年寄りの方や妊婦の方、座ることが必要な方を見かけたら声をかけ席を譲るようにしている。本日も電車に乗って座っていたら目の前に妊婦の方が乗ってきたので気づいたらすぐ席を譲った。

・インスタのストーリーで、気候変動に関する情報発信を3回行い、アンケートや質問機能に83人が参加した。

・入管問題解決に向けて面会活動や当事者の話の聞く会の開催。2月には400人規模のデモを運営として行なった。また学校での勉強会イベントや入管問題の映画上映をした。

・メガネや使わなくなった携帯を回収してスリランカとコンゴ支援をした。(メガネは現在約20個、携帯は4、5個回収済み)

・コロナウイルスのワクチンを打てない人々に向けて、自分の着られなくなった洋服を送った。

・健常児・障がい児、合計約60人を4泊5日のキャンプに連れて行き、それぞれの成長のサポートを行った。

・沖波祭　https://www.instagram.com/okinamisai/10000人規模のエンタメの祭典。3.11高校生書道パフォーマンスコンテンツ企画。

・社会課題に則したブースとステージコンテンツ。

・農園で農家さんの手伝いをした。（週1回）

・ジェンダー平等の世の中のために、トランスジェンダーの方から見た社会をテーマに写真展を開催した。某NPO法人でジェンダーアンコンシャスバイアスについての学習プログラムをチームリーダーとして企画し、中高生向けに無料セミナーを開催した。岩手町の中高生を対象に、中高生自身の興味関心をもとに地域でアクションを行うマイプロジェクトの伴走支援を行った。（対象者13人）

・子ども食堂を行っている。

・SDGsを広めるためにポスターを描いた。

・アフリカの学校を作るために購入額が募金される商品をたくさん買った。

・近所の一人暮らしのおばあちゃんが心配なので、毎朝声をかけてコミュニケーションをとるようにしている（毎日）

・水を守るため、食事の後の食器を洗う前に拭き取っている。(毎日)

・フードロス商品を購入。

・無意識の差別を無くすために国際交流を計画している。(6人前後でのトーク会)

・貧困問題解決に向け、貧困家庭が貧困を生む負の連鎖を低減させるため、まずは全国20ヵ所ほどの児童養護施設へ毎月3回以上訪問し、支援しています。募金活動のボランティアは、7名ほどで千葉ポートタワーの昼間のお祭りで参加し(集計金額は主催者側しかわからない)、毎月第2土曜日には西千葉駅付近でゴミ拾いや環境整備を地元の方としています(千葉市が提供してくださるゴミ袋4つ分くらい)。毎週水曜日の朝には社会福祉協議会が実施する団地に住む体が弱いご高齢者に代わって、ごみ捨てをしています。今年の夏季休暇では、浜辺のゴミ拾いやご高齢者の安全携帯教室の講師として教えたり、ボランティア講座を受講した経験もあります。

・インスタのストーリーで、気候変動に関する情報発信を3回行い、アンケートや質問機能に83人が参加した。

・授業でそれぞれが持続可能且、解決しうる事を目標に議題を出し合った。

・保護猫カフェで猫たちの写真を撮り、夏休みの間インスタで宣伝をした。

・弟たちが発達障害のディスレクシアで学校関連でいろんな困難に立ち向かっていて苦労してきたのをみてきて、弟にこれ以上苦しんでほしくない、また弟と同じように苦しんでいる人を手伝いたいと思い発達障害に関してリーサーチしたり、世界中の子ども達が自分に合った質の良い教育を受けられるようにという自分の夢をかなえるのに一歩でも近づくために将来NPOが建てたいため高校生の起業プログラムに参加したりしています。他に月に一度というペースですが、CFAのあそび大学に参加して子どもたちの創造をサポートしています。

・アートとSDGsを組み合わせたボランティア活動をした

・SNSを通して、SDGsの発信や、新しい社会貢献事業準備の発信を行った。

・SDGs×美のコンテストのファイナリストとなった。

・マラソンのボランティア。

・1つ目に、高校の文化祭で、在校生や先生方、そして来てくださった保護者の方々に向けてフリー・ザ・チルドレンなどからのフェアトレード商品の販売を行いました。2つ目に、目隠しをして白杖で点字ブロックを歩く白杖体験を実施しました。3つ目に、ペットボトルのキャップを再利用するために、キャップを細かく切ってアイロンで溶かし、アクセサリーを作りました。4つ目に、心が温かくなるメッセージを書き、知らない人と交換できるメッセージ交換を行いました。

・こども基本法制定に関するのスピーチ、インクルーシブ教育を進めるよう、スピーチでアピールした。

・地元を活性化させるためのイベントを開催した。

・高校生が地元について関われる機会が少ない地域だったため、アクションを起こしました。

・交通機関をなるべく使わず、移動方法は徒歩や自転車にしている。

・フィリピンの小学校で水道建設をした。

・実習生に対する日本語講習支援、文化交流会や観光企画などを行った。また入国後講習施設に赴き日本文化の紹介、Twitter等SNSを使った発信活動を行った。

・生徒会役員として、実態に合った校則について話し合いを重ね、規則の改定をすることが出来た（生徒820人）

・登下校時、バスを使わないで歩く。

・色々な分野でのボランティア活動(災害ボランティア含む)

・子どもの居場所兼駄菓子屋といった、子ども支援のボランティアを行っています。

・CORUNUMというボランティア団体に参加し、子どもとお年寄りが触れ合えるイベントを企画している。

・ジェンダー差別をなくすためにスラックス・スカートの選択制を導入するように校則を変更した。

・植樹活動や雑草を抜いて地域の環境が少しでも良くなるようにした。

・生徒13人で学校の芝生を枯らす雑草を抜き、1年を通して芝生を育てていく活動。

・自然を考えて再利用・ゴミを極力出さない生活をした。(2日間)

・川崎市での「子どもの権利の日のつどい」というイベントにボランティアとして参加し、子どもの権利を題材に作ったシーライツのかるたを子どもたちと一緒に行った。

・その他にも自分の大学で行われたシーライツ30周年記念イベントにボランティアとして参加したり、留学生と一緒に募金活動を行った。

・ボランティアの啓発イベントの実施。（参加者10人）

・紙の消費を少しでも減らすように授業のノートはiPadを利用している。

・フードバンクのボランティアに参加。1日準備、配布、対応、片付けをした。

・ワンワールドフェスティバルの国際イベントのボランティアを3日間行った。

・世界の子どもたちのことを知るために、世界こどもの日のチャリティーウォークに参加した。

・家に入れずに困っていた一年生に声をかけた。

・駅のトイレで並んでいた列にぶつかり困っていた視覚障がい者の方に声をかけ、トイレまで引率した。(1月)

7.Change Makers Fes
認定アクション

毎日メディアカフェ主催
こども家庭庁に関するシンポジウム
2022年4月30日

・自分がアクションを起こし、「誰かのためになる」だけではなく、さまざまなバックグラウンドを持った方との話し合いを通して学びを得られたので、とても貴重な機会でした。

・実際に、多くの関係者の前で真剣に自分自身の意見を発信することができたので、社会を変えるための一助になれば良いと思う。また、このアクションを通して、社会問題に興味を持っている友達を作ることができたので、そういった人たちと協力し、これからも活動していきたいと思う。

・意見をいうだけでなく、他の人の意見も聞いてより私自身の考えを深めることができてとても嬉しかったです。

・子どもをしっかり守る時代の実感がわいてきた。

STOP児童労働キャンペーン
2022年6月1～30日

・とても楽しかったです!みんなで意見を言い合うのがよかったです。

・レッドカードアクションは、児童労働をしている子ども達がすごくたくさんいることを知ったので、アクションを起こしたことで、少しでも児童労働について知ってもらったり、解決につながるといいと思いました。TACJ夏アクションチャレンジ：アートは、自分が絵を描くことが好きだったので、好きなこともできたしアクションも起こせて楽しかったです。社会問題のつながりについて、紙芝居にしたので、小さなことから、変えていくきっかけになればいいと思います。

テイク・アクション・キャンプ夏

アクションチャレンジ

2022年8月20-23日

＜政府＞

・今まで政策提言は何度か行ってきたものの、グループや複数人でするのは初めてだったため、どのように進めていけばよいのか最初は戸惑いました。また、今回ほぼ全員が私よりも年齢が下の子たちだったので提言書を書く際にどのくらいの難易度の言葉を使えば年相応かつより伝わる文章になるのかを重点的に考えました。その結果、皆で協力し全員の納得できる物を作り上げることができ、また、最終的にどのように提出しアプローチを続けるかについても時間内に話し合うことができ、グループで行えば役割も分担できるため3時間という短い時間でもアクションが起こせてしまうことがわかったので自分にとってもとても学びの多いアクションとなりました。実際に提言書も提出ができたので、この後も電話などでアプローチを続け実際に提言の内容が実現できるようメンバーとともに頑張っていきたいなと思います。

・自分にもできることがあると言うことがわかって嬉しかった

＜学校＞

・アクションを起こして、学校の校則を自分たちで変えられたらいいなと思った。先生が校則を守る訳ではないから、自分たちで変えたいです。

・アクションを起こす事が初めてだったから本当にできるか心配だったけど進めていくうちに今の現状を真剣に考え、グループの人たちとも意見を言い合えた。提言書を書き終えた時は達成感が大きかった。提言書を書き、全国の学校の校長先生に送ろうと計画していたけど、計画が大きすぎて最終的にFTCJのSNSにアップしてもらえるようになった。次、アクションを起こす時自分ができる限りのことを計画的に進めるようにしようと思う。

・すごく良かったです。私は昔から世界を変えたいと思っていたのですが、あまり行動ができなくてちょっと悔しい気持ちがありました。でも、今回こうやって、たくさんな子供たちと一緒にアクションができて本当にたくさんなことを学びましたし、嬉しかったです。今度からもどんどんアクションをしていきたいと思います！

・みんなで協力してアクションが出来たから楽しかった。

＜アート＞

・社会課題について広くみんなに知ってもらい、解決に向けての提案を共に考えるための紙芝居を８人のグループで作成した。紙芝居のギミックを作るにあたり、アイデアを出しあい形にするのが楽しかった。

・自分にもアクションをおこせるということが分かって、自信がついた。

＜ファシリテーター/ロジスティックス＞

・初めてキャンプに参加したくさんの刺激を受けました。ロジという立場ではありましたが、参加者から学ぶことも多くありました。これからを担う私たちがどうあるべきなのかを考え、また大人や次の世代に伝えていくべきだと改めて思いました。

・今までは活動を支えてもらう立場でしたが、子どもたちを支えていく世代になったんだと実感しました。子どもたちが窮屈な思いをしないよう、伸び伸びと自分がしたい行動や発言をできる環境を整えて、支えていきたいです。また、私もこどもたちに負けないようにこれからもアクションを起こしていきます。

・ファシリをする上で、まずは相手のことを知っていく必要があると知れました。研修やキャンプの初日はできているのか不安のままやっており、それを参加者にも伝わってしまっていました。しかし、２日目からファシリをする！と固くならないで行ったら、スムーズにできました。このアクションに参加するまでの自分は、進行をすることを避けてきたが、今回のアクションを起こしたことで、これから先への自信になれました。

代々木公園プロギング

2022年10月23日（日）9:30-11:00

・運動しながらのゴミ拾いは新しくて良いと思った。

・代々木公園は思ってたより綺麗だった。

・あまり走るコースではなかったので友達とお話しながら分別したりゴミ拾いしたりして、お天気も良かったのでとても有意義な時間を過ごせました。気軽にゴミ拾いできることがわかったのでこれからもボランティアに気軽に参加できるようになりました。

・黙々とゴミ拾いするイメージでしたが、みんなで楽しくワイワイとやれてよかったです！散歩みたいな感じで、走るの苦手でも参加できてよかったです！！

・初めてのボランティア活動で不安も多々ありましたが、スタッフさんが明るく声を掛けてくれ、楽しく活動をすることができました。

・腰をかがめてゴミを拾うのは結構大変だったけれど、誰かのためになることができて自分の気分もよくなりました。

・交流が、思ったより少なかった。ごみ拾いも、もう少し簡単に効率良くできると思った。

・天気にも恵まれて、プロギングをする事で達成感も得られました。沢山ゴミを拾う事ができて良かったと思います。

・意外にゴミが多くてびっくりしたし、走りながらのランニングでとても楽しかったです。

・楽しくできました。よく探すとゴミがたくさんあり、公園が汚れていると思うと悲しくなった。みんなゴミ捨てに気をつけたり、風でゴミが飛ばないように気をつけてほしい。

・普段犬の散歩で利用する公園に沢山のガラスごみがあることにビックリしました。みんなで楽しみながら参加できるのでとても良い企画だと思いました。

【子どもメンバー主催】オンラインゴミ拾いイベント

日曜朝に全国各地で一緒にゴミ拾い！

2022年11月20日（日）　9:30~11:30

・今まで気になっていたゴミを拾うことが出来て良かった。人目があるところでゴミ拾いをするのは少し恥ずかしかったが、同じくゴミ拾いをしている人を見つけて嬉しかった。もっとゴミ拾いをする人が増えればいいと思う。

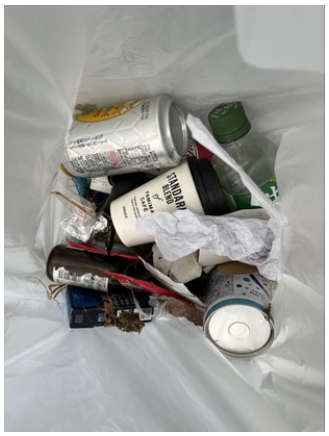
・ゴミ拾いをしたことがあまりなかったのですが、今回ゴミ拾いをしてみて、自分が思ってた以上にゴミが見つかり、驚きました。また、ゴミが見つかることで、またあったなど様々な感情も生まれ、ゲーム感覚で面白かったです。

・自分が普段歩いている場所にもよく見るとたくさんのゴミが落ちていました。一見落ちていないように見えてもベンチの裏や木の枝の隙間に差し込まれていたりしました。私がゴミ拾いをすることで少しでも環境問題改善につながるといいです。

・みんなでゴミ拾いの写真などをシェアしながらアクションを起こせた。

・オンラインでゴミ拾いをすることが始めてだったし、自分の住んでいる地域のことなどを知れた。

・想像をしていないところにゴミがあってことが楽しかった！



東京グレートサンタラン

2022年12月3日（土）9:00～16:00　（ランナー　約800名　ボランティア　120名）

＜ランナー参加＞

・とても楽しかった。

・たくさんの人がいて楽しかったです

・入院した際のプレゼントの恩返しができました

・さまざまなひとが関係していて驚いた

＜ボランティア参加＞

・楽しくボランティア活動できました！

・初対面の方と協力しながらボランティアをすることができて楽しかったです。

・初めてこのようなボランティアをして、少しでもだれかの役に立てている気がして嬉しかった

・初めてこのようなイベントのボランティアをやりました。とても新鮮な事ばかりで前日の準備がこのようにたくさんの人が準備して開催ができるのだと感じました。とても貴重な体験ができてよかったです。

・テキパキ動くことで動きの進みが変わることを学びました。

・軽作業で無理なく、初めましての方ともコミュニケーションを取って楽しく活動させていただきました。また参加したいです。

・Thank　you

・直接的なアクションを起こしたとはあまり感じないが、今日自分がボランティアに参加したことで、何かしら社会に貢献できたならよかったな、と思います

・ボランティア仲間のことはもちろん、お客さん等色んな人との関わりを持てて楽しかったです。
たくさんの人と関われて楽しかった

・楽しかった

・進んで行動することが大事だということを今回の活動を通して改めて実感しました。今まで受け身が多く､それで満足していましたが､今後は自発的な行動を心掛けたいと思います。

・初めてボランティアというものに参加しました。初めは緊張していましたが、色々な方と関わり、話すことができ、とても充実した時間を過ごせました。楽しかったです♪

・直接的ではないですが、このようなイベントにボランティアとして参加することで病気の子どもたちの役に立てているのだと達成感を得ることができました。

・ボランティアの経験がなく不安だったのですが、たくさんの人と関われて楽しかったです。

・入り口で案内係をしていたが、中でとても盛り上がってる様子が伺えて楽しかった。

・楽しかったです。

・人のためになれて気持ちよかった

・多くの方が参加していて素晴らしいと思った。

・参加している方々皆さん笑顔でボランティアをしている私自身も笑顔になれた。

・ボランティアが出来てよかったです。みんなが楽しんでくれたので嬉しいかった。

・色んな人の笑顔が見れて楽しかったです！

・ボランティアの皆さんとも交流も出来ましたし、参加者の皆さんの笑顔が見れてとても楽しかったです！

・ボランティア活動を通じて人と人とのつながりを感じる場面がたくさんあり、すごく有意義な時間を過ごすことが出来ました！！ありがとうございました！

・サンタの格好になって参加者の方と楽しい時間を過ごせて、良い体験ができました！！楽しかった。

・たくさんのボランティアの方たちと一緒に盛り上がることができてよかった。

・国境を越えてたくさんの方とコミュニケーションをとることができてとても楽しかったです！

・貴重な経験が出来ました

・多くの方と交流ができて楽かったです。

・自分が協力することでたくさんの方が笑顔になって嬉しかった。

・ランナーの楽しい姿を見られて良かったです

・楽しく活動できました。今後もボランティアとしてや参加者として、チャリティイベントに参加したいと思いました。アンテナを張って自分から情報を取りに行きたいです！

・楽しかったです！！！

・様々な方と触れ合えて楽しかった

・参加してよかったと思います。皆さんの優しさが温かいです。

・楽しかったです。

・良い経験になりました。

・同じボランティアグループの皆様と協力して、無事にイベントを終えることができました。楽しい時間を過ごせました！

・初めてこのようなボランティアに参加しましたが、運営の方含めイベントの参加者もボランティアの参加者もみんなで楽しめてとても良い経験になりました。ありがとうございました！

・ボランティアに参加したことで、少しでも貢献できて良かったです。

・私自身も楽しめて、闘病中の子どもたちのために動くことができて嬉しかったです。

・とても充実した1日でした。良い経験になりました。来年も参加したいと思っています。

・普段は出会えない様々な人と交流できたし、みなさんが楽しそうにイベントを行っている様子が印象的だった。

・参加者の方の笑顔が見れてとても楽しかったです、今日の活動で沢山の子供たちが笑顔になって欲しいです

・貧困の子供達のためのチャリティーランに貢献できて良かったです。色々な協賛が関わっており、開催するのに色々な事業が関わっていることが分かりました。

・とても素敵な経験になりました。また、ぜひ運営として積極的に参加させていただきたいです。

・ランナー参加の方がおつかれ様ですとか小さい子が手を振ってくれたりしてくれて嬉しかったです。楽しかったです!

・この活動を通して，ボランティアの大切さを学びました。ありがとうございました。
楽しかったです。

・色々な方と関われて楽しかったです。

・参加者が多くてやりがいがありました。

・みなさん楽しんでいただいていて嬉しかったです。

・幅広い年代の方が参加していてとても楽しかったです。みんなが笑顔になってて嬉しかったです。ボランティアの他の方とたくさんお話しできたのも貴重な経験でした。

・意外と良かった

・とても楽しい経験をさせていただきました。

・おもろかった

・交流を通して、いろいろな問題について考えることができてよかったです

・楽しかったです。

・サンタの格好をみんなしてて可愛かった

・裏方としてやったのですが充実して楽しかったです。
少しでもチャリティー活動の協力ができたので良かったなって素直に思います。

プロギング・ゴミ拾いデー　in渋谷

～え?ゴミ拾いボランティアだけど、オンラインで全国からの参加もOK?!～

2023年2月5日（日）10：00-12：00　（参加者70名）

- 普段遊んでいる海がこんなにもゴミで汚れている事に気づき残念だった。今日だけでは拾い終わらないほどたくさんの種類、量のゴミがあり、今回だけで終わらず定期的に行ったり、地域の住民や子どもたちを巻き込んで活動したいと思った。（沖縄県）

- 駐車場の裏や路地裏に入ると思ったより多くのゴミが捨てられていて驚いた。特に雪の中に埋もれて凍っているゴミが多く、雪解けの時期になるまでゴミが残ってしまうのは良くない状況だと思った。凍ったり人に踏まれたりしたゴミは分別がしづらかったため、日頃から定期的にゴミ拾いをすること、またポイ捨てをしないことを呼びかけることが大切だと感じた。（宮城県）

- 自分が、環境のためのアクションをできた事が、すごく嬉しかったです。ゴミ拾いに対して褒めてくれる人もいれば、何をしているんだろうと不思議に思っているひともいたから、みんなが環境問題に対してアクションが、起こせるような世の中を創っていきたいと思いました。私自身も、活動を続けたいと思います。（埼玉県）

- 今回は海岸を歩いてピックアップウォーキングしましたがタバコは少なく、食べ物の容器などの燃えるゴミが多く見られました。今までもこれからも出来ることから環境に良いことを続けていって地球を笑顔したいです。（兵庫県）

- 思ったよりゴミがあり驚きました。道端にゴミを捨てるような人はどのような考え方をしているのか自分でも考えさせられました。（渋谷会場）

- 仲間とゴミ拾いすることで楽しくソーシャルアクションをすることができて、とても有意義な時間となった。（渋谷会場）

- 車の窓から投げ捨てられたタバコが車道に沢山落ちていて、歩道から見えない死角に溜まっていた驚いた。街にゴミ箱を沢山設置して欲しいと思った。（渋谷会場）

- 様々な年の人が参加していて楽しかった！（渋谷会場）

アクションキャンペーン
Action Campaign

社会問題を解決するためにアクションを起こしたい！でも何からはじめよう？

アクションプランをゼロから自分で考えるのは自信ないな・・・と悩んでいませんか？フリー・ザ・チルドレンでは、何かしてみたいけどどうしたらよいか分からない、という皆さんのために、すぐにアクションを起こせるよう、様々なアクションキットを用意しています。

ソーシャルアクションレポートに掲載されたみんなの活動も、第一歩はここから始まったものもたくさん！

無料のキットを利用して、みんなで力を合わせて世界に変化を起こしていこう！

アクションキットは、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのホームページからダウンロードできます。

7つのアクションキャンペーン

1.ORIGINAL
2.SPEAK UP
3.LOVE FAIR FESTIVAL
4.CREATE CHANGE
5.SHARE CARDS
6.BOOK BETTER WORLD
7.SCARE HUNGER

詳しい内容は次のページから！

アクションキットのダウンロードはこちら

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンHP
⇒啓発プログラム
⇒アクションを起こそう
⇒アクションキット

自分の得意なことを活かした
オリジナルアクションを起こそう！

SDGsに触れながら、国内外の課題と自分との関係性を見つめ、取り組む課題とオリジナルのアクションを考えよう！

ORIGINAL　アクションキット（オリジナルアクションを見つけよう！）

このORIGINAL　アクションキットは、アクションを起こすための基本的な４つのステップを踏みながら、オリジナルのアクションを起こせるようになっています。仲間と一緒にアクションを起こせるキット内容ですが、1人でももちろん大丈夫。
私たちフリー・ザ・チルドレンも、1人の少年のアクションから始まりました。

CHANGE MAKERS アクションキット　FREE THE CHILDREN

SPEAK UP ACTION

声を上げることは未来に変化をおこすこと！

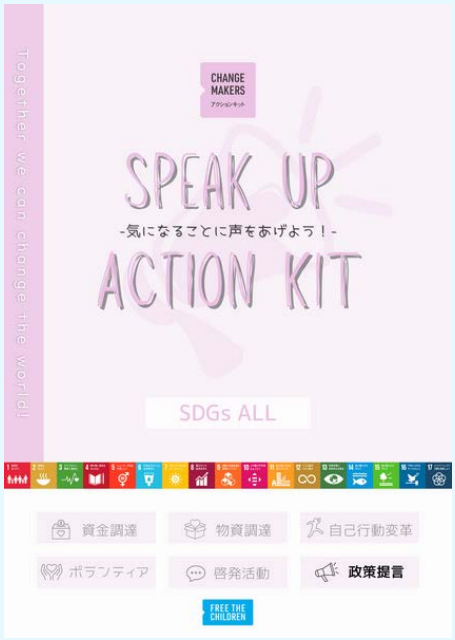
「変だな」と感じることに
声をあげよう！

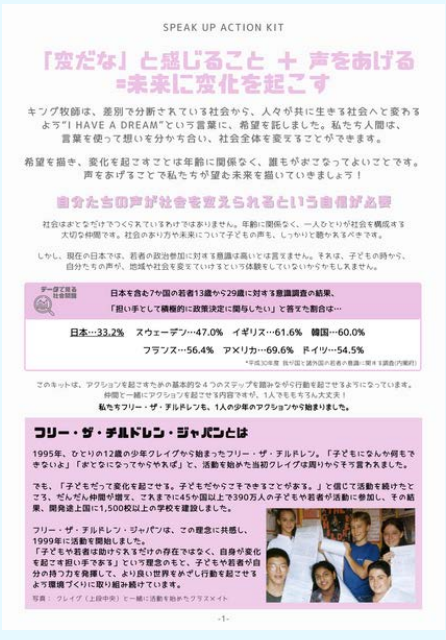
「変だな」と感じること＋声をあげる
=未来に変化を起こす

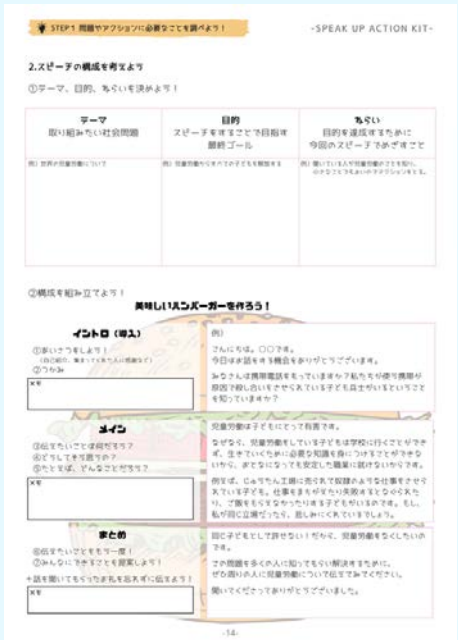
気になる問題に変化を起こすために、学校やメディア、議員や首長に対して働きかけよう。
子どもが意見する権利は子どもの権利条約でも保障されている！

SPEAK　UP　アクションキット（気になることに声をあげよう！）

SDGsの達成に向け、子どもや若者が政策提言活動を通じて社会問題解決に取り組めるようデザインされています。気になる問題と声を上げるアクションを考え、実施～振り返りまでができるキットを使ってみよう！　手紙の書き方・スピーチの作り方を事例も掲載しています。





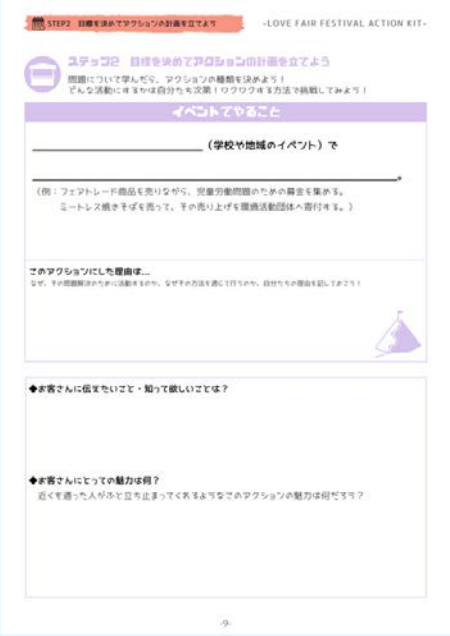


社会問題への関心　＋　イベント
=みんなの関心・売り上げ寄付

学校や地域のイベントにエシカルな企画で出店しよう。人が集まるイベントは絶好の機会。
解決したい問題について知ってもらい、協力してもらうチャンス！

LOVE　FAIR　FESTIVAL　(エシカルなイベントを開こう！)

フェアトレード商品の販売や売店の売り上げの寄付、社会問題を知ってもらう出し物など、エシカルなイベントを開くアクションを、実施～振り返りまでができるキットです。楽しみながら仲間を巻き込み、社会問題に取り組んでみよう！

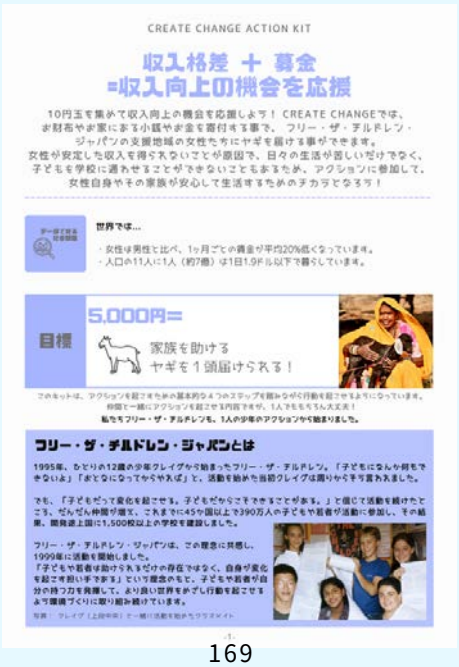


身近なところから始める募金活動
10円玉募金を企画してインドのお母さんにヤギを贈ろう！

10円玉も集まれば、大きな変化を起こすことが出来る！　5,000円集まれば、生活に役立つ1頭のヤギをインドのお母さんたちに送ることができます。貧困、格差、ジェンダー問題など、インドの女性がおかれている立場を学びながら募金活動を企画してみよう。

CREATE　CHANGE　アクションキット（募金活動をしよう！）

目標金額の決め方や募金の方法、集まった硬貨の両替や送金方法など、初めての募金活動に必要なあれこれを4つのステップでサポートするキットです。



書き損じはがきを集めてワクチンを届けよう！
眠っているハガキが大きなチカラに！

買いすぎて余った年賀はがき、印刷ミスや書き間違えて送っていないハガキを集めれば、お金を集める募金と同じだけの力になります。2,500円分集まれば、1人の子どもに検診の機会や衛生キットを提供でき、防ぐことのできる病気から命を守ることができます。

SHARE　CARDS　アクションキット（書き損じはがきを集めよう！）

命を守る検診を1人の子どもに提供するのに必要なのは、ハガキ44枚！　一緒にアクションを起こして、途上国の子どもたちに健康的な生活を届けよう。書き損じはがきを集めて寄付をするアクションを考え、実施～振り返りまでができるキットです。

古本を集めて換金して教育の機会を応援しよう！
眠っている本が大きなチカラに！

制服やノート、ペンなどの学用品は、家庭としてはお金のかかる部分であり、子ども達が学校に通うことを諦めざるを得ない理由のひとつとなっています。本棚に眠っている本を集めて古本店に販売し、得たお金を途上国の子どもたちの教育ために寄付するアクションです。

BOOK　BETTER　WORLD　アクションキット（古本を集めて換金しよう！）

学用品セットを1人の子どもに提供するのに必要なのは、3,000円。このキットでは、まず世界の子どもの教育事情を学びます。実際のアクションに必要な古本店選びから、集め方の工夫など、ひとりでも、仲間とでも、楽しく活動するためのヒントが書かれています。

CHANGE MAKERS アクションキット

FREE THE CHILDREN

SCARE HUNGER ACTION

眠っている食品で地域の人のチカラに！

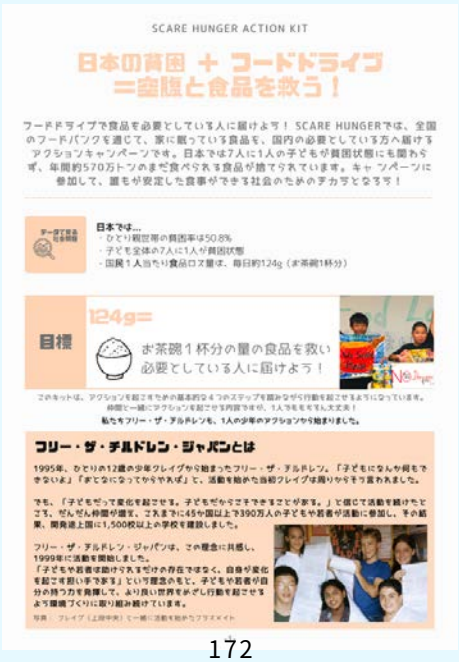
フードドライブで食品を
必要としている人に届けよう！

フードドライブで食品を必要としている人に届けよう！
眠っている食品で地域の人のチカラに！

棚に眠っている食べきれない食品も集めてフードバンクに届ければ、ご飯を必要としている人に届けてくれます。日本におけるフードロスの10%が正しく必要な人に届いたら、日本のすべての子どもが、栄養ある食事（昼食）をとることができるようになります！

SCARE　HUNGER　アクションキット（フードドライブ活動をしょう！）

食べられる物が捨てられる「食品ロス」は日本だけで年間570万トン。国民1人が毎日茶碗1杯分（124g）のご飯を捨てていることになります（2019年）。このキットを使って、家に眠っている食品を学校や職場で集めてフードバンクへ届け、必要な人に届けるフードドライブに挑戦しよう。



ソーシャル・アクション・レポート　2022-2023

2023年7月1日発行

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062　東京都世田谷区南烏山6-6-5-3F

E-Mail　info@ftcj.org

TEL　03-6321-8948

公式ウェブサイト

https://ftcj.org/

公式SNS

Facebook:　@freethechildrenjapan1999

Twitter:　@FTCJ

Instagram:　@freethechildrenjapan